取扱説明書 詳細版

AQUOS K

SHF31

ごあいさつ

このたびは、「AQUOS K SHF31」(以下、「SHF31」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に本体付属の『取扱説明書』『設定ガイド』またはauホームページより『取扱説明書 詳細版』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。本体付属の『取扱説明書』『設定ガイド』を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

■『取扱説明書』『設定ガイド』

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、auホームページより『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

■ For Those Requiring an English Instruction Manual
英語版の取扱説明書が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual and Setting Guide from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書(英語版)』『設定ガイド(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL: http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE／CDMA／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、各ネットワークサービスは地域やサービス内容によって異なります。
  詳しくは、『取扱説明書 詳細版』の「auのネットワークサービス・海外利用」をご参照ください。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 本製品は定期的にデータ通信を行い時刻など本製品の動作に必要な情報を取得します。データ通信料は別途かかります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』『設定ガイド』または『取扱説明書 詳細版』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 使う場所や声の大きさに気をつけて！

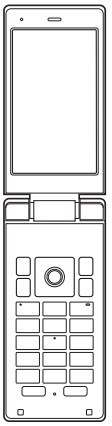
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

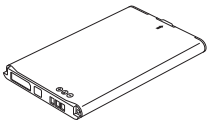
■ 周りの人への配慮も大切！

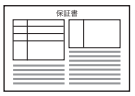
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、次の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。


本体


電池パック
(SHF31UAA)



保証書

- 取扱説明書
- 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。

- 卓上ホルダ
- microSDメモリカード
- ACアダプタ
- イヤホン
- microUSB-3.5φ変換ケーブル
- microUSBケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

目次

ごあいさつ……ii
操作説明について……ii
安全上のご注意……ii
本製品をご利用いただくにあたって……ii
マナーも携帯する……ii
同梱品一覧……ii
目次……1

安全上のご注意……5

本書の表記方法について……6
免責事項について……7
安全上のご注意(必ずお守りください)……7
取り扱い上のお願い……11
ご利用いただく各種暗証番号について……12
各種暗証番号について……12
PINコードについて……12
防水性能に関するご注意……13
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い……14
周波数帯について……14
Bluetooth®についてのお願い……14
無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い……15
パケット通信料についてのご注意……15
アプリケーションについて……15

ご利用の準備……17

各部の名称と機能……18
電池パックの取り付け／取り外しかた……19
電池パックを取り付ける……19
電池パックを取り外す……19
au Nano IC Card (LTE)を利用する……20
au Nano IC Card (LTE)について……20
au Nano IC Card (LTE)を取り付ける……20
au Nano IC Card (LTE)を取り外す……20
microSDメモリカードを利用する……21
microSDメモリカードについて……21
microSDメモリカードを取り付ける……21
microSDメモリカードを取り外す……21
充電する……22
充電について……22
指定のACアダプタ(別売)／指定のDCアダプタ(別売)を使って充電する……22
卓上ホルダ(別売)と指定のACアダプタ(別売)を使って充電する……22
パソコンを使って充電する……23
電源を入れる／切る……23
データを引き継ぐ……24
データ引継の設定をする……24

基本操作……25

タッチクルーザーEXを利用する……26
タッチクルーザーEXの操作について……26
待受画面を利用する……26
待受画面のショートカットを利用する……26
ステータスバーを利用する……27
アイコンについて……27
お知らせ／ステータスパネルを利用する……27
サブディスプレイを利用する……28
メインメニューを利用する……28
アプリについて……29
起動中アプリ一覧画面を利用する……30
機能やアプリケーションを起動する……30
共通の操作を覚える……30
基本的なキー操作を覚えよう……30
チェックボックスを利用する……30

文字入力……31

文字入力の方法を覚える……32
文字入力の方法……33
ひらがな／漢字／カタカナ／英数字の入力……33
文字の修正……33
予測変換機能……33
＊＊(ワイルドカード)入力……33
区点コードでの入力……33
絵文字／デコレーション絵文字／記号／顔文字の入力……33
文字入力のサブメニューを利用する……34
文字をコピー／切り取りしてから貼り付ける……34
その他の文字入力サブメニュー……34
文字入力について設定する……34
ユーザー辞書に登録する……34

電話……35

電話をかける……36
電話番号を入力して電話をかける……36
発信メニューを利用する……36
ダイヤル画面のサブメニューを利用する……36
通話中画面のサブメニューを利用する……36
履歴を利用して電話をかける……37
スピードダイヤルで電話をかける……37
かんたん発信(音声認識)で電話をかける……37
au電話から海外へかける(au国際電話サービス)……37
電話を受ける……38
かかってきた電話に出る……38
応答を保留する……38
着信を拒否する……38
かかってきた電話にSMSを送る……38
着信中のサブメニューを利用する……38
自分の電話番号を確認する……38
プロフィールを確認する……38
プロフィールを編集する……38
通話に関する設定をする……39
通話の設定をする……39
伝言メモ／音声メモを再生する……39
着信拒否の設定をする……39

電話帳……41

電話帳に登録する……42
グループを設定する……42
電話帳の一覧を利用する……42
電話帳一覧画面を表示する……42
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニューを利用する……42
電話帳を設定・管理する……42
電話帳の登録内容を利用する……43

メール……45

メールを利用する……46
Eメールについて……46
Eメールを送る……46
Eメールを送信する……46
送信予約をする……46
Eメールにデータを添付する……47
本文を装飾する……47
Eメール作成画面でできること……47
Eメールを受け取る……47
Eメールを受信する……47
添付データを受信・再生する……47
新着メールを問い合わせて受信する……47
SMSについて……48
SMSを送る……48
SMS作成画面でできること……48
送信予約をする……48
SMSを受け取る……48
SMSを確認する……48
電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する……48
受信ボックス／送信ボックスを確認する……49
メールメニュー画面でできること……50
フォルダー一覧画面でできること……50
メール(Eメール／SMS)一覧画面でできること……50
メール(Eメール／SMS)詳細画面でできること……51
差出人／宛先／電話番号／メールアドレスの情報を利用する……51
メールを設定する……51
共通の設定をする……51
メールをフォルダに振り分ける……51
迷惑メール設定を利用する……51
振り分け条件を登録する……51
Eメールを設定する……52
受信／表示に関する設定をする……52
送信／作成に関する設定をする……52
Eメールアドレスを変更する……52
転送先を設定する……52
SMSを設定する……53
SMS設定をする……53
メールグループを設定する……53
メール(Eメール／SMS)をバックアップ／復元する……53
メール(Eメール／SMS)をバックアップする……53
メールデータをバックアップする……53
メールデータを復元する……53
メールバックアップの設定をする……53
迷惑メールフィルターを設定する……54
SMS安心ブロック機能を設定する……55

インターネット……57

インターネットに接続する……58
パケット通信を利用する……58
ブラウザを利用する……58
ブラウザメニューを利用する……58
ブラウザ画面のサブメニューを利用する……58
Webページの文字をコピーする……58
タッチクルーザーEXで操作する……58

マルチメディア 59

カメラを利用する 60
カメラをご利用になる前に 60
本製品の持ちかた 60
静止画／動画を撮影する 61
カメラの機能を利用する 62
カメラを設定する 62
カメラの詳細設定をする 62
バーコードリーダーを利用する 62
翻訳ファインダーを利用する 63
データを利用する 63
データフォルダを利用する 63
データを表示／再生する 63
データを移動／コピーする 64
データ保存先の表示を変更する 64
コンテンツ表示画面のサブメニューを利用する 64
画像を編集する 64

ワンセグ 65

ワンセグについて 66
テレビの初期設定をする 66
テレビ番組を見る 66
テレビ番組を視聴する 66
テレビ視聴画面のサブメニューを利用する 67
番組表を利用する 67
チャンネルリストを切り替える 67
テレビの設定をする 67
TVリンクを利用する 67

アプリケーション 69

au災害対策アプリを利用する 70
メーカーサービスを利用する 70
auナビウォークを利用する 71
au Wi-Fi接続ツールを利用する 71
セルフチェックを利用する 71
安心アクセスを利用する 71
auスマートパスを利用する 72

ツール 73

モバイルライトを利用する 74
スクリーンショットを撮影する 74
電池の消耗を抑える 74
省エネモード設定を利用する 74
省エネモードの詳細設定をする 74
メモ帳を利用する 75
メモ帳を登録する 75
メモ帳を確認する 75
カレンダーを利用する 75
カレンダーを表示する 75
予定を新規登録する 75
カレンダー画面のサブメニューを利用する 75
アラームを利用する 76
世界時計を利用する 76
ストップウォッチを利用する 76
タイマーを利用する 76
電卓で計算する 76
PASSNOWを利用する 77
PASSNOWについて 77
ペアを設定する 77
データフォルダから静止画データを送信する 77
ペア設定した端末から受信した電話番号に発信する 77
ペア設定した端末で着信・通知を表示する 77
ペア設定した端末から本製品のWi-Fi®テザリング機能を有効にする 77
ペア設定した端末から本製品の写真／動画を取り込む 77
LINEを利用する 78
LISMOを利用する 78

端末設定 79

設定メニューを表示する 80
壁紙・ディスプレイの設定をする 80
サウンド・ランプの設定をする 80
マナーモードを設定する 80
au IDの設定をする 80
ロック・セキュリティの設定をする 81
シークレット設定をする 81
通信・ネットワークの設定をする 81
機内モードを設定する 81
データ引継とリセットの設定をする 82
データのバックアップをする 82
本製品を初期化する 82
その他の設定をする 82
日付と時刻の設定をする 82
使用する言語や文字入力の設定をする 82
端末情報を確認する 83
位置情報の設定をする 83

ファイル管理 85

本製品の保存領域について 86
ストレージに関する設定をする 86
ストレージの設定をする 86
microSDメモリカードをフォーマットする 86
パソコンと接続する 86
USB接続モードを設定する 86
メモリカードリーダー／ライターとして使う 86
MTPモードでパソコンと接続する 87

データ通信 89

無線LAN(Wi-Fi®)機能 90
無線LAN(Wi-Fi®)機能について 90
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する 90
無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする 90
Wi-Fi®ネットワークに接続する 90
アクセスポイントとの接続を切る 90
Wi-Fi®設定画面のサブメニューを利用する 90
アクセスポイントを登録する 91
アクセスポイントを手動で登録する 91
アクセスポイントを自動で登録する 91
Wi-Fi Direct®を利用する 91
テザリング機能 91
テザリングについて 91
USBテザリング機能を利用する 91
Wi-Fi®テザリング機能を利用する 91
Bluetooth®テザリング機能を利用する 91
赤外線通信 92
赤外線の利用について 92
赤外線でデータを送受信する 92
データを1件受信する 92
データを一括して受信する 92
データを1件ずつ送信する 92
データを選んで送信する 92
データを一括して送信する 92
Bluetooth®機能 93
Bluetooth®機能の利用について 93
Bluetooth®を利用する 93
Bluetooth®を起動する 93
Bluetooth®機器と接続する 93
Bluetooth®でデータを送受信する 94
Bluetooth®でデータを受信する 94
Bluetooth®でデータを送信する 94
おサイフケータイ®(FeliCa) 94
おサイフケータイ®(FeliCa)について 94
おサイフケータイ®(FeliCa)とは 94
おサイフケータイ®(FeliCa)ご利用にあたって 94
リーダー／ライターとデータをやりとりする 95
他の携帯電話とデータをやりとりする 95
おサイフケータイ®(FeliCa)を利用する 95
おサイフケータイ®対応サービスを利用する 95
IC通信でデータを送受信する 95

auのネットワークサービス・海外利用 97

auのネットワークサービスを利用する 98
auのネットワークサービスについて 98
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス) 98
着信転送サービスを利用する(標準サービス) 98
着信転送サービスについて 98
応答できない電話を転送する(無応答転送) 98
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送) 98
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送) 98
手動で転送する(選択転送) 99
海外の電話へ転送する 99
着信転送サービスを停止する(転送停止) 99
着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス) 99
割込通話サービスを利用する(標準サービス) 99
割込通話サービスについて 99
割込通話サービスを開始する 99
割込通話サービスを停止する 99
割込通話を受ける 99
割り込みされたくないときは 99
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス) 100
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス) 100
番号通知リクエストサービスについて 100
番号通知リクエストサービスを開始する 100
番号通知リクエストサービスを停止する 100
呼び出し時間を変更する(標準サービス) 100
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス) 101
お留守番サービスEXについて 101
お留守番サービス総合案内(141)を利用する 101
お留守番サービスを開始する 101
お留守番サービスを停止する 101
電話をかけてきた方が伝言を録音する 101
ボイスメールを録音する 102
伝言お知らせについて 102

伝言・ボイスメールを聞く 102
伝言の蓄積を停止する（不在通知） 102
蓄積停止を解除する 102
応答メッセージの録音／確認／変更をする 102
お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス） 102
日本語／英語ガイダンスを切り替える 102
三者通話サービスを利用する（オプションサービス） 103
迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス） 103
迷惑電話撃退サービスについて 103
最後に着信した電話番号を登録する 103
最後に登録した電話番号を削除する 103
登録した電話番号を全件削除する 103
通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス） 103
グローバルパスポート 104
GLOBAL PASSPORT（グローバルパスポート）について 104
海外でご利用になるときは 104
海外で安心してご利用いただくために 104
海外利用に関する設定を行う 104
PRL（ローミングエリア情報）を取得する 104
ネットワークモードを設定する 104
データローミングを設定する 104
渡航先で電話をかける 104
渡航先から国外（日本含む）に電話をかける 104
渡航先の国内に電話をかける 104
渡航先で電話を受ける 105
お問い合わせ方法 105
海外からのお問い合わせ 105
日本国内からのお問い合わせ 105
サービスエリアと海外での通話料 105
パケットサービス・メッセージサービスの通信料 106
国際アクセス番号＆国番号一覧 106
グローバルパスポートに関するご利用上のご注意 106

付録・索引 107

付録 108
周辺機器のご紹介 108
スイッチ付イヤホンマイク／イヤホンマイク／イヤホンを使用する 108
故障とお考えになる前に 109
ソフトウェアを更新する 110
アフターサービスについて 110
利用できるデータの種類 111
主な仕様 111
携帯電話機の比吸収率（SAR）について 112
CE Declaration of Conformity 112
FCC Notice 113
輸出管理規制 113
おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意 113
『au Wi-Fi SPOT』利用規約 114
知的財産権について 114
索引 116

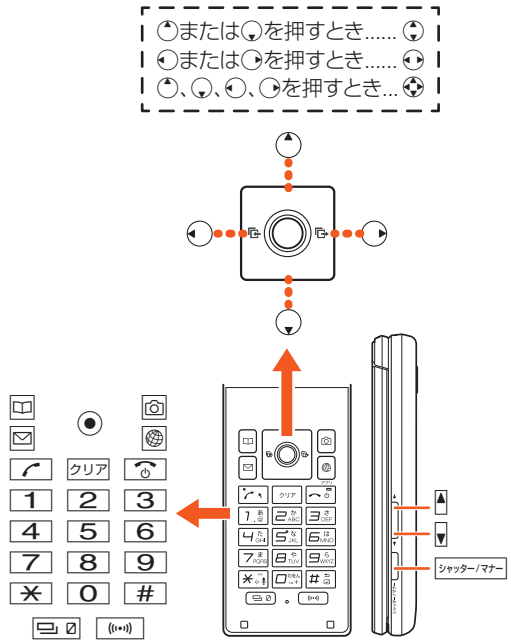
安全上のご注意

本書の表記方法について……6
免責事項について……7
安全上のご注意(必ずお守りください)……7
取り扱い上のお願い……11
ご利用いただく各種暗証番号について……12
防水性能に関するご注意……13
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い……14
パケット通信料についてのご注意……15
アプリケーションについて……15

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書で[ ]囲みしている箇所は、▲▼や▲▼◀▶でメニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどを選択して●(OK／選択／設定／決定／確定)を押すまでの操作を省略して表記しています。

例：電話帳の連絡先を編集する場合

1 待受画面で▭→編集する連絡先を選択→▭(サブメニュー)→[編集]

「編集」を▲▼で選択して、●で決定する操作を表しています。

◎ キー操作について詳しくは、「基本的なキー操作を覚えよう」(▶P.30)をご参照ください。

■ 掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。
また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。

実際の画面　　本書の表記例

◎ 本書では、キーや画面、アイコンは本体カラー「レッド」のお買い上げ時の表示を例に説明していますが、実際のキーや画面、アイコンとは字体や形状が異なっていたり、一部を省略している場合があります。あらかじめご了承ください。
◎ 画面最下行に表示された内容を●／▭／▣／✉／⚙を押して実行する場合、▭(サブメニュー)のようにカッコ内に内容を表記します。
※ ただし、●(OK)／●(選択)／●(設定)／●(決定)／●(確定)の場合は省略して●のみ表記しています。
◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
◎ 本書では「microSD™メモリカード(市販品)」および「microSDHC™メモリカード(市販品)」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎ 本書に表記されている金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
  大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：シャープ株式会社

◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷※1を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が軽傷※2を負うことが想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。	水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	指示	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

■ 本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、au Nano IC Card (LTE)、周辺機器共通

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

指示	必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
禁止	高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
指示	ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®の決済機能をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（おサイフケータイ®をロックされている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。）
禁止	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。漏液・発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
禁止	火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
禁止	充電端子や外部接続端子をショートさせないでください。また、端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。発熱による火災・やけど・故障の原因となる場合があります。
禁止	金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となる場合があります。
禁止	カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。
分解禁止	お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止	落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。
禁止	屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
禁止	充電端子や外部接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。
禁止	本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
禁止	本製品または充電用機器（別売）が濡れている状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。 本製品は防水機能を有しておりますが、濡れた状態でmicroUSBプラグを挿入すると、本製品やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショート、腐食による異常発熱・焼損・火災・やけど・故障の原因となります。
水濡れ禁止	本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が背面カバーの隙間などから本製品に入った場合には、使用しないでください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。
禁止	背面カバーを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。
指示	所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。
禁止	乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込んで窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形・故障の原因となる場合があります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

禁止

使用中や充電中に、布や布団などでおおったり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。

禁止

充電中は、本製品・指定の充電用機器（別売）に、長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

禁止

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となる場合があります。

禁止

本製品から背面カバーを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

禁止

背面カバーを外したまま使用しないでください。

禁止

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

指示

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

指示

イヤホンなどを本製品に装着して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

指示

イヤホンなどを本製品に装着し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

指示

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、破損・故障の原因となります。

指示

お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

■本体について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。
3. 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

指示

通話・メール・インターネット・撮影などをするときや、テレビ（ワンセグ）視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に乳幼児に対しては、至近距離で撮影しないでください。
視力障がいの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

指示

点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がごくまれにいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

■本体(SHF31)

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース(操作キーシート部)	PET	アクリル系UV硬化処理
外装ケース(下側キー周囲部)	ガラス繊維入りポリアミド樹脂	アクリル系UV硬化処理
外装ケース(下側背面)	ガラス繊維入りPC+ABS樹脂	アクリル系塗装
外装ケース(メインディスプレイ枠部)	アクリル樹脂	ハードコート処理
外装ケース(メインディスプレイ背面)	アクリル樹脂	アクリル系UV硬化処理
外装ケース(メインディスプレイ側・ヒンジ側・先端部)	ガラス繊維入りポリアミド樹脂	アクリル系UV硬化処理
メインディスプレイ	アクリル樹脂	ハードコート処理
サブディスプレイ	アクリル樹脂	アクリル系UV硬化処理
ヒンジ部ストッパー	POM樹脂	なし
ヒンジ部カバー	PC+ABS樹脂	アクリル系UV硬化処理
ヒンジ部パネル	アクリル樹脂	アクリル系UV硬化処理
カメラレンズ	アクリル樹脂	ハードコート処理
カメラレンズ飾り	アルミ	染色アルマイト処理
モバイルライトレンズ	PC樹脂	なし
赤外線ポートカバー	アクリル樹脂	なし
センターキー	アクリル樹脂	なし
カーソルキー	アクリル樹脂	なし
キー飾り(カーソルキー、電話帳キーなど)	アクリル樹脂	なし
電話帳キー カメラキー メールキー ブラウザ／アプリキー	アクリル樹脂	なし
発信キー クリアキー 電源／終話キー ダイヤルキー	アクリル樹脂	なし
アプリ使用履歴キー テザリングキー	アクリル樹脂	なし
音量UP／DOWNキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
シャッター／マナーキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
充電端子	SUS	金メッキ
背面カバー	ガラス繊維入りPC樹脂+シリコン	アクリル系UV硬化処理
接続端子	銅合金	全面Ni下地メッキ、金メッキ
当り部品	シリコン	なし
au Nano IC Card (LTE)トレイ	POM樹脂	なし
磁性シート	フェライト(主に酸化鉄)	PETフィルム(ポリエチレンテレフタラート)
外部接続端子(外枠金属部)	SUS	錫メッキ
外部接続端子(端子補強板金属部)	SUS	錫メッキ
外部接続端子(端子樹脂部)	ポリアミド樹脂	なし
外部接続端子(端子接点部)	コルソン合金	金メッキ
ねじ	SUS	なし
ゴムパッキン	シリコンゴム	なし
背面カバークッション	発泡ウレタン	なし

■電池パック

使用箇所	使用材質	表面処理
外装	PC樹脂+PET	なし
接続部	銅合金	金メッキ

禁止

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。

禁止

microSDメモリカードスロットに液体、金属、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。

禁止

ストラップなどを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをする原因となることがあります。

禁止

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

指示

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

禁止

通話・通信中などの使用中は、本製品が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。

■電池パックについて

(本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。)
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

電池パックのプラス(+)とマイナス(−)をショートさせないでください。

禁止

電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分に確認してから接続してください。

禁止

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

禁止

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片(ネックレスやヘアピンなど)などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる発熱・発火・火災・漏液・故障の原因となる場合があります。

分解禁止

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂・傷害の原因となります。

禁止

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。発熱・発火・漏液・故障・傷害の原因となる場合があります。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

水濡れ禁止

電池パックを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破裂・発火・故障・傷害の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

指示

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は傷害を起こすおそれがあるので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。

指示

電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火・火災・傷害などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止
指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電・傷害などの原因となります。
- 指定のACアダプタ(別売):AC100～240V
  海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 指定のDCアダプタ(別売):DC12V・24V(マイナスアース車専用)

指示
指定の充電用機器(別売)の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、感電・発熱・発火・火災・傷害の原因となります。指定の充電用機器(別売)が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

指示
共通DCアダプタ03(別売)のヒューズが切れたときは、指定(定格250V、1A)のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。(ヒューズの交換は、共通DCアダプタ03(別売)の取扱説明書をよくご確認ください。)

禁止
指定の充電用機器(別売)のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電や回路のショートによる火災・故障・傷害の原因となります。

禁止
接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止
雷が鳴り出したらACアダプタに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

プラグをコンセントから抜く
お手入れをするときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートによる火災・故障・傷害の原因となります。

指示
電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災・やけど・感電の原因となります。

指示
共通DCアダプタ03(別売)は、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置で使用してください。交通事故の原因となります。共通DCアダプタ03(別売)の取扱説明書に従って使用してください。

プラグをコンセントから抜く
長時間使用しない場合は電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。火災・故障の原因となります。

水濡れ禁止
指定の充電用機器(別売)は防水性能を有していません。水やペットの尿など液体が直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。発熱・火災・感電・傷害の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には、直ちに電源プラグを抜いてください。

濡れ手禁止
濡れた手で指定の充電用機器(別売)を抜き差ししないでください。感電・故障・傷害の原因となります。

禁止
卓上ホルダ(別売)を自動車内で使用しないでください。運転の妨げにより事故の原因となります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

プラグをコンセントから抜く
指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、充電用機器を持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷し、発熱・発火・感電・傷害の原因となる場合があります。

禁止
本製品から電池パックを外した状態で指定の充電用機器を差したまま放置しないでください。発火・感電・傷害の原因となります。

■ au Nano IC Card (LTE)について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止
電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Nano IC Card (LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示
au Nano IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

指示
au Nano IC Card (LTE)は、当社指定以外の機器には使用しないでください。データの消失や故障の原因となります。
指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

分解禁止
au Nano IC Card (LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止
au Nano IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止
au Nano IC Card (LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止
au Nano IC Card (LTE)のIC(金属)部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止
au Nano IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止
au Nano IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重いものを載せたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

水濡れ禁止
au Nano IC Card (LTE)を濡らさないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止
au Nano IC Card (LTE)のIC(金属)部分を傷付けないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止
au Nano IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止
au Nano IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。データの消失・故障の原因となります。

指示
au Nano IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、au Nano IC Card (LTE)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損・故障の原因となります。
  また、外部機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損・故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5、IPX7相当)を発揮するために、指定の背面カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、電池パックや充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままで背面カバーの取り付けや取り外しは行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
  - 充電用機器
  - 変換ケーブル類
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、一時的な使用に限り、温度36℃～40℃の範囲で可能です。)
  - SHF31本体
  - 電池パック(SHF31本体装着状態)
  - au Nano IC Card (LTE)(SHF31本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 使用中、本製品が高温となった場合、本体保護のため一時的に画面の明るさを下げたり、一部機能を停止することがあります。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。

■本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 本製品のキー部分(タッチエリア)を指で触れることでタッチパッドのように操作できますが(タッチクルーザーEX)、以下の場合はタッチエリアに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - シールなどを貼っての操作
  - 水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
- 電池パックを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシール内に表示された「技適マーク㊣」は、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク㊣」が本製品の銘板シールに表示されております。
  本製品のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先・メール・ブックマークなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はメインディスプレイに液晶を使用しております。そのため、偏光特性を持ったサングラスをかけてディスプレイを見ると、サングラスの特性や見る角度によっては暗くなったりゆがんで見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はメインディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているメインディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はサブディスプレイ部に有機ELディスプレイを採用しています。有機ELディスプレイは、同じ画像を長く表示したり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちる場合がありますが、有機ELディスプレイの特性によるもので故障ではありません。
- 有機ELディスプレイは非常に高度な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素などが存在することがあります。また見る方向によってすじ状の明るさのむらが見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 有機ELディスプレイに直射日光を当てたままにすると故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 撮影などした静止画／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 外部接続端子に外部機器を接続するときは、端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央に当たるようにしてお使いください。受話口(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- メインディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、本製品が損傷するおそれがあります。
- 本製品の開閉の際に指などを挟まないようにご注意ください。
- 本製品に磁気を帯びたものや金属製のストラップなどを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。

■電池パックについて

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本製品から電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックは消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。
  これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 指定の充電用機器(別売)の電源コードを電源プラグや卓上ホルダ(別売)に巻きつけないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。
- 共通DCアダプタ03(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

■au Nano IC Card (LTE)について

- au Nano IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au Nano IC Card (LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Nano IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Nano IC Card (LTE)のIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)などで拭いてください。
- au Nano IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。

■カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■音楽／動画／テレビ(ワンセグ)機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

※控え作成の手段：連絡先のデータや音楽データ、撮影した静止画や動画など、重要なデータはmicroSDメモリカードやパソコンなどの外部記録媒体に保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

■暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■セキュリティキー(暗証番号／パスワード)

使用例	音声発信制限などの設定／解除やおサイフケータイ®をロックする場合
初期値	1234

■PINコード

使用例	第三者によるau Nano IC Card (LTE)の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

PINコードについて

■PINコード

第三者によるau Nano IC Card (LTE)の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は入力不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は入力必要な設定に変更できます。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Nano IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- PINコードはデータの初期化を行ってもリセットされません。

◎ PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。

防水性能に関するご注意

正しくお使いいただくために、「防水性能に関するご注意」の内容をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となります。
実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、「防水性能に関するご注意」に記載されている内容を守らずにご使用になった場合など、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

■ 本製品の防水性能

本製品は背面カバーを確実に取り付けた状態で、保護等級(JIS C 0920)IPX5相当※1、IPX7相当※2の防水性能を有しております(当社試験方法による)。
また、防塵性能は有しておりません。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところに本製品を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

■ 本製品が有する防水性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます(1時間あたり20mm未満の雨量)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水などの水道水以外の水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 弱めの水流(6リットル/分以下)で常温(5℃～35℃)の水道水を使って本製品を洗うことができます。

■ 本製品のお取り扱いについて

- 背面カバーを確実に取り付けてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛、砂粒、微細な繊維など)が挟まると、浸水の原因となります。
- 背面カバーを取り外している状態で水などの液体がかかった場合、感電や故障の原因となります。そのまま使用しないで、電源を切り、お近くのauショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品が濡れているときは、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- 手や本製品が濡れているときには、背面カバーの取り付け/取り外しは絶対にしないでください。
- 常温(5℃～35℃)の真水・水道水にのみ対応しています。常温の真水・水道水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の真水・水道水で洗ってください。
- 外部接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる、火災・やけど・故障の原因となります。

■ 使用時のご注意

- 本製品に次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
  ・石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水
  ・海水、プールの水
  ・温泉、熱湯など
- 海水やプールの水、清涼飲料水などがかかったり、ほこり、砂、泥などが付着した場合には、すぐに常温(5℃～35℃)の真水・水道水で洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。
- 砂や泥がきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本製品に傷が付いたり、破損するなど故障の原因となります。
- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください。(キー操作を含む。)
- 本製品は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水(6リットル/分を超える)を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは本製品が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
- コンロのわきや冷蔵庫の中など極端に高温・低温になるところに置かないでください。
- 受話口、送話口、スピーカーの穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥を行ったうえでご使用ください。
- 本製品は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地では凍結するなど、故障の原因となります。
- 落下させるなど本製品に強い衝撃を与えたり、受話口、送話口、スピーカーなどをとがったものでつつかないでください。本製品が変形したり、傷が発生したりすることなどにより、防水性能が損なわれることがあります。
- 砂浜、砂場などの砂の上や、泥の上に直接置かないでください。受話口、スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなるおそれがあります。
- 電池パック、卓上ホルダ(別売)やオプション品は、防水対応していません。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 背面カバーに劣化、破損があるときは、防水性能を維持できません。このときは、お近くのauショップまでご連絡ください。

■ 防水性能を維持するために

■ 防水パッキンについて

背面カバーの防水パッキンは、防水性能を維持するために重要な部品です。次のことにご注意ください。

- はがしたり、傷付けたりしないでください。
- 背面カバーを取り付けるときは、防水パッキンを挟まないように注意してください。また、背面カバーの隙間や外部接続端子部に、先の尖ったものを差し込まないでください。
  ゴムパッキンが傷付き、浸水の原因となることがあります。
- 防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回部品を交換することをおすすめします(有償)。部品の交換につきましては、お近くのauショップまでご連絡ください。

■ 充電時のご注意

電池パック、卓上ホルダ(別売)、指定の充電用機器(別売)やオプション品は、防水性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本製品が濡れていないか確認してください。濡れている場合や水に濡れた後は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダ(別売)に差し込んだり、外部接続端子にmicroUSBプラグを差し込んでください。
- 本製品や卓上ホルダ(別売)、充電用機器(別売)が濡れている状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。
  本製品は防水機能を有しておりますが、濡れた状態でmicroUSBプラグを挿入すると、本製品やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショート、腐食による異常発熱・焼損・火災・やけど・故障の原因となります。
- 濡れた手で卓上ホルダ(別売)や指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。
- 卓上ホルダ(別売)、指定の充電用機器(別売)およびオプション品は、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。

■ 本製品の洗いかた

本製品の表面に汚れ、ほこり、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流(6リットル/分以下)で常温(5℃～35℃)の水道水を使い、蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。
背面カバーに隙間が開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。

- 背面カバーがきちんと取り付けられていることを確認してから、洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 外部接続端子部は、特にほこりや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようにしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は、十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障の原因となります。
- 外部接続端子部を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水性能が損なわれるなど、火災・やけど・故障の原因となります。
- 乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本製品を発熱・発煙・発火させたり、回路部品を破壊させる原因となります。
- 乾燥のために、ドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置しないでください。本製品の変形・変色・故障などの原因となります。

■水抜きのしかた

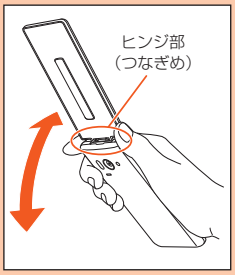
水に濡れた後は、必ず「外部接続端子部」「受話口(レシーバー部)」「送話口(マイク部)」「スピーカー部」「キー部」「ヒンジ部(つなぎめ)」などの水抜きを行ってください。

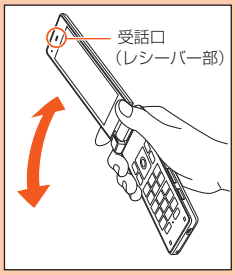
1 本製品表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

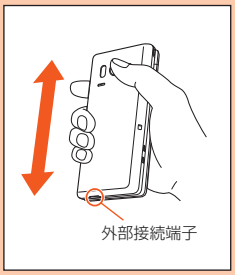
ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

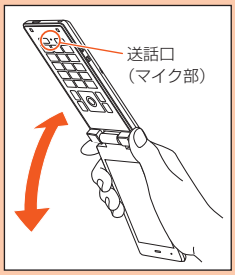
2 本製品のヒンジ部(つなぎめ)をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

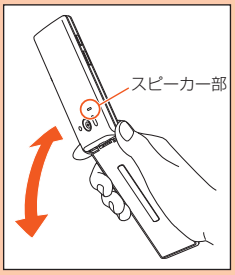
周囲の安全を確認して、本製品を落とさないようにしっかり握って振ってください。





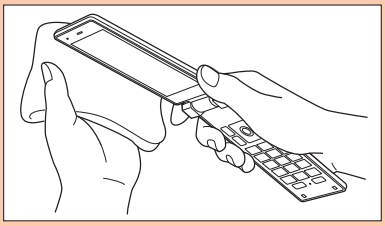






3 各部の隙間に入った水分を、乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当てて拭き取る

各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出し、水や異物が入っていないことを確認してください。



4 乾いた布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置し、乾燥させる

水を拭き取った後に本製品内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

隙間に溜まった水を、綿棒などで直接拭き取らないでください。

■水抜き後のご注意

水滴が付着したままで使用しないでください。

- 通話不良となったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。
- 外部接続端子などがショートし、火災・故障の原因となることがあります。
- 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い

周波数帯について

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能(2.4GHz帯)は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能で使用している周波数帯は、電池パックを取り外した下のシールに記載されています。

- Bluetooth®機能:2.4FH1/XX4

2.4FH1/XX4

本製品は2.4GHz帯を使用します。
FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
XX4はその他方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- 無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS/OF4

2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。
本製品の2.4GHz帯の無線LAN(Wi-Fi®)で使用できるチャンネルは、1～13です。
利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®についてのお願い

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

■Bluetooth®機能ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い

- 本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■ 2.4GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用周波数は、2.4GHz帯です。2.4GHzの周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。
  ※ 無線LAN(Wi-Fi®)の場合はパケット通信料はかかりません。

アプリケーションについて

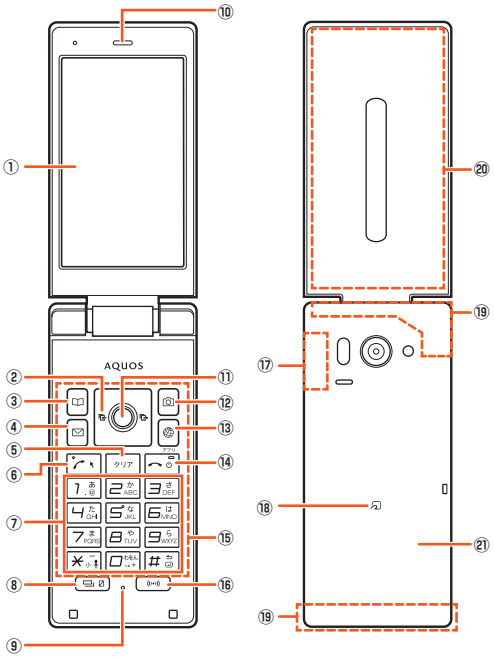
- アプリケーションのダウンロードについてはau IDを設定のうえ、auスマートパスより行ってください。au IDの設定については『設定ガイド』をご参照ください。
  本製品ではGoogle Play™やEZwebのご利用はできません。
- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中に画面が消灯しなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、『取扱説明書』『設定ガイド』『取扱説明書 詳細版』に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

各部の名称と機能 18
電池パックの取り付け／取り外しかた 19
au Nano IC Card (LTE)を利用する 20
microSDメモリカードを利用する 21
充電する 22
電源を入れる／切る 23
データを引き継ぐ 24

各部の名称と機能

■ 前面／背面



① **メインディスプレイ**

② **カーソルキー**
- **左キー／着信履歴**
- **右キー／発信履歴**
- **上キー**
- **下キー**

③ **電話帳キー**

④ **メールキー**

⑤ **クリアキー**

⑥ **発信キー**

⑦ **0**～**9**、**＊**、**＃** **ダイヤルキー**

⑧ **アプリ使用履歴キー**
起動中アプリ一覧画面を表示します。(▶P.30)
また、長押しすると、のぞき見防止を設定／解除できます。

⑨ **送話口(マイク)**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。使用中はマイクを指などでおおわないようにご注意ください。

⑩ **受話口(レシーバー)**
通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。

⑪ **センターキー**

⑫ **カメラキー**

⑬ **ブラウザ／アプリキー**
ブラウザメニューを表示します。また、長押しするとアプリ一覧を表示します。

⑭ **電源／終話キー**
操作中は通話や各機能を終了します。長押しすると電源を入れる、または電源メニューを表示させて電源を切る／再起動などの操作ができます。

⑮ **タッチエリア(タッチクルーザーEX)**
本製品のタッチエリアを指で触れることでタッチパッドのように操作できます。(▶P.26)

⑯ **テザリングキー**

⑰ **Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ**

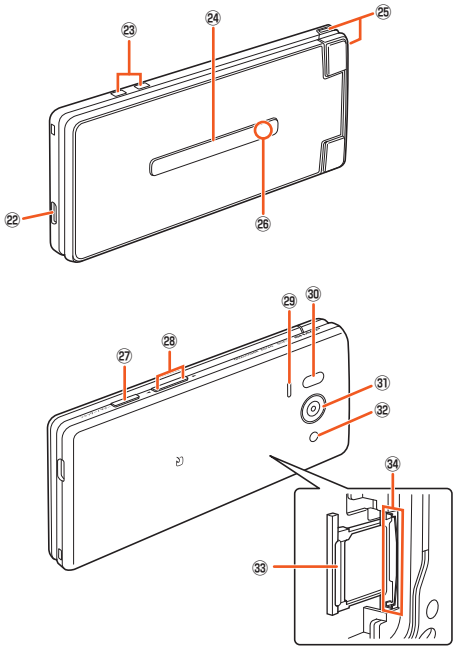
⑱ **マーク**
おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。

⑲ **内蔵アンテナ**
通話時、インターネット利用時、4G(LTE)／3G利用時に使用します。

⑳ **テレビアンテナ**
テレビ(ワンセグ)を視聴するためのアンテナを内蔵しています。

㉑ **背面カバー**

■ 折りたたみ時(前面／背面／側面)



㉒ **外部接続端子**
共通ACアダプタ05(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)、周辺機器接続用USBケーブル(市販品)などの接続時に使用します。
共通ACアダプタ05(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)などを接続すると、接続機器の磁気が地磁気センサーに影響し、アプリケーションによっては正常に動作しないことがあります。ケーブル類を外してご使用ください。

㉓ **充電端子**
卓上ホルダ(別売)を使用して充電するときの端子です。

㉔ **サブディスプレイ**
着信時、メール受信時、アラーム鳴動時などに情報を表示してお知らせします。

㉕ **ストラップ取付部**

㉖ **充電／着信ランプ**
充電中は電池残量によって赤色／緑色で点灯します。
着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。

㉗ **シャッター／マナーキー**

㉘ **音量UP／DOWNキー**
音量を調節します。
本製品が閉じているときに▲を長押しすると、モバイルライトが点灯します。

㉙ **スピーカー**
着信音やアラーム音などが聞こえます。

㉚ **赤外線ポート**
赤外線通信で、データの送受信を行います。

㉛ **カメラ(レンズ部)**

㉜ **モバイルライト**

㉝ **au Nano IC Card (LTE) トレイ／スロット**

㉞ **microSDカードスロット**

内蔵アンテナ、Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナおよびテレビアンテナについて
◎ アンテナは本製品に内蔵されています。通話中や通信中はアンテナを手でおおわないでください。また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなることがあります。

IMEIについて
◎ IMEI(端末識別番号)は端末1台ずつに割り当てられた固有の識別番号です。電池パックを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールで本製品のIMEIを確認できます。
◎ IMEIは修理依頼やアフターサービスなどで必要な情報ですので、IMEIの印刷されたシールは、はがさないでください。

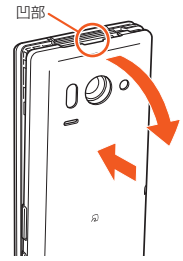
電池パックの取り付け／取り外しかた

本製品専用の電池パックをご利用ください。

電池パックを取り付ける

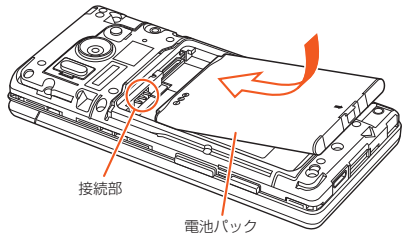
1 背面カバーを取り外す

背面カバーの中央部を押さえながら凹部に指先(爪など)をかけ、矢印の方向に引いて背面カバーを取り外します。
取り外しにくい場合は本体と背面カバーの隙間に指先などをかけて背面カバーを持ち上げ、隙間を広げてから取り外してください。



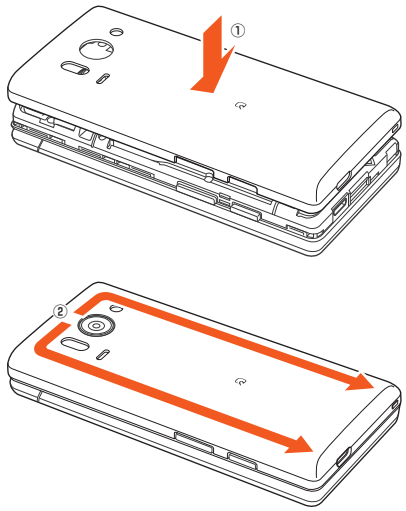
2 電池パックを取り付ける

本体の接続部の位置を確かめて、電池パックを矢印の方向へ確実に押し込みます。



3 背面カバーを取り付ける

背面カバーを本体に合わせて置き(①)、矢印の方向(②)に指でしっかり押さえて装着します。



◎ au Nano IC Card (LTE)トレイが確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。
◎ 防水性能を保つために、背面カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。
◎ 間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび背面カバー破損の原因となります。

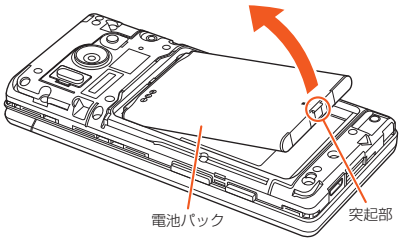
電池パックを取り外す

電池パックの取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

1 本体裏面の背面カバーを取り外す

2 電池パックを取り外す

電池パックの突起部に指先(爪など)をかけて、矢印の方向に持ち上げて取り外します。



3 背面カバーを取り付ける

au Nano IC Card (LTE)を利用する

au Nano IC Card (LTE)について

au Nano IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などの情報が記録されています。
本製品はau Nano IC Card (LTE)にのみ対応しております。au Nano IC Card (LTE)以外のICカードはご利用できません。

◎ au Nano IC Card (LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au Nano IC Card (LTE)のIC(金属)部分には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎ 取り外したau Nano IC Card (LTE)はなくさないようにご注意ください。
◎ au Nano IC Card (LTE)着脱時は、必ず共通ACアダプタ05(別売)などのmicroUSBプラグを本製品から抜いてください。

■ au Nano IC Card (LTE)が挿入されていない場合

au Nano IC Card (LTE)が挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。
- 電話をかける※／受ける
- メールの送受信
- 自局電話番号の確認
- UIMカードロック設定

※ 110番(警察)・119番(消防機関)・118番(海上保安本部)への緊急通報や157(お客さまセンター)への発信もできません。

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。
また、au Nano IC Card (LTE)以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。

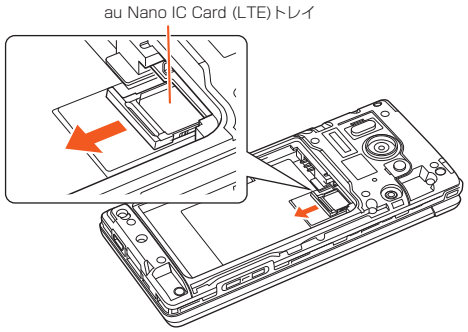
■ PINコードによる制限設定

au Nano IC Card (LTE)をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。

au Nano IC Card (LTE)を取り付ける

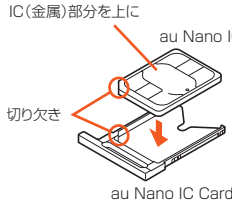
au Nano IC Card (LTE)の取り付けは、本製品の電源を切り、電池パックとmicroSDメモリカードを取り外してから行います。

1 au Nano IC Card (LTE)トレイに指をかけ、まっすぐにゆっくりと引き出す



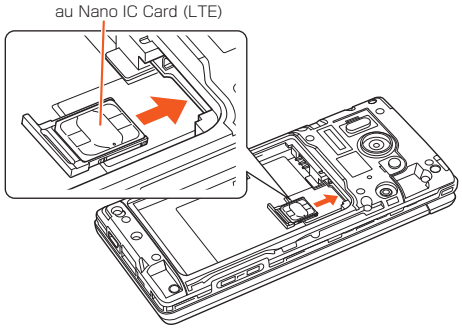
2 au Nano IC Card (LTE)トレイにau Nano IC Card (LTE)を装着する

au Nano IC Card (LTE)とau Nano IC Card (LTE)トレイの切り欠き方向に注意して、ゆっくりと装着してください。



3 au Nano IC Card (LTE)トレイをau Nano IC Card (LTE)トレイスロットにゆっくり差し込む

au Nano IC Card (LTE)トレイスロットの位置をよく確認し、au Nano IC Card (LTE)トレイの向きに注意して、矢印の方向に奥まで差し込んでください。無理に差し込もうとすると、au Nano IC Card (LTE)トレイが破損する場合があります。



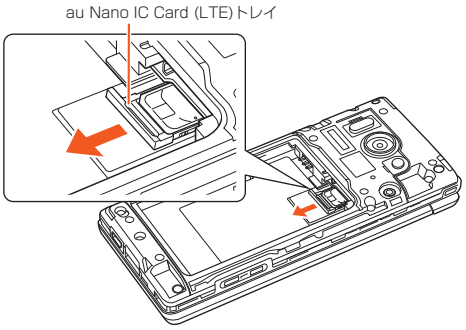
4 電池パックを取り付け、背面カバーを装着する(▶P.19)

◎ au Nano IC Card (LTE)トレイの差し込みが不十分な場合は、正常に動作しないことがあります。
◎ 取り外したau Nano IC Card (LTE)トレイは紛失・破損しないようにご注意ください。

au Nano IC Card (LTE)を取り外す

au Nano IC Card (LTE)の取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックとmicroSDメモリカードを取り外してから行います。

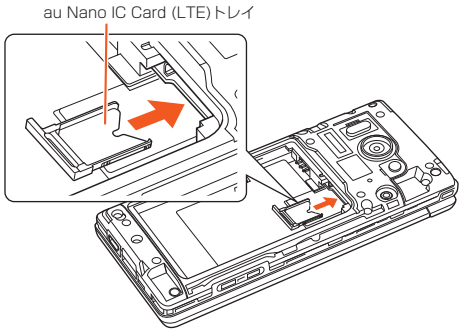
1 au Nano IC Card (LTE)トレイに指をかけ、まっすぐにゆっくりと引き出す



2 au Nano IC Card (LTE)トレイからau Nano IC Card (LTE)を取り外す

3 au Nano IC Card (LTE)トレイをau Nano IC Card (LTE)トレイスロットにゆっくり差し込む

au Nano IC Card (LTE)トレイスロットの位置をよく確認し、au Nano IC Card (LTE)トレイの向きに注意して、矢印の方向に奥まで差し込んでください。無理に差し込もうとすると、au Nano IC Card (LTE)トレイが破損する場合があります。



4 電池パックを取り付け、背面カバーを装着する(▶P.19)

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカードについて

microSDメモリカード(microSDHCメモリカードを含む)を本製品に取り付けて、データを保存／移動／コピーできます。

◎ 他の機器でフォーマットしたmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品でフォーマットしてください。フォーマットについて詳しくは、「microSDメモリカードをフォーマットする」(▶P.86)をご参照ください。
◎ microSDメモリカード内のデータを再生／表示する場合は、データフォルダを利用してください。データフォルダについて詳しくは、「データを表示／再生する」(▶P.63)をご参照ください。
◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。

■ 取扱上のご注意

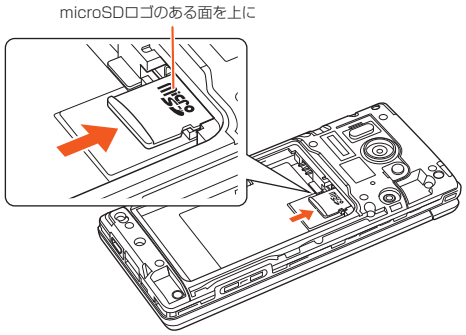
- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 本製品はmicroSD／microSDHCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD／microSDHCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける

microSDメモリカードの取り付けは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

1 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、まっすぐにゆっくり差し込む

挿入方向を確認し、カチッと音がしてロックされるまで矢印の方向に差し込んでください。
また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。



2 電池パックを取り付け、背面カバーを装着する(▶P.19)

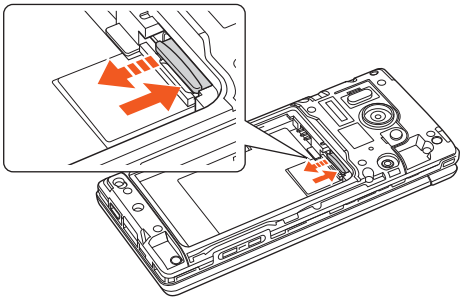
◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。
◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードの取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

1 microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



2 microSDメモリカードをまっすぐにゆっくりと引き抜く

3 電池パックを取り付け、背面カバーを装着する(▶P.19)

◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

充電する

充電について

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

- 充電中は充電／着信ランプが赤色に点灯し、電池マークに⚡が重なって表示されます。約95%まで充電されると充電／着信ランプが緑色に点灯します。充電が完了すると、充電／着信ランプが消灯します。

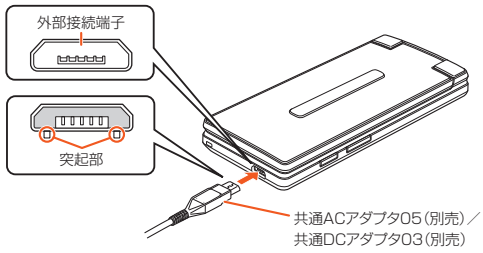
◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
◎ 操作方法や使用環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際、安全のため充電が停止することがあります。
◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
◎ 指定の充電用機器（別売）を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、電池パックの寿命が短くなります。
◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。
◎ 充電／着信ランプが赤色に点滅したときは、電池パックの取り付け、接続などが正しいかご確認ください。
それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
◎ 連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
- 圏外が表示される場所での使用が多い場合
- Wi-Fi®機能やBluetooth®機能、メール機能、カメラ機能、テレビ機能、位置情報などを使用している場合
- アプリケーションなどで画面が消灯しないように設定されている場合
- バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

◎ 充電中、充電／着信ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、▭が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。

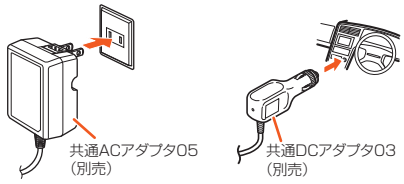
指定のACアダプタ（別売）／指定のDCアダプタ（別売）を使って充電する

共通ACアダプタ05（別売）／共通DCアダプタ03（別売）を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ（別売）／指定のDCアダプタ（別売）について詳しくは、「周辺機器のご紹介」（▶P.108）をご参照ください。

1 本製品の外部接続端子に共通ACアダプタ05（別売）／共通DCアダプタ03（別売）のmicroUSBプラグを、向きを確認して矢印の方向に差し込む



2 共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む／共通DCアダプタ03（別売）のプラグをシガーライタソケットに差し込む



3 充電が終わったら、本製品の外部接続端子から共通ACアダプタ05（別売）／共通DCアダプタ03（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く

4 共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをコンセントから抜く／共通DCアダプタ03（別売）のプラグをシガーライタソケットから抜く

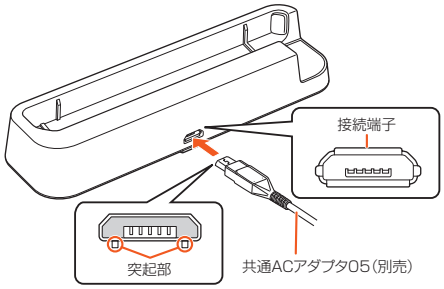
◎ 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

卓上ホルダ（別売）と指定のACアダプタ（別売）を使って充電する

卓上ホルダ（別売）と共通ACアダプタ05（別売）を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ（別売）については、「周辺機器のご紹介」（▶P.108）をご参照ください。

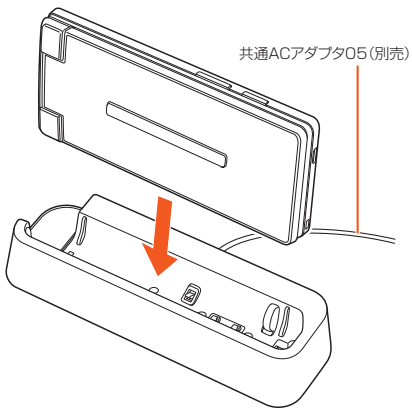
1 卓上ホルダ（別売）の接続端子に共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBプラグを差し込む

microUSBプラグの向きを確認して、矢印の方向に差し込んでください。

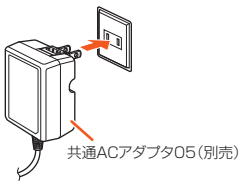


2 本製品を卓上ホルダ（別売）に取り付ける

本製品を閉じて図のように取り付けてください。



3 共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む



4 充電が終わったら、本製品を卓上ホルダ（別売）から取り外し、共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

卓上ホルダ（別売）から本製品を取り外すときは、卓上ホルダ（別売）を押さえながら外してください。
卓上ホルダ（別売）から共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBプラグを取り外すときは、まっすぐ引き抜きます。

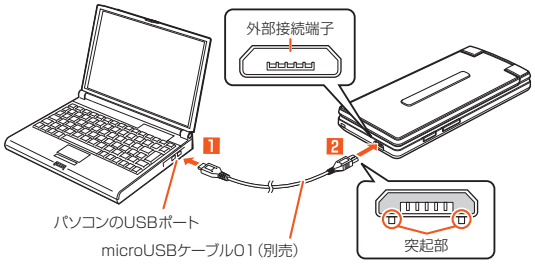
◎ 卓上ホルダ（別売）をご利用の際は、必ず指定の充電用機器（別売）を接続してください。パソコンやポータブル充電器など、指定以外のものを卓上ホルダ（別売）に直接接続すると故障の原因になりますので、接続しないでください。

パソコンを使って充電する

本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）をパソコンのUSBポートに接続

2 microUSBケーブル01（別売）を本製品に接続



◎ USB充電を行った場合、指定のACアダプタ（別売）での充電と比べて時間が長くかかる場合があります。
◎ 本製品の外部接続端子にmicroUSBプラグを差し込む場合は、突起部を下にしてまっすぐに差し込んでください。microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本製品の外部接続端子が破損することがあります。
◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプが点灯しない場合があります。その場合は、指定のACアダプタ（別売）を使用して充電してください。

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 電源が切れた状態で☎（2秒以上長押し）

■ 電源を切る

1 ☎（2秒以上長押し）

2 [電源を切る]

■ 再起動する

本製品の電源をいったん切り、再度起動します。

1 ☎（2秒以上長押し）

2 [再起動]

■ 強制的に電源を切る

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切ることができます。

1 ☎（8秒以上長押し）
バイブレータが振動した後、手を離すと電源が切れます。

◎ 強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

■ セーフモードで起動する

本製品の電源をいったん切り、お買い上げ時に近い状態で起動します。
本製品の動作が不安定になった場合、お買い上げ後にインストールしたアプリケーションが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合、インストールしたアプリケーションをアンインストールすると症状が改善されることがあります。

1 ☎（2秒以上長押し）

2 「電源を切る」を選択→●（長押し）→[OK]
セーフモードで起動すると、画面下部に「セーフモード」と表示されます。
セーフモードを終了するには再起動してください。

◎ セーフモードで起動する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
◎ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合はセーフモードを終了してください。

データを引き継ぐ

microSDメモリカードを利用して、これまでお使いの携帯電話／スマートフォンのバックアップデータを本製品の本体メモリに取り込んだり、本製品の本体メモリのデータをバックアップしたりできます。本製品にデータを引き継ぐ場合は、あらかじめ、バックアップデータを保存したmicroSDメモリカードを本体に取り付けておいてください。また、これまでお使いのスマートフォンがBluetooth®対応の場合は、Bluetooth®機能を利用して電話帳データを取り込むこともできます。

- これまでお使いの携帯電話／スマートフォンの操作については、これまでお使いの携帯電話／スマートフォンの取扱説明書をご参照ください。

1 待受画面で●→[設定]→[データ引継・リセット]→[データ引継]

データ引き継ぎ画面が表示されます。

2

開始	**従来の携帯電話から** ▶P.24「microSDメモリカードに保存したバックアップデータを取り込む」 ▶P.24「携帯電話から赤外線通信機能を利用して電話帳データを取り込む」 **スマートフォンから** ▶P.24「microSDメモリカードに保存したバックアップデータを取り込む」 ▶P.24「スマートフォンからBluetooth®機能を利用して電話帳データを取り込む」 **データ保存** ▶P.24「microSDメモリカードにデータをバックアップする」
取り込み前の準備方法	データ引継を使用する前の準備方法を表示します。

■ microSDメモリカードに保存したバックアップデータを取り込む

1 データ引き継ぎ画面で[開始]

2 [従来の携帯電話から]／[スマートフォンから]→[microSD]／[microSD経由]

取り込むことができるデータカテゴリが一覧表示されます。

3 ●(開始)→ロックを解除

4 取り込むデータカテゴリを選択

すべてのカテゴリを選択／解除したい場合、◎(全選択)／▽(全解除)を押します。バックアップデータは最新のものが選択されます。

5 ◎(追加登録)

機内モードが無効になっている場合は、機内モードが有効になり、登録が開始されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

6 ●(完了)

◎ 電池残量が少ないときは取り込みできません。
◎ 取り込みが完了しても「機内モード」から指定のネットワークモードに戻らない場合は、手動で戻してください。
◎ ユーザー辞書／学習辞書は削除して登録されます。

■ 携帯電話から赤外線通信機能を利用してデータを取り込む

1 データ引き継ぎ画面で[開始]

2 [従来の携帯電話から]→[赤外線]

3 ●(開始)→認証コードを入力

認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

4 ◎(確定)

リクエスト画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
相手側の機器で操作が必要な場合は行ってください。

5 ロックを解除

6 [追加登録]／[削除して登録]

確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ 電池残量が少ないときは取り込みできません。
◎ ユーザー辞書／学習辞書は削除して登録されます。

■ スマートフォンからBluetooth®機能を利用して電話帳データを取り込む

1 データ引き継ぎ画面で[開始]

2 [スマートフォンから]→[Bluetooth経由]

3 ●(次へ)

4 これまでお使いのスマートフォンのBluetooth®機能を有効にし、Bluetoothデバイスから検索できる状態にする→●(次へ)

5 これまでお使いのスマートフォンを選択→●→●(開始)

リクエスト画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
相手側の機器で操作が必要な場合は行ってください。

6 ●(次へ)

7 [追加登録]／[削除して登録]

確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

8 [OK]

◎ 電池残量が少ないときは取り込みできません。
◎ バックアップデータを削除して登録中に操作がキャンセルされた場合は、処理中の本体メモリ内のデータは削除され、キャンセルする直前までのバックアップデータが登録されます。

■ microSDメモリカードにデータをバックアップする

1 データ引き継ぎ画面で[開始]

2 [データ保存]→ロックを解除

3 保存するデータカテゴリを選択

すべてのカテゴリを選択／解除したい場合、◎(全選択)／▽(全解除)を押します。
前回バックアップ時と同じ項目を選択したい場合、▭(サブメニュー)→[前回選択項目のチェック]と操作します。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

4 ◎(保存)

機内モードが無効になっている場合は、機内モードが有効になり、バックアップが開始されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

5 ●(完了)

◎ 電池残量が少ないときはバックアップできません。
◎ 本体メモリの空き容量が11MB未満の場合は、microSDバックアップを利用できません。
◎ バックアップが完了しても「機内モード」から指定されているネットワークモードに戻らない場合は、手動で戻してください。
◎ バックアップデータは最大1,000件まで保存できます。

データ引継の設定をする

1 データ引き継ぎ画面で◎(設定)

2

保存ファイルの整理	▶P.24「保存したファイルを削除する」
電話帳画像保存	▶P.24「電話帳の画像を保存する」
結果画面閲覧	▶P.24「保存／取り込み結果を閲覧する」

■ 保存したファイルを削除する

1 データ引き継ぎ画面で◎(設定)→[保存ファイルの整理]

2 削除したいカテゴリを選択

3 削除したいファイルを選択→◎(削除)

すべてのファイルを選択／解除したい場合は◎(全選択)／▽(全解除)を押します。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

■ 電話帳の画像を保存する

1 データ引き継ぎ画面で◎(設定)→[電話帳画像保存]

有効にすると電話帳を取り込むときに画像も保存されます。

■ 保存／取り込み結果を閲覧する

1 データ引き継ぎ画面で◎(設定)→[結果画面閲覧]

2 [保存結果詳細]／[取り込み結果詳細]

保存／取り込み結果の詳細が表示されます。

基本操作

タッチクルーザーEXを利用する 26
待受画面を利用する 26
ステータスバーを利用する 27
サブディスプレイを利用する 28
メインメニューを利用する 28
起動中アプリ一覧画面を利用する 30
共通の操作を覚える 30

タッチクルーザーEXを利用する

本製品のタッチエリアを指で触れることでタッチパッドのように操作できます(タッチクルーザーEX)。タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを起動すると、タッチクルーザーEXが有効になり、画面に表示されるポインタを操作できるようになります。

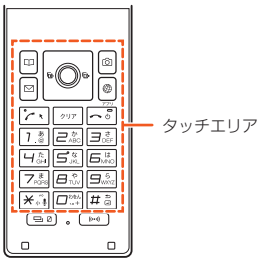
1 タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを起動

タッチクルーザーEXが有効になり「↖」(ポインタ)が表示されます。

- [ ]を長押しするごとにタッチクルーザーEXの有効／無効を切り替えられます。
- タッチクルーザーEXの操作説明画面が表示された場合は、●(OK)と操作してください。「今後表示しない」にチェックマークを入れて●(OK)と操作すると、次回以降の起動時に操作説明画面を表示しないようにできます。
- タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを終了するとタッチクルーザーEXは無効になります。
- タッチクルーザーEXが有効の場合でも、キー操作は可能です(一部のアプリを除く)。

タッチクルーザーEXの操作について

ブラウザやLINEなどを操作するときに画面上のポインタをマウスのように操作できます。



■ タップ／ダブルタップ

タッチエリアに軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

- ポインタが重なっている項目やアイコンを選択します。静止画表示中などにダブルタップすると、画面を拡大／縮小します。拡大／縮小の操作は画面に表示されているポインタを起点に行われます。あらかじめ拡大／縮小したい位置にポインタを移動してから操作してください。

■ ロングタッチ

タッチエリアに軽く触れて、指を離さない状態を保ちます。「↖」の表示が「✥」に変わります。タッチエリアをタップするか、指を離して数秒間操作をしないと「↖」に戻ります。

- メニューの表示などを行います。

■ スライド

タッチエリアをロングタッチして「↖」を「✥」にします。
タッチエリアに指を軽く触れたまま、目的の方向や位置へなぞります。

- 目的の方向へなぞって画面のスクロールやページの切り替えを行います。

■ フリック

タッチエリアをロングタッチして「↖」を「✥」にします。
タッチエリア上で指をすばやく上下左右にはらうように操作します。

- 目的の方向へはらって画面のすばやいスクロールやページの切り替えなどを行います。

■ ピンチ

2本の指でタッチエリアに触れたまま指を開いたり(ピンチアウト)、閉じたり(ピンチイン)します。

- ブラウザなどで画面を拡大／縮小します。
  拡大／縮小の操作は画面に表示されているポインタを起点に行われます。あらかじめ拡大／縮小したい位置にポインタを移動してから操作してください。

◎ タッチエリアは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
◎ 次の場合はタッチエリアに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- シールなどを貼っての操作
- 水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作

待受画面を利用する

待受画面では、本製品の状態を確認できます。

■ 待受画面の見かた

《待受画面》

① **ステータスバー**
② **検索**
③ **カレンダー**
④ **通知アイコン**
不在着信通知や未読のEメール／SMS、お知らせ通知が表示されます。
⑤ **かんたん発信アイコン**
表示中は「かんたん発信(音声認識)」で電話をかけることができます。
(▶P.37)
⑥ **時計**

待受画面のショートカットを利用する

待受画面に表示されたカレンダー、通知アイコンをショートカットとして利用できます。

1 待受画面で↕→項目を選択→●

- 通知アイコンを選択すると通知内容が吹き出しで表示されます。

ステータスバーを利用する

アイコンについて

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主なお知らせアイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり
	アラーム鳴動中、スヌーズ中
	カレンダーの予定通知あり
	ワンセグの電波の強さ ～：レベル表示
	音楽再生中
	発信中、通話中、着信中
	応答保留中
	伝言メモあり
	本体メモリの空き容量低下
	USBテザリング利用中
	Wi-Fi®テザリング利用中
	Bluetooth®ファイル受信リクエストあり
	データのアップロード／ダウンロード、送受信など ：データのアップロード・送信時 ：データのダウンロード・受信時
	ソフトウェア更新情報あり
	まとめられたアイコンあり
	タッチクルーザーEX起動中

◎ アイコンによっては件数が重なって表示されます。

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
12:34	時刻
	アラーム設定あり
～	電池レベル状態 ～：残量表示　：残量なし • 充電中は電池マークに が重なって表示されます。
	機内モード設定中
～	電波の強さ（受信電界） ～：レベル表示　：圏外 • ネットワークを示すアイコンが左上に表示されます。 ：4G（LTE）使用可能　：3G使用可能 ：ローミング中 • 通信中は が重なって表示されます。
あ AB 12 カナ A 1 力 区	文字種 あ：漢字入力　AB：半角英字入力　12：半角数字入力 カナ：半角カタカナ入力　A：全角英字入力　1：全角数字入力 力：全角カタカナ入力　区：区点コード入力
	マナーモード状態 ：通常マナー　：ドライブマナー　：サイレントマナー
	ハンズフリーで通話中
	着信音量を「サイレント」に設定中
	通話中のマイクを「消音」に設定中
～	Wi-Fi®の電波の強さ ～：レベル表示 • 通信中は が重なって表示されます。
	Bluetooth®利用中 ：待機中　：接続中
	伝言メモ設定中 ：伝言メモなし　：伝言メモあり（1～9件） ：伝言メモがいっぱい（10件）
	位置情報を高頻度で測位中
	おサイフケータイ®機能をロック中

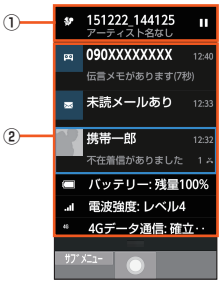
お知らせ／ステータスパネルを利用する

お知らせ／ステータスパネルでは、お知らせアイコンやステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。
また、マナーモードを設定している場合は、モードの変更や伝言メモの確認ができます。

1 待受画面で↕→ステータスバーを選択→●

2 お知らせを選択→●
お知らせ内容に対応するアプリケーションが起動されます。

■ お知らせ／ステータスパネルの見かた



《お知らせ／ステータスパネル》

① **ミュージックコントローラ**
LISMOで音楽再生時に表示されます。停止操作のみ行えます。

② **お知らせエリア**
本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。

■ お知らせを操作する

1 お知らせ／ステータスパネル画面で操作したいお知らせを選択→(操作)
お知らせの内容にあった操作項目が表示されます。

2 操作項目を選択→●
お知らせに対応したアプリケーションを起動したりできます。

■ お知らせを1件削除する

1 お知らせ／ステータスパネル画面で削除したいお知らせを選択→(サブメニュー)→[通知1件消去]→●

■ お知らせを全件削除する

1 お知らせ／ステータスパネル画面で(サブメニュー)→[通知全件消去]→●
• 通知によっては削除できない場合もあります。

サブディスプレイを利用する

サブディスプレイは、マナーモードや電池残量などの端末の状態、日付・時間、着信相手などの情報を表示してお知らせします。
▲／▼／[シャッター/マナー]を押すと表示の切り替えができます。

■ サブディスプレイの見かた

▲／▼／[シャッター/マナー]

《時計表示画面》　《アイコン+時計画面》　《アイコン+時計+月日曜日画面》

■ 主なアイコン

アイコン	概要
	電波の強さ（受信電界） 強／中／弱／微弱／圏外 ※ 機内モード設定時には表示されません。
～	電池レベル表示 ～：残量表示　：残量なし • 充電中は電池マークに が重なって表示されます。
	不在着信 • 着信件数が表示されます。
	：新着メール（Eメール／SMS） • 新着件数が表示されます。 ：緊急地震速報
	マナーモード状態 ：通常マナー　：ドライブマナー ：サイレントマナー
	伝言メモ設定中 • 未確認の伝言メモ件数が表示されます。
	画面ロック設定中
	アラーム鳴動中
	機内モード設定中

■ 各種情報表示

状態		表示
音声着信中	着信相手を表示する（電話帳登録あり）	登録名
	着信相手を表示する（電話帳登録なし）	電話番号
	着信相手を表示しない	「着信中」
	伝言メモ	応答中：「伝言メモガイダンス中」 録音中：「伝言メモ録音中」
通話中	通話中	「通話中」
	音声メモ	「音声メモ録音中」
	音量変更	音量変更画面
応答保留中		「応答保留中」
メール受信中	着信相手を表示する（電話帳登録あり）	登録名
	着信相手を表示する（電話帳登録なし）	メールアドレス
	着信相手を表示しない	「メール受信」
SMS受信中	着信相手を表示する（電話帳登録あり）	登録名
	着信相手を表示する（電話帳登録なし）	電話番号
	着信相手を表示しない	「メッセージ受信」
アラーム	アラーム鳴動時	アラーム時刻、アラーム名
	スヌーズ作動中	「スヌーズ中」
緊急速報		「緊急速報」
マナーモード	設定時：通常マナー	「通常マナーを設定しました」
	設定時：ドライブマナー	「ドライブマナーを設定しました」
	設定時：サイレントマナー	「サイレントマナーを設定しました」
	解除時：通常マナー	「通常マナーを解除しました」
	解除時：ドライブマナー	「ドライブマナーを解除しました」
	解除時：サイレントマナー	「サイレントマナーを解除しました」
ミュージック再生中	音量変更	音量変更画面
LINEアプリ通知中		LINEアプリから通知されるメッセージが表示されます。

メインメニューを利用する

メインメニューでは、アプリケーションがメニューごとに表示されます。メニューを選択してから項目を選択すると、アプリケーションを起動できます。

1 待受画面で●
メインメニューが表示されます。

2 メニューを選択→●
メニューはダイヤルキー（[0]～[9]、[*]、[#]）に対応しており、各キーを押してメニューを選択することもできます。

3 アプリケーションを選択→●

■ メインメニューの見かた

《メインメニュー》

■ メインメニュー一覧

メニュー		概要
auスマートパス		月額372円（税抜）でアプリが取り放題。その他にもお得なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、本製品を安心・快適に楽しめるサービスです。（▶P.72）
ブラウザ		パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。（▶P.58）
au WALLET		au WALLETカードをより便利に使いこなすためのアプリです。カードへのチャージの他、カード残高・ポイント残高・特典の確認などを、携帯電話に最適化した画面でご利用いただけます。
カメラ		静止画／動画を撮影できます。（▶P.60）
データフォルダ		撮影した静止画／動画、ダウンロードしたファイルなどを確認できます。
LINE		LINEはいつでも、どこでも、好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。（▶P.78）
アプリ※		
	au ID 設定	au IDを設定します。
	auナビウォーク	
	LISMO	
	au Wi-Fi接続ツール	
	GLOBAL PASSPORT	
	au災害対策	
	安心アクセス for 4G LTE ケータイ	
	au バックアップアプリ	
	OfficeSuite	パソコンなどで作成されたMicrosoft Word／Excel／PowerPointやPDFのファイルを表示することに対応したアプリケーションです。対象ファイルを閲覧したいときに、手軽に利用することができます。

メニュー		概要
ツール		
	アラーム	アラームを利用できます。(▶P.76)
	タイマー	タイマーを利用できます。(▶P.76)
	カレンダー	カレンダーを利用できます。(▶P.75)
	メモ帳	メモ帳を利用できます。(▶P.75)
	電卓	電卓を利用できます。(▶P.76)
	PASSNOW	対応するタブレット等とペア設定をすることで、本製品で撮影した写真や動画をタブレットで楽しんだり、本製品に届いた通知をタブレットで確認することができます。(▶P.77)
	TV(ワンセグ)	モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを見ることができます。(▶P.66)
	赤外線	本製品と赤外線通信機能を持つ相手側の機器との間でデータを送受信できます。(▶P.92)
	ウィジェットシート	ウィジェットを貼り付けて利用できます。
	おサイフケータイ	おサイフケータイ®対応サービスを利用できます。(▶P.94)
	グローバル機能	海外でご利用の際、渡航先に応じて、適用される利用料金、ご利用設定方法、電話のかけ方などをチェックできるアプリです。
	au Wi-Fi接続ツール	ご自宅にてHOME SPOT CUBEなどの無線LAN(Wi-Fi®)親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。(▶P.71)
	ストップウォッチ	ストップウォッチを利用できます。(▶P.76)
	世界時計	世界時計を利用できます。(▶P.76)
	タッチクルーザーEX操作ガイド	タッチクルーザーEXの操作方法を表示します。(▶P.26)
サービス		
	LISMO	音楽を再生したり、最新の音楽情報を調べたりできます。また、楽曲の試聴・購入も可能なアプリです。(▶P.78)
	auナビウォーク	乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。
	安心アクセス	お子さまが携帯電話を安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。(▶P.71)
	au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービスを利用できます。(▶P.70)
	auバックアップアプリ	お客様のau端末に保存しているさまざまなデータをmicroSDメモリカードにバックアップ／復元できるアプリです。 自動バックアップ機能では、お客様が設定した曜日、時間にバックアップを自動実行します。
	メーカーサービス(SHSHOW)	コンテンツのダウンロードや閲覧などができます。(▶P.70)
電話・メール		
	着信／発信履歴	着信や発信の履歴画面を閲覧できます。(▶P.37)
	電話帳	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。(▶P.41)
	通話設定	通話に関する設定をします。(▶P.39)
	スピードダイヤル	スピードダイヤルの一覧を表示します。(▶P.37)
	メール	Eメール(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができます。また電話番号を宛先としてSMSの送受信ができます。(▶P.45)
プロフィール		プロフィールの確認や編集ができます。(▶P.38)
設定		設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.79)

※追加でダウンロードしたアプリは「ダウンロード」(▶P.29)に表示されます。

◎ アプリケーションを起動してそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
◎ アプリケーションのバージョンアップなどによって、本製品に搭載されるアプリケーションやアイコンなどのデザインが本書の記載と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

アプリについて

「アプリ」では本製品をお買い上げ時にインストール済みのアプリと追加でダウンロードしたアプリケーションを使用できます。

1 待受画面で●→[アプリ]
アプリ一覧画面が表示されます。

■ タブを切り替える

1 アプリ一覧画面で◁▷
「プリセット」／「ダウンロード」タブが切り替わります。

■ アプリを検索する

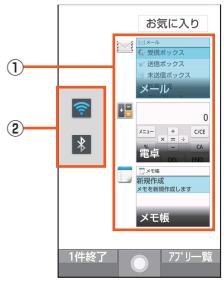
1 アプリ一覧画面で[画像](アプリ検索)
auスマートパスのサイトが表示されますので、画面に従ってアプリを検索、ダウンロードしてください。

起動中アプリ一覧画面を利用する

よく使う機能やアプリケーションをお気に入りに登録してすばやく起動できます。また、複数のアプリケーションを同時に起動して、切り替えながら操作できます。

1 起動中アプリ一覧画面が表示されます。

■ 起動中アプリ一覧画面の見かた



《起動中アプリ一覧画面》

① 起動中のアプリ
② Wi-Fi®／Bluetooth®アイコン
:Wi-Fi®がON
:Wi-Fi®がOFF
:Bluetooth®がON
:Bluetooth®がOFF

◎ 複数のアプリケーションを起動している場合、実行用メモリを効率的に使用するため、バックグラウンドのアプリケーションを自動的に終了する場合があります。
◎ バックグラウンドのアプリケーションによっては、連続待受時間が短くなったり、動作が遅くなったりする場合があります。
◎ 📷(アプリ一覧)を押すと、アプリ一覧が表示されます。

■ 起動中のアプリケーションを切り替える

1 起動中アプリ一覧画面で切り替えるアプリケーションを選択→●

・「お気に入り」を選択するとお気に入りに登録したアプリケーションを起動できます。(▶P.30)

■ 起動中のアプリケーションを終了する

1 起動中アプリ一覧画面で終了するアプリケーションを選択→📷(1件終了)

■ Wi-Fi®／Bluetooth®機能のON／OFFを切り替える

1 起動中アプリ画面でWi-Fi®／Bluetooh®アイコンを選択→●

●を押すたびにON／OFFが切り替わります。

機能やアプリケーションを起動する

よく使う機能やアプリケーションを起動中アプリ一覧画面のお気に入りに登録して起動できます。

■ よく使う機能やアプリケーションをお気に入りに登録する

1 起動中アプリ一覧画面で[お気に入り]
お気に入り一覧画面が表示されます。

2 「未登録」を選択→📷(サブメニュー)→[登録]

3 登録する機能やアプリケーションを選択→●

■ お気に入りから解除する

1 起動中アプリ一覧画面で[お気に入り]

2 解除したいお気に入りを選択→📷(サブメニュー)→[解除]

■ お気に入りから機能やアプリケーションを起動する

1 起動中アプリ一覧画面で[お気に入り]

2 お気に入り一覧に登録した機能やアプリケーションを選択→●

共通の操作を覚える

基本的なキー操作を覚えよう

■ 画面の最下行に表示された内容を実行するには

画面の最下行に表示された内容を実行するには、対応するキーを押します。

①「完了」は、●を押します。
②「サブメニュー」は、📷を押します。
③「あA1」は、✉を押します。
④「絵・記・顔」は、📷を押します。
⑤「範囲選択」は、◎を押します。

■ 項目を選択するには

表示された項目を選択するには、↕や⚽で項目を選択して●を押します。
メニューに0～9、＊、＃などが表示されている場合は、対応するダイヤルキーを押しても選択できます。
・◔を押しても、項目を選択できる場合があります。

■ 1つ前の画面に戻るには

クリアを押すと、1つ前の画面に戻ることができます。
・↩／📷／✉を押しても、戻ることができる場合があります。

■ 待受画面に戻るには

各機能から待受画面に戻るには、⏻を押します。
・一定時間キー操作をしないと、自動的に待受画面に戻る場合があります。
・通話中に各機能を呼び出している場合は、通話が切れることがあります。
・操作中の機能やアプリケーションが終了します。

■ 数字を入力するには

0～9を押すと、数字を入力できます。
数字を入力する欄の上下に「▲」と「▼」が表示されている場合は、↕を押すことで、数を増減できます。

■ 前後のデータへ移動するには

メール表示中などに、◎を押すと次のデータへ、✉を押すと前のデータへ移動できます。

■ ページスクロールするには

Webページのブラウジング中や、メール一覧画面、メール内容表示画面、データ一覧画面(リスト表示)などでは、✉を押すと上に、◎を押すと下にページスクロールできます。

チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、項目またはチェックボックスを選択することで設定の有効／無効を切り替えることができます。また、データの「選択移動」「選択保存」「選択削除」などをする際は、チェックボックスを選択することで項目の選択／選択解除を切り替えることができます。

アイコン例	説明
☑	設定が有効／項目が選択されている状態です。
☐	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

文字入力

文字入力の方法を覚える **32**
文字入力の方法 33
文字入力のサブメニューを利用する 34
文字入力について設定する 34

文字入力の方法を覚える

■ 文字入力時の各キーの割り当て一覧

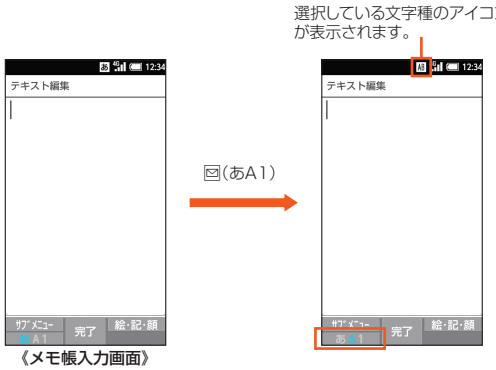
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	.@/_ー:～1	1
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	アイウエオァィゥェォ	.@/_-:~1	1
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
2	かきくけこ	a b c A B C 2	2
	カキクケコ	abcABC2※	2
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
3	さしすせそ	d e f D E F 3	3
	サシスセソ	defDEF3※	3
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
4	たちつてとっ	g h i G H I 4	4
	タチツテトッ	ghiGHI4※	4
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
5	なにぬねの	j k l J K L 5	5
	ナニヌネノ	jklJKL5※	5
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
6	はひふへほ	m n o M N O 6	6
	ハヒフヘホ	mnoMNO6※	6
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
7	まみむめも	p q r s P Q R S 7	7
	マミムメモ	pqrsPQRS7※	7
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
8	やゆよゃゅょ	t u v T U V 8	8
	ヤユヨャュョ	tuvTUV8※	8
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
9	らりるれろ	w x y z W X Y Z 9	9
	ラリルレロ	wxyzWXYZ9※	9
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
0	わをんゎー～、。？！・空白(ｽﾍﾟｰｽ)	0ー 空白(ｽﾍﾟｰｽ)	0
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	全角 ワヲンヮー～ / 半角 ﾜﾖﾝ-	0- 空白(ｽﾍﾟｰｽ)!"#$%&'()*+,./:;<=>?@[¥]^_`{|}~	0

※行頭に入力する場合は大文字が先に表示されます。

文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
＊	短押し....小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) ゛(濁点)や゜(半濁点)を付加(可能な文字のみ) 、。？！・空白(ｽﾍﾟｰｽ)		短押し....小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) 全角 ．，？！’ー＆()¥空白(ｽﾍﾟｰｽ) 半角 .,?!'-&()¥空白(ｽﾍﾟｰｽ)	短押し....(小数点)	＊
	長押し....直近でコピー/切り取りした文字列を貼り付け				
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
#	文字入力時は、1つ前の文字を表示(バック機能) 文字入力中ではない場合は、改行			改行	#
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
口	サブメニューから機能引用、定型文などの呼び出し 全角/半角記号一覧の切り替え 顔文字編集画面を表示(顔文字一覧画面で履歴以外のカテゴリを表示中の場合のみ) 通常変換時、文節範囲縮小(文字種が「漢字」で文字入力中の場合のみ) 範囲選択のキャンセル				−
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
絵	絵文字→D絵文字→全角記号(半角記号)→顔文字の一覧を表示 (D絵文字はEメール本文入力時のみ) 予測変換候補と通常変換候補の切り替え(予測変換を「ON」に設定時、文字種が「漢字」で文字入力中の場合のみ) 通常変換時、文節範囲拡大(文字種が「漢字」で文字入力中の場合のみ) 選択範囲の全選択(範囲選択中の場合のみ)				−
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
✉	文字種の切り替え カナ英数変換(文字種が「漢字」で文字入力中の場合のみ) 文字種を「漢字」に変更(文字種が「漢字」「英字(半角)」「数字(半角)」以外の場合のみ) ページ/カテゴリの切り替え(絵文字/記号/顔文字/変換候補選択中の場合のみ)				−
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
📷	範囲選択を開始 ページ/カテゴリの切り替え(絵文字/記号/顔文字/変換候補選択中の場合のみ)				−
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
↶	文字を確定直前の状態に戻す 削除した文字の復帰(連続5回分まで) 学習した変換候補を削除/ブラウザで変換候補を検索/他のアプリで変換候補を検索して引用(文字種が「漢字」および「英字(大/小,半角)」で変換候補選択中の場合のみ)				−
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
◁	カーソルの左移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲縮小 ＊＊(ワイルドカード)入力の「＊」を1文字削除				−
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
▷	カーソルの右移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲拡大 未確定文字入力中に＊＊(ワイルドカード)入力の「＊」を1文字入力(文字種が「漢字」および「英字(大/小,半角)」で予測変換を「ON」に設定している場合のみ) カーソルが文末にある場合は、半角の空白(スペース)を入力				−
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
△	カーソルの上移動 変換候補の選択				−
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
▽	カーソルの下移動 変換候補の選択 カーソルが文末にある場合は、改行				−
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
クリア	短押し.....カーソル右側の文字を1文字削除 カーソル右側に文字がない場合は、カーソル左側の文字を1文字削除 変換の中止(文字入力画面に戻る)				短押し....1桁削除
	長押し.....カーソル右側の文字をすべて削除 カーソルが文頭または文末にある場合は、文字をすべて削除				長押し....すべて削除

◎ 文字入力時は待受画面で◉→[設定]→[その他]→[文字入力]→[キーボードと入力方法]で「SH文字入力」が選択されていることをご確認ください。Androidキーボード(AOSP)は日本語入力に対応しておらず、文字が入力できないことがあります。

文字入力の方法



《メモ帳入力画面》

◎ 選択できる文字種は、入力画面によって異なります。
◎「自動カーソル移動」(▶P.34)を「OFF」に設定している場合、「あい」などのように同じキーで続けて文字を入力するには、最初の文字を入力し、○でカーソルを移動してから次の文字を入力します。
◎ 他機種やパソコンから、Eメールや赤外線通信、ケーブル接続で受信したテキストデータの場合、本製品にない文字(一部の漢字など)があると、その箇所が空白(スペース)など別の文字に置き換えられます。

ひらがな／漢字／カタカナ／英数字の入力

■ カタカナ／英数字の入力について

ひらがなを入力して(カナ英数)を押すと、入力時に押したダイヤルキーに対応したカタカナ／英字／数字／記号および予測される日付や時間の変換候補一覧が表示されます。文字種が「漢字」のまま英数字・カタカナや月日、時間などを入力するときに便利です。
例:「かきく」を入力して(カナ英数)を押すと、「ABC」などの変換候補が表示されます。

■ 変換機能について

「予測変換」(▶P.34)を「ON」に設定している場合は、ひらがな／半角英字の入力時に予測変換候補が表示されます。変換候補選択中に(変換／予測)を押して予測変換候補と通常変換候補の一覧を切り替えることができます。「予測変換」を「OFF」に設定している場合は、ひらがなの入力時に(変換)を押すと通常変換候補が表示されます。
クリア:確定する前に押すと、変換を解除します。

文字の修正

■ バック機能について

文字入力時にキーを押しすぎて入力したい文字を行きすぎた場合でも、を押すと前の文字に戻すことができます。
例:「き」を入力したかったのに「く」になってしまったとき、を押すと、「き」に戻ります。

■ 戻す機能について

を押すと、直前の確定を解除できます。
文字を削除した後では、直前に削除した文字を5回分元に戻すことができます。

予測変換機能

「予測変換」(▶P.34)を「ON」に設定すると、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節が変換候補として挙げられます。(半角英字入力時にも同様に変換できます。)また、入力中の文章の流れによって変換候補を予測し、優先して予測変換候補に表示する「AI予測」や、連続して入力した言葉を組み合わせ1つの複合語として学習し、次から予測変換候補に表示する「複合語予測学習機能」に対応しています。
例:「か」と入力するだけで、「彼」などの予測変換の候補が表示され、○を押すと選択できます。(予測変換)
例:「冬は」と入力したあとに「さ」と入力すると、「寒い」などの予測変換の候補が優先して表示されます。(AI予測)
例:「パーソナル」と「コンピュータ」を続けて入力すると、次に「ぱーそなる」と入力したとき、予測変換候補に「パーソナルコンピュータ」と表示されます。(複合語予測学習機能)

◎ 表示される予測変換の候補は、過去に変換・確定を行った状況によって、異なります。
◎ 予測変換利用時に、入力したい文字が予測変換の候補にない場合は、(変換)を押して通常変換に切り替えてください。
◎ 変換候補を選択中にを押すと、選択した変換候補をブラウザで検索したり、他のアプリで変換候補を検索して結果を引用したり、学習した変換候補を削除できます。
◎ ユーザー辞書やダウンロード辞書を登録すると、予測変換／通常変換の候補として表示されるようになります。
◎「Eメール返信時学習」を有効にしていると、Eメール引用返信時やEメール転送時に元メールに含まれていた英字・数字・カナの文字列を学習し、Eメール中で該当する文字列を変換するときに候補を表示します。

＊＊(ワイルドカード)入力

＊＊(ワイルドカード)入力を利用すると、文字入力中に○で文字数を設定して変換できます。
例:「パソコン」と入力したい場合、「ぱ」を入力して○を4回押すと「ぱ＊＊＊」と表示され、予測変換候補リストに「パソコン」が表示されます。
・「ワイルドカード予測」を「ON」に設定している場合に操作できます。

区点コードでの入力

JIS区点コードを利用して、文字や記号の入力ができます。
文字種選択画面(一覧)で「区点」を選択して、4桁の数字の入力により文字入力します。

◎ 区点コード表については、次のauホームページに掲載しております『取扱説明書 詳細版』(PDFファイル)の巻末をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

絵文字／デコレーション絵文字／記号／顔文字の入力

絵文字／デコレーション絵文字／記号／顔文字一覧を表示して文字入力画面に入力します。
一覧の表示方法は文字入力画面に変換対象がない場合に(絵・記・顔)を押します。
を押すたびに、絵文字→D絵文字→記号(全角／半角)→顔文字の順に切り替わります。

◎ 異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、絵文字が正しく表示されないことがあります。
◎ 絵文字／デコレーション絵文字／顔文字の一覧を表示中に／を押すとカテゴリを切り替えます。記号一覧画面では回で全角／半角を切り替えます。
◎「顔文字(履歴)」以外の一覧で顔文字を選択して(編集)を押すと、顔文字を編集できます。
◎ デコレーション絵文字はEメール作成時のみ表示されます。

文字入力のサブメニューを利用する

サブメニューから文字のコピー／貼り付けや入力設定の変更ができます。

文字をコピー／切り取りしてから貼り付ける

1 文字入力画面で[サブメニュー]→[範囲選択(コピー他)]

2 ◇で開始位置にカーソルを移動→●(開始)→◇で範囲を指定→●(実行)

3 [コピー]／[切り取り]

4 ◇で貼り付ける位置へカーソルを移動→[サブメニュー]→[貼り付け]

貼り付けデータが表示されます。

◎「範囲選択(コピー他)」は、文字入力画面で[画](範囲選択)を押しても利用できます。
◎ コピー／切り取りした文は最大10件までコピー履歴に記憶されます。10件を超えた場合は、最も古い文から削除されます。
◎ コピー履歴を利用して貼り付けられる文字数は、全角／半角1,024文字までです。
◎ [×]を長押しすると、直近でコピー／切り取りした文字列を貼り付けることができます。
◎ 文字入力画面で[サブメニュー]→[コピー履歴]→[サブメニュー]→[1件削除]／[全削除]と操作すると、貼り付けデータを削除できます。

その他の文字入力サブメニュー

1 文字入力画面で[サブメニュー]

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

装飾	文字を装飾します。(▶P.47)
範囲選択(コピー他)	文字列を選択後、以下の操作を行います。 「装飾」:文字を装飾します。(▶P.47) 「コピー」:選択した文字列をコピーします。 「切り取り」:選択した文字列を切り取ります。 「貼り付け」:コピー／切り取りした文字列を貼り付けます。 「ユーザー辞書登録」:文字入力画面から文字列を選択して、ユーザー辞書に登録します。 「引用・連携」:選択した文字列を、別のアプリケーションで使用します。
貼り付け	コピーした文字列を貼り付けます。
コピー履歴	コピーした文字列の履歴を選択して貼り付けます。履歴を削除することもできます。
文字種変更	文字種を切り替えます。 • 切り替えたい文字種を◇で選択して●を押します。
定型文	定型文を入力します。 • 定型文の言語を選択して、用意された定型文を選択できます。
ユーザー辞書登録(日)／ユーザー辞書登録(英)	単語をユーザー辞書に登録します。 • 文字入力画面に入力した文字列を選択して、単語を登録することもできます。「ユーザー辞書に登録する」(▶P.34)をご参照ください。
引用・連携	**コピー履歴** コピーした内容の履歴を入力します。 **バーコードリーダー** バーコードリーダーで読み取った内容を入力します。 **プロフィール** プロフィールの登録内容を入力します。 **メモ帳** メモ帳に登録されている内容を入力します。 **位置情報** 現在地の位置情報を取得します。 **定型文入力** 定型文を入力します。 **電話帳** 電話帳の登録内容を入力します。 **Google検索** Googleで検索します。
入力設定	▶P.34「文字入力について設定する」

文字入力について設定する

1 文字入力画面で[サブメニュー]→[入力設定]

2

入力補助・変換	**予測変換** 文字入力時に予測変換機能を利用するかどうかを設定します。 **つながり予測** 入力確定直後につながり予測候補を表示します。 **ワイルドカード予測** 未確定文字数から予測変換候補を推測します。 **自動カーソル移動** 文字の入力方式が「かな方式」の場合、一定時間キー操作を行わないときにカーソルが1つ右に移動する速さを設定します。 • カーソル移動後でも、゛(濁点)／゜(半濁点)の付加など、[×]や[#]の操作を行うことができます。 **メールいきなり予測** メールの本文入力でよく文頭に使用する言葉を候補として表します。 **外部変換エンジン** 外部の変換エンジンを利用して変換候補を表示します。 **自動大文字変換** 半角英字入力で文頭文字を大文字にします。 **自動スペース入力** 半角英字入力で英単語選択した後に、半角スペースを自動挿入します。
辞書	**ユーザー辞書** ▶P.34「ユーザー辞書に登録する」 **ダウンロード辞書** サイトからダウンロードした辞書を、通常変換や予測変換に利用できるように設定します。 **地域おすすめ辞書** 選択した地域の詳しい地名・駅名・施設名などを変換候補として利用できます。 **電話帳名前データと連携** 電話帳に登録されている名前を学習辞書に登録したり、電話帳から登録した名前を辞書から削除したりできます。 **Eメール返信時学習** Eメールの返信時に受信メールの内容を一時的に学習します。
各種リセット	**設定リセット** SH文字入力の設定をリセットします。 **学習辞書リセット** 学習辞書の内容をリセットします。 **顔文字リセット** 顔文字リストの内容をリセットします。

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの表記と読みを、日本語と英語でそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 文字入力画面で[サブメニュー]→[入力設定]→[辞書]→[ユーザー辞書]

ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。
◇で日本語用／英語用ユーザー辞書を切り替えることができます。

2 [サブメニュー]→[新規登録]

3 読み／単語を入力→[登録]

■ ユーザー辞書単語一覧画面のサブメニューを利用する

1 ユーザー辞書単語一覧画面で[サブメニュー]

2

新規登録	単語をユーザー辞書に登録します。
編集	選択している単語を編集します。
一件削除	選択している単語を削除します。
全件削除	登録した単語をすべて削除します。

電話

電話をかける……36
電話を受ける……38
自分の電話番号を確認する……38
通話に関する設定をする……39

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

ダイヤル画面が表示され電話番号が入力されます。

- 待受画面で[ ]を押すと電話番号未入力状態のダイヤル画面を表示できます。

:カーソルの位置を移動
[クリア]:カーソルの左側の数字を削除
[クリア](長押し):すべての数字を削除
[電話帳](電話帳):電話帳を表示(▶P.42)
[ ]:前回発信した番号に再度発信(リダイヤル)※
※電話番号未入力時のみ利用できます。

2 [ ]→通話

●(スピーカー/OFF):ハンズフリー通話ON/OFF
[電話帳](ミュート/ミュート解除):ミュートON/OFF
[メール](電話帳):電話帳を表示(▶P.42)
プロフィール:プロフィールを表示(▶P.38)
/ /:通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節

3 [ ]

「電話帳に登録」を選択すると、発信した電話番号を電話帳に登録できます。

- 本製品を閉じても通話を終了できます。

◎「電卓」/「タイマー」/「スケジュール」(カレンダー)/「アラーム」などの機能でダイヤル画面で入力した数字を引用することもできます。数字入力後に画面の表示に従って操作してください。利用できる機能は入力した数字により異なります。
◎「通話中」と表示されている場合でも、相手の方が電話を受けていないことがあります。相手の方が受けていることを確認してからお話しください。
◎「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
◎ 送話口をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
◎「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号(110、119、118)、お客さまセンター(157)へは電話をかけることができます。
◎ 通話中にダイヤルキーを押すと、入力した番号のプッシュ信号を送信できます。
◎ 通話中に他のアプリケーションを起動したとき、通話中画面に戻りたい場合は[クリア]を押して起動中のアプリを終了してください。

■緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

◎ 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎ 日本国内の緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

■P(ポーズ)ダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中に「はい」を選択すると、プッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例:「03-0001-XXXX(銀行の電話番号)」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

1 銀行の電話番号「030001XXXX」を入力

2 ●(発信等)→[特番付加]→[P付加]→店番号「22X」を入力

3 ●(発信等)→[特番付加]→[P付加]→口座番号「123XX」を入力

P(ポーズ)を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

4 [ ]→[はい]→[はい]

発信すると、確認画面が表示されます。送信先が電話を受けていることを確認してから「はい」を選択してください。「はい」を選択して●を押すごとにプッシュ信号を送信します。

発信メニューを利用する

1 電話番号を入力→●(発信等)

2

発信	音声電話をかけます。
特番付加	電話番号に特番を付加します。
SMS作成	▶P.48「SMSを送る」

◎ 0~99の番号を入力して●(発信等)を押した場合は登録済みのスピードダイヤルへの発信やスピードダイヤルへの登録ができます。(▶P.37)

ダイヤル画面のサブメニューを利用する

1 ダイヤル画面で[メニュー](サブメニュー)

2

電話帳に登録	入力した電話番号を電話帳に登録できます。
履歴参照	発信履歴/着信履歴を表示できます。
au お客様センター	au お客さまセンター(157)に発信します。 ・「機内モード」が「ON」の場合は、「OFF」にして発信します。
SMS作成	▶P.48「SMSを送る」
特番付加	電話番号に特番を付加します。
音声発信制限設定	電話の発信を制限するかどうかを設定します。 ・音声発信制限中でも、緊急通報番号や157(お客さまセンター)への発信は可能です。緊急通報番号へはローミング中でも発信が可能です。
設定	通話に関する設定をします。 ・詳しくは、「通話の設定をする」(▶P.39)をご参照ください。

通話中画面のサブメニューを利用する

1 通話中画面で[メニュー](サブメニュー)

2

音声メモ	通話中の相手の方の音声と自分の音声を録音します。 ・録音できるのは、1件あたり約60秒間で、10件までです。10件を超えると古いものから順に削除されますが、すべて保護されている場合は録音できません。
Bluetooth ON/Bluetooth OFF	別売のBluetooth®ヘッドセットと接続/解除します。 ・ヘッドセットと接続状態のときに設定できます。ヘッドセットとの接続について詳しくは、「Bluetooth®機器と接続する」(▶P.93)をご参照ください。
履歴参照	発信履歴/着信履歴一覧画面を表示します。
通話を追加	通話の追加ができます。

履歴を利用して電話をかける

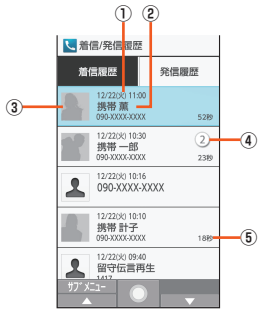
1 待受画面で▷(発信履歴)／◁(着信履歴)
▷◁を押すと、発信履歴／着信履歴を切り替えられます。

2 履歴から電話をかける相手を選択→●
発信履歴／着信履歴詳細画面が表示されます。
- グループアイコンが表示されている履歴を選択して▣(切替)を押すと、まとめられている発信履歴／着信履歴の情報を表示します。

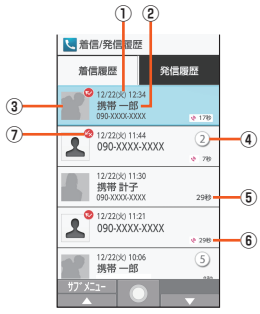
3 ☎
発信履歴／着信履歴一覧画面で電話をかける相手を選択して☎を押しても発信できます。

◎ 発信履歴／着信履歴はそれぞれ最大100件まで保存され、100件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

■ 発信履歴／着信履歴一覧画面の見かた



《発信履歴一覧画面》



《着信履歴一覧画面》

① **発着信日時**
② **名前／電話番号／非通知着信の理由／ネットワークサービスの内容**
③ **電話帳に登録している顔写真**
④ **発信回数**
同じ相手の発信履歴／着信履歴が連続した場合は着信／発信回数を表示します。
⑤ **通話時間**
⑥ **呼び出し時間**
⑦ **着信状態アイコン**
:不在着信
:不在着信(ワン切り※)
:着信拒否
※約3秒以内に切れた不在着信をワン切りとみなします。お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性がありますのでご注意ください。

■ 発信履歴／着信履歴画面のサブメニューを利用する

1 発信履歴／着信履歴一覧画面または履歴の詳細画面→▣(サブメニュー)

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

メール作成	▶P.46「Eメールを送る」
SMS作成	▶P.48「SMSを送る」
編集して発信	履歴の電話番号を編集して発信します。
特番付加	履歴の電話番号に特番を付加して発信します。
電話帳に登録	電話帳に履歴の電話番号を登録します。
着信拒否登録	着信拒否リストに履歴の電話番号を登録します。
1件削除	選択中の履歴を削除します。
選択削除	履歴を選択して削除します。
全件削除	履歴をすべて削除します。
電話帳	電話帳を表示します。
設定	通話に関する設定をします。 ・詳しくは、「通話の設定をする」(▶P.39)をご参照ください。

スピードダイヤルで電話をかける

スピードダイヤルに登録した連絡先にすばやく電話をかけることができます。

■ スピードダイヤルに登録する

1 待受画面で●→[電話 メール]→[スピードダイヤル]

2 登録したい番号の<未登録>を選択→●(登録)
- 連絡先が登録済みの番号を選択した場合は、発信などの操作ができます。

3 登録する連絡先を選択→●(決定)

■ スピードダイヤルで発信する

1 待受画面でスピードダイヤルの番号(0～99)を入力

2 ☎

◎ 未登録のスピードダイヤル番号を入力して☎を押した場合は、スピードダイヤルの一覧画面が表示されます。スピードダイヤルの一覧から発信したり、新規にスピードダイヤルを登録できます。
◎ スピードダイヤルに登録された連絡先にメールアドレスが登録されている場合は、スピードダイヤルの番号を入力して✉(メール)を押すとメールの作成ができます。

かんたん発信(音声認識)で電話をかける

かんたん発信(音声認識)を利用すると、スピードダイヤルに登録した連絡先にダイヤルキーを操作せずに音声で電話をかけることができます。
- 「かんたん発信(音声認識)」を有効にする必要があります。設定方法については「その他の設定をする」(▶P.82)をご参照ください。
- スピードダイヤルへの登録方法は「スピードダイヤルに登録する」(▶P.37)をご参照ください。

1 本製品を開く／待受画面で✕(長押し)
メインディスプレイに❗が表示されます。
- 「画面のロック」を設定している場合は、ロックの解除後に待受画面で✕(長押し)と操作してください。

2 本製品に向かって電話したい宛先を話す
電話したい連絡先の名前に続けて「電話」や「発信」と話します。
例:○○○さんに電話、△△△さんに発信

3 表示された連絡先を確認→[はい]

◎ 電話帳の連絡先に複数の電話番号を保存している場合や同一の名前を複数登録している場合は正しく動作しないことがあります。

au電話から海外へかける(au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例:本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 国際アクセスコード「010」を入力
ダイヤル画面で0(長押し)と操作すると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

2 アメリカの国番号「1」を入力

3 市外局番「212」を入力
市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります)。

4 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力→☎

◎ 電話番号の入力中に▣(サブメニュー)→[特番付加]→[国際電話]と操作しても国番号を入力できます。
◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話から(局番なしの)**157**番(通話料無料)
一般電話から**0077-7-111**(通話料無料)
受付時間 毎日9:00～20:00

電話を受ける

かかってきた電話に出る

1 着信中に[通話]／●
[サイレント]を押すと、着信音を止めます。

2 通話→[終了]

◎ LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、「モバイルネットワーク設定」の「データ通信」を無効にし、「ネットワークモード」を「国内(CDMA)」に設定してご利用ください。
◎ 電話帳やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度使用していた機能のご利用が可能となります。

応答を保留する

1 着信中に[終了]
保留状態になり、相手の方に保留中であることを音声ガイダンスでお知らせします。

2 ●(応答)
保留が解除されます。

◎ 着信中に[メニュー](サブメニュー)→[応答保留]と操作しても応答を保留できます。
◎ 保留中も、かけてきた相手の方には通話料がかかります。
◎ 保留中に[終了]を押すと、保留されていた電話を終了します。
◎ 一度保留を解除すると、もう一度保留にはできません。
◎ 日本国内でご利用の場合のみ、応答を保留にできます。

着信を拒否する

1 着信中に[消去](着信拒否)
着信音が止まって電話が切れます。相手の方は「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

◎ 着信中に[メニュー](サブメニュー)→[着信拒否]と操作しても着信を拒否できます。

かかってきた電話にSMSを送る

1 着信中に[メニュー](サブメニュー)→[クイック返信]

2 送信するメッセージを選択→●
かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

◎ 送信するメッセージで「カスタム返信を作成...」を選択すると、SMSを作成してメッセージを送ることができます。
◎ 送信するメッセージを、あらかじめ「通話設定」の「クイック返信」で編集できます。
◎ 相手の方の電話番号が通知されない場合はクイック返信できません。また、通信環境によってはクイック返信できない場合があります。
◎ SMSを送信するまでの間は、相手の方には呼出音が流れます。SMSを送信する前に伝言メモが応答する場合があります。

着信中のサブメニューを利用する

1 着信中に[メニュー](サブメニュー)

2

クイック返信	▶P.38「かかってきた電話にSMSを送る」
応答保留	▶P.38「応答を保留する」
伝言メモ	伝言メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。 ・伝言メモ録音中に[サイレント](受話ON／受話OFF)と操作すると、相手の方の音声をON／OFFできます。
着信拒否	▶P.38「着信を拒否する」
着信転送	かかってきた電話に出ずに、転送先の電話番号、またはお留守番サービスへ転送します。 ・転送先の登録方法について詳しくは、「手動で転送する(選択転送)」(▶P.99)をご参照ください。

自分の電話番号を確認する

プロフィールを確認する

1 待受画面で●→[プロフィール]

プロフィールを編集する

1 待受画面で●→[プロフィール]→[サイレント](編集)
プロフィール編集画面が表示されます。

2 必要な項目を入力

3 [サイレント](保存)

◎ プロフィール編集についての注意事項は、電話帳登録と同様です。詳しくは、「電話帳に登録する」(▶P.42)をご参照ください。

通話に関する設定をする

通話の設定をする

1 待受画面で◉→[電話 メール]→[通話設定]

2

通話時間	前回通話・累積の通話時間の目安、前回リセットした日時を表示します。 • 次の操作で表示されている時間をリセットできます。[通話時間]／[通話時間(海外)]→回(サブメニュー)→[リセット]→ロックを解除
クイックサイレント	着信時に本製品を裏返す／閉じた状態でシャッター/マナーを押すことで着信音が消音になり、バイブレータや充電／着信ランプが停止して、着信表示のみになる機能を有効にするかどうかを設定します。
オープン通話	着信時に本製品を開くと電話に応答にするかどうかを設定します。
未登録番号追加	電話帳に未登録の電話番号との通話終了時に、電話帳への登録確認画面を表示するかどうかを設定します。
オートアンサー	**オートアンサー** イヤホン接続中に着信があった場合、自動で応答するかどうかを設定します。 **着信時間** オートアンサーで応答するまでの時間を設定します。
通話中表示設定	**電話帳写真表示** 相手の方が電話帳に登録されている場合、発信中／着信中／通話中に電話帳に登録されている画像を表示するかどうかを設定します。
発信者番号通知	自分の電話番号を相手の方に通知するかどうかを設定します。
エニーキーアンサー	／◉以外のキーを押しても電話に応答するかどうかを設定します。
音声・伝言メモ	**伝言メモリスト** ▶P.39「伝言メモ／音声メモを再生する」 **音声メモリスト** ▶P.39「伝言メモ／音声メモを再生する」 **伝言メモ設定** 電話に出ることができないとき、応答メッセージを流して相手の方の伝言を録音するかどうかを設定します。 • 待受画面でクリア(長押し)と操作しても、伝言メモの設定を変更することができます。 **応答メッセージ設定** 伝言メモで応答したときに流れるメッセージを設定します。 • 項目を選択して回(再生)と操作すると、メッセージを再生します。 **応答時間設定** 伝言メモで応答するまでの時間を設定します。
国際発信設定	国際電話をかける場合に利用する国番号のリストを表示します。 • 国名を選択して編集／削除することができます。
留守番電話	お留守番サービスについて設定します。 • 詳しくは、「お留守番サービスEXについて」(▶P.101)をご参照ください。
転送電話	着信転送サービスについて設定します。 • 詳しくは、「着信転送サービスについて」(▶P.98)をご参照ください。
割込通話設定	割込通話サービスについて設定します。 • 詳しくは、「割込通話サービスについて」(▶P.99)をご参照ください。
着信拒否	着信拒否について設定します。 • 詳しくは、「着信拒否の設定をする」(▶P.39)、「番号通知リクエストサービスについて」(▶P.100)、「迷惑電話撃退サービスについて」(▶P.103)をご参照ください。
クイック返信	着信画面で送信するSMSのメッセージを編集します。 • 編集するメッセージを選択→◉→メッセージを編集→回(確定)と操作すると、メッセージを編集できます。
番号付加設定	**プレフィックス自動付加** 国際電話番号や市外局番、電話会社の選別番号などを登録します。電話をかけるときに登録した番号を付加して発信できます。 **市外局番メモリ** よくかける地域の市外局番を設定します。電話番号を市内局番から入力するだけで、設定した市外局番を自動的に追加して電話をかけることができます。
アカウント	インターネット通話の着信を受けるかどうかを設定します。 • 回(サブメニュー)→[アカウントを追加]と操作すると、インターネット通話で使用するアカウントを作成できます。
インターネット通話使用	インターネット通話の使用方法について設定します。

通話時間について

◎ 表示される通話時間は、自分から発信したときの通話時間になります。

◎ 通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

発信者番号通知について

◎ 電話をかける場合、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力したときは、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。

◎ 「発信者番号通知」を無効に設定しても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

◎ 日本国内で電話をかける場合のみ有効です。また、海外へ電話をかける場合は相手の方に電話番号が表示されないことがあります。

伝言メモについて

◎ 伝言メモとオートアンサーの応答時間を同じ時間に設定した場合は、伝言メモが優先されます。

◎ 録音できるのは、1件あたり約60秒間で、10件までです。10件録音されている場合は、再生済みで保護されていない伝言メモが、古いものから順に削除されます。すべて未再生または保護されている場合、伝言メモで応答しません。

伝言メモ／音声メモを再生する

1 待受画面で◉→[電話 メール]→[通話設定]→[音声・伝言メモ]→[伝言メモリスト]／[音声メモリスト]

伝言メモリスト画面／音声メモリスト画面が表示されます。

• 待受画面でクリアを押しても伝言メモリスト画面を表示できます。

2 再生する伝言メモ／音声メモを選択

伝言メモ／音声メモが再生されます。

◉(停止):再生を停止

回(スピーカー／OFF):スピーカーのON／OFF

:前の伝言メモ／音声メモを再生

:次の伝言メモ／音声メモを再生

伝言メモリスト画面の見かた

《伝言メモリスト画面》

① **伝言メモの再生状態を示すアイコン**

:未再生の伝言メモ(赤色)

:再生済みの伝言メモ(緑色)

保護された伝言メモのアイコンには🔒が付きます。

② **相手の方の名前／電話番号／非通知着信の理由**

③ **伝言メモが録音された日時**

着信拒否の設定をする

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 待受画面で◉→[電話 メール]→[通話設定]→[着信拒否]

2 ロックを解除

3

指定番号	指定した電話番号からの着信を拒否します。 • 回(番号編集)→[新規登録]と操作すると、着信を拒否する番号を登録できます。 • 登録済みの項目を選択→◉→[変更]／[1件削除]／[全件削除]→[はい]と操作すると、登録した内容を変更／削除できます。
非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。
通知不可能	電話番号を通知できない着信を拒否します。
電話帳登録外	電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。
着信履歴保存	拒否した着信を着信履歴に保存するかどうかを設定します。

◎ 割込通話サービスの割込通話は、着信拒否できません。

電話帳

電話帳に登録する 42
グループを設定する 42
電話帳の一覧を利用する 42
電話帳の登録内容を利用する 43

電話帳に登録する

連絡先の電話番号やメールアドレスなどの情報を電話帳に登録できます。連絡先ごとに着信音やバイブレータなどを設定することもできます。

1 待受画面で[メニュー](長押し)
電話帳登録画面が表示されます。

2 必要な項目を設定

3 [保存](保存)

◎ 電話帳一覧画面(▶P.42)で[保存](新規登録)を押しても電話帳を新規登録できます。
◎ 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
◎ 名前に半角英数字が含まれる場合、電話帳では名、姓の順に表示されることがあります。
◎ GPS情報を登録するには、あらかじめ「位置情報」を「ON」に設定する必要があります。
◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信音設定」は動作しません。
◎ 電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

グループを設定する

グループごとに名前、アイコン、着信音や充電／着信ランプなどを設定できます。

1 待受画面で[メニュー]→[メニュー](サブメニュー)→[グループ追加・編集]
グループ追加・編集画面が表示されます。

2 [メニュー](サブメニュー)

3

追加	グループを追加します。
削除	グループを削除します。
並べ替え	グループの表示位置を変更します。 • 移動したいグループを選択→●→↕で移動→●→[保存](確定)と操作すると並び順を変更できます。

◎ グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。
◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、グループの音声着信の設定は動作しません。
◎ 個別の連絡先に「着信音設定」が設定されている場合は、そちらが優先されます。
◎ 1つの連絡先が複数のグループに登録されている場合は、グループ追加・編集画面で上に表示されているグループの設定が優先されます。

■ グループを編集する

1 グループ追加・編集画面でグループを選択→●

2

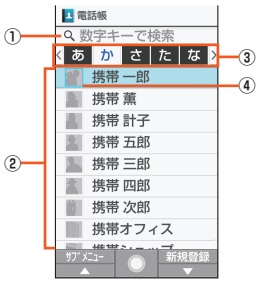
グループ編集	グループの設定内容を変更します。
メンバー登録	グループに連絡先を登録します。
グループ削除	グループを削除します。

電話帳の一覧を利用する

電話帳一覧画面を表示する

1 待受画面で[メニュー]
電話帳一覧画面の表示方法が「グループ」の場合はグループ一覧画面が表示されます。グループを選択すると、選択したグループに登録されている電話帳一覧画面が表示されます。

■ 電話帳一覧画面の見かた



《電話帳一覧画面(名前順)》

① **数字キーで検索**
電話帳一覧画面でダイヤルキーを押すと、よみがなを入力して連絡先を検索できます。[クリア]キーを押してよみがなを削除すると検索を解除します。
② **連絡先**
選択したタブに登録されている連絡先が表示されます。
③ **タブ**
④ **顔写真**
登録している場合は、顔写真が表示されます。

◎ ◆を押してタブを切り替えられます。

電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニューを利用する

1 待受画面で[メニュー]
電話帳一覧画面の表示方法が「グループ」の場合はグループ一覧画面が表示されます。グループを選択すると、選択したグループに登録されている電話帳一覧画面が表示されます。

2 [メニュー](サブメニュー)

3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

プロフィール	プロフィールを表示します。
編集	連絡先を編集します。
送信	連絡先を他の機器に送信します。
1件削除	連絡先を1件削除します。
選択削除	連絡先を複数選択して削除します。
表示方法切替	画面の表示方法を切り替えます。
グループ追加・編集	▶P.42「グループを設定する」
スピードダイヤル登録	連絡先をスピードダイヤルに登録します。
設定・管理	▶P.42「電話帳を設定・管理する」

電話帳を設定・管理する

1 待受画面で[メニュー]→[メニュー](サブメニュー)→[設定・管理]

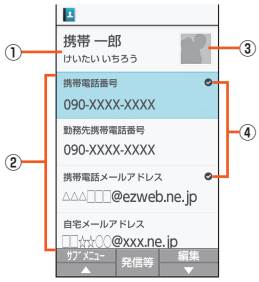
2

検索設定	「数字キーで検索」での検索方法を設定します。
削除時暗証番号設定	連絡先を選択削除／全件削除するときに、セキュリティキーを入力するかどうかを設定します。
電話帳をauサーバに保存	電話帳の内容をauサーバに保存します。
メモリ登録件数	表示している電話帳の連絡先登録件数を表示します。

電話帳の登録内容を利用する

1 待受画面で[電話帳]→連絡先を選択→●

■ 電話帳詳細画面の見かた



《電話帳詳細画面》

① **名前**
② **登録内容**
③ **顔写真**
④ **メインの電話番号／メインのメールアドレス**

◎ 登録内容を選択して●を押すと電話の発信、メールの作成などができます。
◎ 複数の電話番号やメールアドレスを登録しているときは、電話番号／メールアドレスを選択して●→[メインの電話番号に設定]／[メインのアドレスに設定]と操作すると、メインの電話番号／メールアドレスに設定できます。
◎ [回](編集)を押すと、登録内容を編集できます。

メール

メールを利用する……46
Eメールについて……46
Eメールを送る……46
Eメールを受け取る……47
新着メールを問い合わせて受信する……47
SMSについて……48
SMSを送る……48
SMSを受け取る……48
受信ボックス／送信ボックスを確認する……49
メール(Eメール／SMS)一覧画面でできること……50
メール(Eメール／SMS)詳細画面でできること……51
メールを設定する……51
メールをフォルダに振り分ける……51
Eメールを設定する……52
SMSを設定する……53
メールグループを設定する……53
メール(Eメール／SMS)をバックアップ／復元する……53
迷惑メールフィルターを設定する……54
SMS安心ブロック機能を設定する……55

メールを利用する

Eメールについて

Eメール(@ezweb.ne.jp)はEメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章の他、静止画や動画などのデータを送ることができます。

- Eメールを利用するには、あらかじめEメールアドレスの初期設定を行う必要があります。「Eメール設定」から画面の指示に従って初期設定を行ってください。
  詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

◎ Eメールの送受信は無線LAN(Wi-Fi®)通信で利用できますが、初期設定は4G(LTE)／3Gデータ通信で行ってください。
◎ Eメールは海外でもご利用になれます。
◎ Eメールの送受信には、データ量に応じてパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。

Eメールを送る

Eメールを送信する

1 待受画面で✉(長押し)→[Eメール]

Eメール作成画面が表示されます。
- 初期設定についての画面が表示された場合は、画面の指示に従って初期設定を行ってください。

2 宛先入力欄を選択→●(編集)

3

電話帳引用	電話帳のEメールアドレスを宛先に入力します。
送受信履歴引用	送信または受信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 • 📖(サブメニュー)→[選択削除]→Eメールアドレスを選択→●→📷(削除)→[はい]と選択すると履歴を削除できます。
メールグループ引用	電話帳のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 • グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。
プロフィール引用	自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
直接入力	宛先を直接入力します。

4 件名欄を選択→●(編集)→件名を入力→●(完了)

5 本文欄を選択→●(編集)→本文を入力→●(完了)

6 📷(送信)

◎ 操作6の前に📖(サブメニュー)→[保存]と操作すると、Eメールを送信せずに未送信ボックスへ保存できます。
◎ デコレーションアニメには対応しておりません。
◎ 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
◎ 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
◎ 絵文字を他社携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるau電話に送信した場合、auの旧絵文字に変換される場合があります。
◎ 「送信予約」を行うと、日時指定送信か、あるいはお客様のau電話が電波の届かない場所でEメールを送信したい場合に圏内復帰時に自動送信できます。

■宛先を追加する

1 Eメール作成画面で宛先入力欄を選択→●(編集)

2 <宛先入力>を選択→●(編集)

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.46)の操作3をご参照ください。

3 📷(完了)

■宛先を削除／宛先の種類を変更する

1 Eメール作成画面で宛先入力欄を選択→●(編集)

2 削除／変更したい宛先を選択→📖(サブメニュー)

3

Toへ変更	選択した宛先の種類を「To」に変更します。
Ccへ変更	選択した宛先の種類を「Cc」に変更します。
Bccへ変更	選択した宛先の種類を「Bcc」に変更します。
削除	選択した宛先を削除します。

送信予約をする

1 待受画面で✉(長押し)→[Eメール]

2 Eメールを新規作成

3 📖(サブメニュー)→[送信予約]

■電波圏内に入ったら送信する設定

4 [圏内時に送信]→[はい]

■指定の日時に送信する設定

4 [日時指定]

5 送信する日付を設定→📷(決定)

6 送信する時間を設定→📷(決定)→[はい]

未送信ボックス内に⏲が付いた送信予定のEメールが保存されます。

◎ メール(Eメール／SMS)の自動送信は20件まで設定できます。
◎ 送信予約が完了したメール(Eメール／SMS)は未送信ボックスに一時保存され、指定の条件を満たしたときに送信されます。
◎ 送信予約が設定されているメール(Eメール／SMS)を編集しようとしたり、指定した日時を変更しようとすると、いったん送信予約が解除されます。
◎ 電波状態などにより、予約した日時に送信できない場合があります。
◎ 送信予約(日時指定)された日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。
◎ 日時指定したEメールがローミング中に送信された場合、料金が高額となる場合がありますのでご注意ください。

Eメールにデータを添付する

送信Eメールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 Eメール作成画面で添付欄を選択→●(編集)

2

データフォルダ	本体メモリやmicroSDメモリカードに保存しているデータを添付します。
撮影	静止画または動画を撮影して添付します。
個人データ	プロフィール、電話帳、またはメモ帳を添付します。
その他	その他のデータを添付します。

■静止画データを添付する場合

3 リサイズするサイズを選択

静止画データをリサイズして添付できます。

◎ 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
◎ データを添付した後に、添付データ欄を選択すると添付したデータを表示できます。回(サブメニュー)→[削除]／[選択削除]と操作すると添付データを削除できます。囮(追加)を押すと、添付ファイルを追加できます。

本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送付できます。

1 Eメール作成画面で回(サブメニュー)→[装飾]

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
文字サイズ	文字の大きさを変更します。
背景色	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
D絵文字	デコレーション絵文字を選択して挿入します。
テンプレート	あらかじめ用意されたスタイルを利用して簡単に装飾メールを作成できます。
挿入	本体メモリやmicroSDメモリカードに保存しているデータやカメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間に区切り線を挿入したりします。
効果	文字を点滅させたりスクロールさせたりします。
装飾解除	すべての装飾を解除します。
1つ戻す	追加や変更をした装飾をひとつ前に戻します。

3 宛先／件名／本文などを入力→囮(送信)

◎ 本文には、最大20件(合計100KB以下)の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
※挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
◎ データを添付する場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
◎ 装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
◎ 異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
◎ デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
◎ 装飾した内容を戻せるのは10回までです。

Eメール作成画面でできること

1 Eメール作成画面で回(サブメニュー)

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

元メール参照	受信したEメールを参照してアドレスや本文などをコピーできます。
装飾	▶P.47「本文を装飾する」
SMSに変換	SMSで返信メールを作成します。
プレビュー	本文のプレビューを表示します。
保存	作成中のEメールを「未送信ボックス」に保存します。
送信予約	▶P.46「送信予約をする」
テンプレート呼出	テンプレートを使用します。
テンプレート保存	テンプレートを保存します。
返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合の、宛先に設定されるアドレスを設定します。
文字サイズ設定	本文の文字サイズを切り替えます。
署名挿入	本文欄に署名を挿入します。
ヘルプ	ヘルプを表示します。

SMSに変換について
◎ 返信時の引用文が制限文字数を超過した場合は文字が削除される場合があります。

Eメールを受け取る

Eメールを受信する

1 待受画面でEメールを受信

Eメールの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。
- ステータスバーにEメール受信の通知が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
「メール設定」の「着信お知らせ表示」を「差出人」に設定している場合は、ステータスバーにEメール送信者の名前が表示されます。電話帳にEメールアドレスを登録している場合は、登録された名前が優先的に表示されます。
- 待受画面に新着Eメールアイコン、ステータスバーに✉が表示されます。
- 充電／着信ランプが青色に点滅します。
- 本体を閉じているときはサブディスプレイに✉が表示されます。

2 待受画面で✉→[受信ボックス]→フォルダを選択→●

メール(Eメール／SMS)一覧画面が表示されます。

3 受信したEメールを選択→●

受信メール(Eメール)詳細画面が表示されます。

◎ Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに✉が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
◎ 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。
◎ 受信できる本文の最大データ量は、1件につき約10KBまでです。
◎ 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 受信メール(Eメール)詳細画面で添付データを選択→●→[表示／再生]

未受信の添付データは、添付データを選択して[受信]と操作すると受信が開始されます。
受信完了後、もう一度添付データを選択して[表示／再生]と操作してください。

◎ 添付データを選択して●→[保存]と操作すると、添付データを本体メモリに保存できます。
◎ 通常のEメール(テキストメール)では、添付データが受信メール(Eメール)詳細画面に表示される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。
※データによっては、表示されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」を無効に設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信できます。

1 待受画面で✉

メールメニュー画面が表示されます。

2 囮(新着受信)

新着のEメールがあるかどうかを確認します。
- フォルダー覧画面で囮(新着受信)を押しても問い合わせできます。

SMSについて

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送る

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・絵文字・記号・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。
海外へ送信する場合は、宛先には相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力してください。

「010」+「国番号」+「相手先電話番号」

※電話帳などから相手先携帯電話番号を引用した場合は、もう一度宛先を選択して「010」と「国番号」を入力してください。
※相手先携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力してください。

1 待受画面で✉(長押し)→[SMS]
SMS作成画面が表示されます。

2 宛先入力欄を選択→●(編集)

3

電話帳引用	電話帳の電話番号を宛先に入力します。
送受信履歴引用	受信メール履歴の一覧から選択して、電話番号を宛先に入力します。
プロフィール引用	自分の電話番号を宛先に入力します。
直接入力	宛先を直接入力します。

4 本文欄を選択→●(編集)→本文を入力→●(完了)

5 ⊙(送信)

◎ 操作5の前に⊡(サブメニュー)→[保存]と操作すると、SMSを送信せずに未送信ボックスへ保存できます。
◎ SMSセンターでは72時間までSMSをお預かり(蓄積)します。蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。なお、SMSのお預かり可能件数に制限はありません。
◎ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。
◎ 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。
- SMS蓄積後すぐに配信:新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
- リトライ機能による配信:相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
- 通話を終了したときに配信:蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。
※国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

◎ SMS送信時は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず発信者番号が通知されます。
◎ 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
◎ SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに⊗が表示される場合があります。
◎ 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。
http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/sms/

SMS作成画面でできること

1 SMS作成画面で⊡(サブメニュー)

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

元メール参照	受信したSMSを参照してアドレスや本文などをコピーできます。
Eメールに変換	Eメールで返信メールを作成します。
保存	作成中のSMSを「未送信ボックス」に保存します。
送信予約	▶P.48「送信予約をする」
配信確認	配信確認するかどうかを設定します。
文字サイズ設定	本文の文字サイズを一時的に切り替えます。
ヘルプ	ヘルプを表示します。

送信予約をする

1 待受画面で✉(長押し)→[SMS]

2 SMSを新規作成

3 ⊡(サブメニュー)→[送信予約]

■電波圏内に入ったら送信する設定

4 [圏内時に送信]→[はい]

■指定の日時に送信する設定

4 [日時指定]

5 送信する日付を設定→⊙(決定)

6 送信する時間を設定→⊙(決定)→[はい]
未送信ボックス内に⏲が付いた送信予定のSMSが保存されます。

◎ メール(Eメール/SMS)の自動送信は20件まで設定できます。
◎ 送信予約が完了したメール(Eメール/SMS)は未送信ボックスに一時保存され、指定の条件を満たしたときに送信されます。
◎ 送信予約が設定されているメール(Eメール/SMS)を編集しようとしたり、指定した日時を変更しようとすると、いったん送信予約が解除されます。
◎ 電波状態などにより、予約した日時に送信できない場合があります。
◎ 送信予約(日時指定)された日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。

SMSを受け取る

SMSを確認する

1 SMSを受信
SMSの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。
- 待受画面に新着SMSのアイコン、ステータスバーに✉が表示され、メール受信音が鳴ります。
- 本体を閉じているときはサブディスプレイに✉が表示されます。
- 充電/着信ランプが青色に点滅します。

2 待受画面で✉→[受信ボックス]→フォルダを選択→●
メール(Eメール/SMS)一覧画面が表示されます。

3 確認するSMSを選択→●
受信メール(SMS)詳細画面が表示されます。

◎ SMSの受信は、無料です。
◎ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
◎ 受信したSMSの内容によっては正しく表示されない場合があります。

電話番号/Eメールアドレス/URLを利用する

1 待受画面で✉→[受信ボックス]→[SMS]→SMSを選択→●

■本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号を選択→●
- 宛先の電話番号を選択して利用することもできます。

3 [音声発信]/[SMS作成]

■本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 本文中のEメールアドレスを選択→●

3 [メール作成]

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLを選択→●→[はい]
ブラウザが起動して、選択したURLのページが表示されます。

◎ 本文中に電話番号やURLを含むSMSを受信するには、SMS安心ブロック機能を解除する必要があります。SMS安心ブロック機能について詳しくは「SMS安心ブロック機能を設定する」(▶P.55)をご参照ください。

受信ボックス／送信ボックスを確認する

受信したメール(Eメール／SMS)は、受信ボックスに保存されます。
送信済みのメール(Eメール／SMS)は、送信ボックスに保存されます。
送信せずに保存したメール(Eメール／SMS)は、未送信ボックスに保存されます。

1 待受画面で✉
メールメニュー画面が表示されます。

- 未読メール(本文未受信メールを含む)がある場合は、受信ボックスのアイコンの右上に合計の件数が表示されます。
- 未送信メール(送信失敗メールを含む／下書きメールは除く)がある場合は、未送信ボックスのアイコンの右上に合計の件数が表示されます。

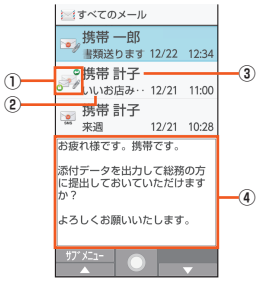
2 [受信ボックス]／[送信ボックス]
フォルダー覧画面が表示されます。

3 [すべてのメール]／[Eメール]／[SMS]
メール(Eメール／SMS)一覧画面が表示されます。

- 未読メール(本文未受信メールを含む)がある場合は、それぞれのフォルダアイコンの右上に合計の件数が表示されます。
- 受信ボックスで「迷惑メール」を選択した場合は、迷惑メールとして振り分けされたメールを確認できます。詳しくは「迷惑メール設定を利用する」(▶P.51)をご参照ください。

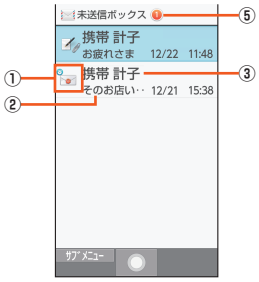
4 メール(Eメール／SMS)を選択→●
メール(Eメール／SMS)詳細画面が表示されます。

■ メール(Eメール／SMS)一覧画面の見かた



《受信メール（Eメール／SMS）一覧画面》

《送信メール（Eメール／SMS）一覧画面》



《未送信メール（Eメール／SMS）一覧画面》

① :未読／未送信のEメール
:既読のEメール
／:本文を未受信の未読Eメール／本文を未受信の既読Eメール
:未読／未送信のSMS
:既読のSMS
／:送信済みのEメール／SMS
／:下書きとして保存されたEメール／SMS
:サーバにメールがなく本文を受信できないEメール／送信に失敗したメール(Eメール／SMS)／サーバに元のメール(受信メール)がなく転送に失敗したEメール
:送信予約しているEメール
／:SMS配信確認(未読)／(既読)
:返信したメール(Eメール／SMS)
:転送したメール(Eメール／SMS)
:保護されたメール(Eメール／SMS)
:添付データあり

② 件名

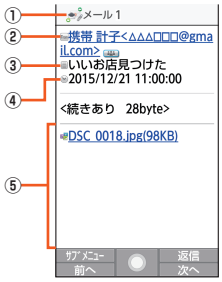
③ 宛先／差出人の名前／電話番号／Eメールアドレス
Eメールアドレスや電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
Eメールの差出人が電話帳に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。
- 電話帳にEメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

SMSの差出人が電話帳に登録されていない場合は、電話番号が表示されます。

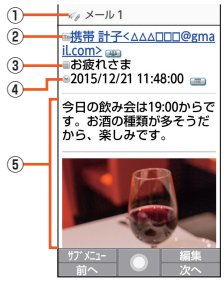
④ 本文プレビュー
選択したメールの本文を閲覧できます。

⑤ 未送信メールの件数(下書きメールは除く)

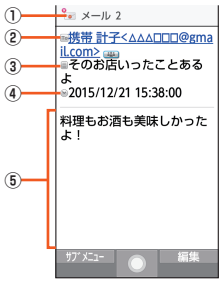
■メール(Eメール／SMS)詳細画面の見かた



《受信メール（Eメール／SMS）詳細画面》



《送信メール（Eメール／SMS）詳細画面》



《未送信メール（Eメール／SMS）詳細画面》

① :既読のEメール
:本文を未受信の既読Eメール
:既読のSMS
／ :送信済みのEメール／SMS
:サーバにメールがなく本文を受信できないEメール／送信に失敗したメール(Eメール／SMS)／サーバに元のメール(受信メール)がなく転送に失敗したEメール
:返信したメール(Eメール／SMS)
:転送したメール(Eメール／SMS)
:保護されたメール(Eメール／SMS)
:添付データあり

② :差出人の名前またはEメールアドレス、電話番号
:宛先の名前またはEメールアドレス、電話番号
- 宛先が複数ある場合は「 」を選択して●を押すと宛先の一覧が表示されます。

③ 件名(Eメールのみ)

④ 受信／送信日時
- 本文中に日付などの予定にかかわる文言を含む場合は「 」を選択して●を押すと、カレンダーが表示され予定を入力できます。
- 「配信確認」を「ON」にして送信したSMSの場合は、受信相手がSMSを確認すると「 」が表示されます。「 」を選択して●を押すと配信レポートを確認できます。

⑤ 本文

◎ 未送信メール(Eメール／SMS)一覧画面で下書きとして保存したメール(Eメール／SMS)を選択すると、メール(Eメール／SMS)作成画面が表示され、編集ができます。

メールメニュー画面でできること

1 待受画面で✉

2

受信ボックス	受信メール(Eメール／SMS)一覧画面を表示します。(▶P.49)
送信ボックス	送信メールボックス一覧画面を表示します。(▶P.49)
未送信ボックス	未送信メール(Eメール／SMS)一覧画面を表示します。(▶P.49)
新規作成	新規Eメールを作成します。(▶P.46)
テンプレート	テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。
SMS作成	新規SMSを作成します。(▶P.48)
設定	メール(Eメール／SMS)の設定をします。(▶P.51)

フォルダー一覧画面でできること

1 フォルダー一覧画面で▣(サブメニュー)

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

フォルダ新規作成	新しいフォルダを作成します。
フォルダ名編集	作成したフォルダ名を編集します。
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメール(Eメール／SMS)をすべて削除します。 • フォルダ内に保護されたメール(Eメール／SMS)がある場合は、保護されたメール(Eメール／SMS)が残り、フォルダは削除されません。
メール全件削除	フォルダ内のメール(Eメール／SMS)を全件削除します。 • 保護されたメール(Eメール／SMS)は削除されません。
振り分け登録	▶P.51「振り分け条件を登録する」
フォルダ並べ替え	フォルダを並べ替えます。
フォルダシークレット登録	選択したフォルダをシークレットフォルダに設定します。シークレット一時解除中(▶P.81)のみ設定できます。設定したフォルダは表示されません。
フォルダシークレット解除	シークレットフォルダの設定を解除します。
フォルダ着信通知設定	選択したフォルダ内に未読メール(Eメール／SMS)があるときに、着信通知をするかどうか設定します。
開封済みにする	選択したフォルダ内のEメールを開封済みにします。
再振り分け	現在設定されているフォルダの振り分け条件で、Eメールの再振り分けを行います。
検索	フォルダ内のEメールを検索します。

メール(Eメール／SMS)一覧画面でできること

1 メール(Eメール／SMS)一覧画面で▣(サブメニュー)

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

続きを受信	本文が未受信のEメールを選択して本文を取得します。
返信	Eメール／SMSに返信します。 • 件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。
転送	転送するEメール／SMSを作成します。 • Eメールの場合は、元の件名に「Fw:」が追加された件名が入力されます。 • 元のEメールが添付データを受信している場合は、転送メールにも添付されます。
編集	送信済みまたは未送信のEメール／SMSを編集して送信します。
再送信	送信済みのEメール／SMSを再送信します。
削除	Eメール／SMSを選択して削除します。 • 保護されたEメール／SMSは選択できません。
移動	Eメール／SMSを別のフォルダに移動します。 • あらかじめ「フォルダ作成」でフォルダを作成してください。
保存	本体メモリにEメール／SMSを保存します。
保護／解除	Eメール／SMSを選択して保護／保護解除します。 • 受信したメール(Eメール／SMS)は、5,000件まで保護できます。 • 送信したメール(Eメール／SMS)は、5,000件まで保護できます。
開封／未開封	メール(Eメール／SMS)を開封／未開封にします。
電話帳に登録	電話番号やEメールアドレスを電話帳に登録します。
並べ替え	Eメール／SMSを並び替えます。
検索	表示中のEメール／SMSを検索します。
アドレス詳細表示	アドレス詳細を表示します。
メールプロパティ	メール(Eメール／SMS)のプロパティを表示します。

メール(Eメール／SMS)詳細画面でできること

1 メール(Eメール／SMS)詳細画面で▣(サブメニュー)

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

転送	転送するEメール／SMSを作成します。 ・Eメールの場合は、元の件名に「Fw:」が追加された件名が入力されます。 ・元のEメールが添付データを受信している場合は、転送メールにも添付されます。
再送信	送信済みのメール(Eメール／SMS)を送信できます。
削除	Eメール／SMSを削除します。 ・保護されたEメールは選択できません。
コピー	Eメール／SMSの宛先／件名／本文をコピーします。
続きを受信	本文が未受信のEメールを取得します。
保護／保護解除	Eメール／SMSを保護／保護解除します。
引用返信	本文の内容を引用してEメールを返信します。 ・件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。
ファイル保存	Eメールに添付されているファイルを保存します。
移動	Eメール／SMSを別のフォルダに移動します。
メール保存	本体メモリにEメール／SMSを保存します。
メール操作	Eメール／SMSを操作します。
電話帳に登録	電話番号やEメールアドレスを電話帳に登録します。
表示設定	Eメールの表示設定を変更します。
メール情報表示	Eメール／SMSの宛先など詳細情報を表示します。
メールプロパティ	メール(Eメール／SMS)のプロパティを表示します。
エラー詳細	エラー情報を表示します。

差出人／宛先／電話番号／メールアドレスの情報を利用する

1 メール(Eメール／SMS)詳細画面を表示

2 差出人／宛先の電話番号やメールアドレスを選択→◉
選択メニューが表示されます。

3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
SMS作成	選択した電話番号を宛先にしたSMS作成画面を表示します。
メール作成	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します。 ▶P.46「Eメールを送る」
電話帳に登録	選択した電話番号やEメールアドレスを電話帳に登録します。
振り分け登録	▶P.51「振り分け条件を登録する」
拒否リストへ登録	選択した電話番号やEメールアドレスを拒否リストに登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。

メールを設定する

共通の設定をする

EメールとSMS共通の設定をします。

1 待受画面で✉→[設定]→[共通設定]
共通設定画面が表示されます。

2

受信／表示設定	▶P.52「受信／表示に関する設定をする」
送信／作成設定	▶P.52「送信／作成に関する設定をする」
文字サイズ設定	本文の文字サイズを切り替えます。
迷惑メール設定	▶P.51「迷惑メール設定を利用する」

メールをフォルダに振り分ける

迷惑メール設定を利用する

電話帳に登録していない差出人からのメール(Eメール／SMS)を、自動的に「迷惑メール」フォルダへ振り分けます。

1 待受画面で✉→[設定]→[共通設定]

2 「迷惑メール設定」を選択→◉(チェック)
迷惑メール設定が有効になります。

■ 迷惑メールフォルダを設定する

1 待受画面で✉→[受信ボックス]

2 「迷惑メール」フォルダを選択→▣(サブメニュー)→[振り分け登録]
振り分け条件を追加できます。詳しくは、「振り分け条件を登録する」(▶P.51)をご参照ください。

振り分け条件を登録する

フォルダー覧で作成したフォルダにメールを振り分けることができます。
登録した条件を含むメール(Eメール／SMS)を受信した場合は、自動的に条件登録したフォルダにメール(Eメール／SMS)が振り分けられます。

1 待受画面で✉→[受信ボックス]／[送信ボックス]
フォルダー覧画面が表示されます。

2 振り分け登録したいフォルダを選択→▣(サブメニュー)→[振り分け登録]

3 ▣(追加)

4

差出人／宛先	電話帳や送受信履歴、メールグループなどを引用して振り分け条件を追加します。
ドメイン指定	電話帳や送受信履歴、プロフィールなどを引用して振り分け条件を追加します。
件名	振り分けたいキーワードを入力します。
電話帳登録なし	電話帳に登録が無い場合を条件として追加します。

◎「迷惑メール設定」を有効にした場合は、「迷惑メール」フォルダに届いたメールの着信通知が無効になります。
◎「迷惑メール」フォルダ以外のフォルダに「電話帳登録なし」の条件を設定した場合は、迷惑メールもそのフォルダに振り分けられます。
◎ 振り分け条件は受信ボックス、送信ボックス共に最大20件登録できます。
◎ 受信ボックスの場合は差出人、送信ボックスの場合は宛先のメールアドレス／電話番号を参照して振り分けされます。
◎ 宛先が2件以上設定された送信メールは、複数ある宛先のうち、先頭のTo:のアドレスが振り分け登録されているフォルダへ振り分けます。
◎ 振分け登録の一覧画面で登録済みのEメールアドレスや電話帳グループ、件名を選択して▣(サブメニュー)→[削除]／[選択削除]と操作すると、条件を削除できます。
◎ シークレットフォルダに振り分けられたメールアドレスを非表示にすることはできません。

Eメールを設定する

1 待受画面で✉→[設定]→[Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。

2

受信／表示設定	▶P.52「受信／表示に関する設定をする」
送信／作成設定	▶P.52「送信／作成に関する設定をする」
その他の設定	**Eメールアドレスの変更へ** ▶P.52「Eメールアドレスを変更する」 **迷惑メールフィルターの設定／確認へ** ▶P.54「迷惑メールフィルターを設定する」 **オススメの設定はこちら** ▶P.54「迷惑メールフィルターを設定する」 **自動転送先の設定へ** ▶P.52「転送先を設定する」
設定更新	Eメールアドレスの設定情報の更新を行います。

受信／表示に関する設定をする

1 待受画面で✉→[設定]→[Eメール設定]→[受信／表示設定]

2

メール受信方法	▶P.52「Eメールの受信方法を設定する」
添付自動受信サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。
メール自動受信	サーバに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。無効に設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバに到着したことをお知らせします。

■Eメールの受信方法を設定する

1 待受画面で✉→[設定]→[Eメール設定]

2 [受信／表示設定]→[メール受信方法]

3

受信方法	**全受信** すべての内容を受信します。 **全受信(特定条件のみ)** 「全受信対象登録」で指定したすべての内容を受信します。 **差出人／件名／本文** 差出人・件名・本文のみを受信します。 **差出人／件名** 差出人・件名のみを受信します。
全受信対象登録	「受信方法」で「全受信(特定条件のみ)」を設定した場合に受信する対象を登録します。

メール受信方法について

◎ 本文未受信のまま受信メール(Eメール)詳細画面が表示されたときは、▭(サブメニュー)→「続きを受信」と操作すると、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良い所で行ってください。

送信／作成に関する設定をする

1 待受画面で✉→[設定]→[Eメール設定]→[送信／作成設定]

2

送信画像サイズ	Eメールに添付して送信する画像のサイズを設定します。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。
返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。
引用返信	返信時、受信Eメールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。有効に設定すると、受信Eメールの行頭に「>」を付けて引用します。受信Eメールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。

Eメールアドレスを変更する

Eメールアドレスは、初期設定で自動的に設定されたものから変更できます。

1 待受画面で✉→[設定]→[Eメール設定]→[その他の設定]→[接続する]→[Eメールアドレスの変更へ]

2 暗証番号を入力→[送信]

3 [承諾する]

4 Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信]→[OK]→[閉じる]

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎ Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。
◎ 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
◎ 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。
◎ Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。

転送先を設定する

本製品で受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。

1 待受画面で✉→[設定]→[Eメール設定]→[その他の設定]→[接続する]→[自動転送先の設定へ]

2 暗証番号を入力→[送信]

3 Eメールアドレスを入力→[送信]→[閉じる]

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎ 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。
◎ 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。
※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。
◎「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。
◎ Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。
◎ 自動転送Eメールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

SMSを設定する

SMS設定をする

1 **待受画面で✉→[設定]→[SMS設定]**
SMS設定画面が表示されます。

2

受信フィルター	▶P.53「受信フィルターを設定する」
配信確認	SMSが相手の方に届いた際、送信したメッセージに を表示させるかどうかを設定します。

■ 受信フィルターを設定する

1 **待受画面で✉→[設定]→[SMS設定]→[受信フィルター]**

2

指定番号拒否	指定した番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
電話帳登録以外	電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。

メールグループを設定する

グループに登録したメンバーにまとめてメール送信ができます。

1 **待受画面で✉→[設定]→[メールグループ設定]**

2 **[グループ追加]→グループ名を入力→◎(確定)**
メンバー一覧画面が表示されます。

3 **[メンバー追加]**

4

電話帳引用	電話帳からメンバー選択して追加します。
送受信履歴引用	メールの送受信履歴からメンバーを追加します。
直接入力	メールアドレスを直接入力してメンバーを追加します。

■ メンバーを追加する

1 **メンバーを追加したいグループを選択→●**

2 **◎(追加)→項目を選択／入力**

3 クリア

■ グループを削除する

1 **削除したいグループを選択→▭(サブメニュー)→[削除]→[はい]**
・「選択削除」を選択すると複数のグループをまとめて削除できます。

メール(Eメール／SMS)をバックアップ／復元する

メール(Eメール／SMS)をバックアップする

メール(Eメール／SMS)をmicroSDメモリカードにバックアップできます。また、バックアップしたメールデータは本製品へ取り込むことができます。
・本製品ではバックアップしたデータは、microSDメモリカード(/storage/sdcard1/private/SHARP/BACKUP/)に保存されます。

メールデータをバックアップする

メールデータなどをバックアップできます。

1 **待受画面で✉→[設定]→[メールの引越し]**

2 **[開始]**

3 **[データ保存]→ロックを解除**

4 **保存するデータカテゴリを選択→◎(保存)→[はい]**
機内モードが無効になっている場合は、機内モードが有効になり、バックアップが開始されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ 添付されたデータもバックアップできます。
※バックアップしたファイルサイズがmicroSDメモリカードに保存可能なサイズを超過した場合はバックアップできません。

メールデータを復元する

バックアップしたメールデータ(メール本文・添付ファイル)を復元できます。

1 **待受画面で✉→[設定]→[メールの引越し]**

2 **[開始]**

3 **[従来の携帯電話から]／[スマートフォンから]→[microSD]／[microSD経由]**

4 **●(開始)→ロックを解除**

5 **取り込むデータカテゴリを選択→◎(追加登録)→[はい]**
機内モードが無効になっている場合は、機内モードが有効になり、バックアップが開始されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ 復元したEメールから未受信の本文や添付データを取得することはできません。

メールバックアップの設定をする

1 **待受画面で✉→[設定]→[メールの引越し]**
データ引き継ぎ画面が表示されます。

2 **◎(設定)**

3

保存ファイルの整理	▶P.24「保存したファイルを削除する」
電話帳画像保存	▶P.24「電話帳の画像を保存する」
結果画面閲覧	▶P.24「保存／取り込み結果を閲覧する」

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

- 迷惑メールフィルターの各種機能の詳細については、迷惑メールフィルター画面で「ヘルプ」を選択してヘルプをご参照ください。

1 待受画面で✉→[設定]→[Eメール設定]→[その他の設定]→[接続する]

■ おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら]→[登録]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定／確認へ]→暗証番号を入力→[送信]

迷惑メールフィルター画面が表示されます。

3

オススメ一括設定	**1. オススメ設定** とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。 **2. 携帯／PHSのみ受信設定** パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。
詳細設定	**個別設定** ▶P.54「迷惑メールフィルターの個別設定をする」 **受信リスト設定** 個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 ・受信リスト設定以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」ですべてのチェックをOFF(受信拒否)にしてください。 ※なりすまし規制回避リスト設定により「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信します。なお、本受信リストにezweb.ne.jpやその一部を登録すると、すべてのメールを受信するためご注意ください。 **拒否リスト設定** 個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。 **アドレス帳受信設定** auアドレス帳あるいはFriends Noteに保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
設定確認／解除	迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。
設定にあたって	迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

※最新の設定機能は、auホームページ(http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/forestalling/mail/anti-spam/fillter/)でご確認ください。

■ 迷惑メールフィルターの個別設定をする

1 迷惑メールフィルター画面で[詳細設定]→[個別設定]

2

一括指定受信	インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。
迷惑メールおまかせ規制	メールサーバで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。
なりすまし規制	送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(中)(低)の3つの設定があります。 ※なりすまし規制回避リスト設定により「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信することもできます。
HTMLメール規制	メール本文がHTML形式で記述されているメールを受信、または拒否することができます。
URLリンク規制	本文中にURLが含まれるメールを受信、または拒否することができます。
ウィルスメール規制	添付ファイルがウィルスに感染している送受信メールをメールサーバで規制します。
拒否通知メール返信設定	迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するかしないかを設定することができます。

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

◎ 迷惑メールフィルターは、次の優先順位にて判定されます。
なりすまし規制回避リスト>なりすまし規制>拒否リスト設定>受信リスト設定>アドレス帳受信設定>HTMLメール規制>URLリンク規制>一括指定受信>迷惑メールおまかせ規制>ウィルスメール規制

◎「なりすまし規制回避リスト」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「なりすまし規制回避リスト」に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。

◎「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールには返信されません。

◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。

◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。

◎「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「なりすまし規制回避リスト」に登録してください。

■ パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。
auのホームページ内の「迷惑メール対策」の画面内にある「迷惑メールフィルターの設定に進む」を選択し、au IDとパスワードを入力してください。
※au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。

SMS安心ブロック機能を設定する

SMS安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMSを受信拒否する機能です。

◎ ブロック対象のSMSは、通常のSMS（ぷりペイド送信含む）です。
着信お知らせサービス、お留守番サービスEX（伝言お知らせ）は対象外です。（お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。）

■ SMS安心ブロック機能の設定方法

SMS安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMSを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMSを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMSを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMSを送信する。

※ 設定時のSMS送信は無料です。
※ 設定完了の案内SMSは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■ SMS安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMSがSMS安心ブロック機能により受信拒否された場合は、送信したメッセージに⊗が表示され、送信されません。

インターネット

インターネットに接続する……58
パケット通信を利用する……58
ブラウザを利用する……58

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができません。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。
LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、待受画面で●→[設定]→[通信・ネットワーク]→[ネットワーク設定]→[モバイルネットワーク]→[auネットワーク設定]→[高度な設定]→[接続モード設定]→[LTE NET for DATA]と操作してください。

◎ LTEフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロードや通信を行うアプリケーションなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額／割引サービスの加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/(auお客さまサポート)
- 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。
- ブラウザでWebページを表示すると、タッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.26)をご参照ください。
- はじめてWebページを表示したときは許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

ブラウザメニューを利用する

1 待受画面で▣

ブラウザメニュー画面が表示されます。

2

ホームページ	▶P.58「Webページを表示する」
ブックマーク	▶P.58「ブックマーク／履歴を利用する」
auお客さまサポート	auお客さまサポートのホームページを表示します。
URL入力・Web検索	▶P.58「URL入力・Web検索を利用する」
履歴	▶P.58「ブックマーク／履歴を利用する」
ダウンロード	▶P.58「ダウンロードの履歴を確認する」
設定	▶P.58「ブラウザを設定する」

■ Webページを表示する

1 ブラウザメニュー画面で[ホームページ]

ホームページ画面が表示されます。
初回起動時には許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ ブラウザ設定の「ホームページを設定」で設定したページを表示します。
◎ 非常に大きなWebページをブラウザで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

■ ブックマーク／履歴を利用する

1 ブラウザメニュー画面で[ブックマーク]／[履歴]

2 ブックマーク／履歴を選択

◎ ▣(ブックマーク／履歴)を押して、ブックマークと履歴の一覧画面を切り替えられます。
◎ ブックマーク画面で▣(サブメニュー)を押すとメニュー項目が表示され、フォルダの作成、ブックマークの削除／並べ替えなどの操作が行えます。
◎ 履歴画面で▣(サブメニュー)を押すとメニュー項目が表示され、ブックマークに追加や履歴の削除などの操作が行えます。

■ URL入力・Web検索を利用する

URLを直接入力してサイトを表示できます。また、キーワードを入力して、Webページの情報を検索できます。

1 ブラウザメニュー画面で[URL入力・Web検索]

2 URL／キーワードを入力→●

入力したURLのページまたはキーワードで検索した結果のページが表示されます。
入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。

◎ キーワードを入力して検索するときは、ブラウザ設定の「検索エンジンの設定」で指定した検索エンジンを使用します。

■ ダウンロードの履歴を確認する

ブラウザでダウンロードした画像などの履歴を確認できます。

1 ブラウザメニュー画面で[ダウンロード]

■ ブラウザを設定する

1 ブラウザメニュー画面で[設定]

ブラウザ設定画面が表示されます。

2 各種項目を設定

ブラウザ画面のサブメニューを利用する

1 Webページを表示中に▣(サブメニュー)

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

進む	▣(戻る)を押してページを戻したときに表示され、▣(戻る)を押す前に表示していたページに移動します。
ブックマーク一覧	▶P.58「ブックマーク／履歴を利用する」
ブックマークへ登録	表示中のサイトをブックマークに登録します。
履歴	▶P.58「ブックマーク／履歴を利用する」
新しいタブ	表示中のタブとは別に、新しいタブを表示します。
タブ一覧	開いているタブの一覧を表示します。
URL入力／Web検索	▶P.58「URL入力・Web検索を利用する」
再読み込み／停止	表示中のサイトの再読み込み／読み込み中止を行います。
画像保存モード	画像保存モードに切り替わります。カーソルでポインタを画像に移動後、画像を選択して保存できます。
テキストコピー	▶P.58「Webページの文字をコピーする」
拡大縮小	⚇で表示を拡大／縮小します。
ホーム	「ホームページを設定」で設定したページを表示します。
ダウンロード	ダウンロードの履歴を表示します。
設定	▶P.58「ブラウザを設定する」
このリンク	選択したリンクを新しいタブで開いたり、リンク先を保存できます。
ページ情報	表示しているページの情報を表示します。メール等で情報を利用することもできます。
ページ検索	キーワードを入力して、ページ内を検索します。
ヘルプ	ブラウザのヘルプを表示します。

Webページの文字をコピーする

1 Webページを表示中に▣(サブメニュー)→[テキストコピー]

矢印のポインタが表示されます。

2 ✥でポインタをコピー開始位置に移動→●

- タッチクルーザーEXのポインタとは異なります。✥で操作してください。

3 ✥でコピー範囲を選択

- 開いているページの文字をすべて選択したいときは▣(サブメニュー)→[全選択]と操作します。

4 ▣(サブメニュー)→[コピー]

タッチクルーザーEXで操作する

タッチクルーザーEXの機能を利用して、ブラウザを快適に閲覧できます。タッチクルーザーEXについて詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.26)をご参照ください。
- ブラウザを起動すると、自動的にタッチクルーザーEXが有効になります。

1 タッチクルーザーEXを使って操作する

タップ:項目を選択したり、決定します。
フリック:画面をロングタッチして「✥」を表示した状態で、画面を上下にスクロールします。
ダブルタップ:画像を拡大／縮小します。

◎ ブラウザを利用中に✥キーが動作しなくなったときは、タッチクルーザーEXを有効にするとカーソルの操作が可能になる場合があります。

マルチメディア

カメラを利用する **60**
カメラをご利用になる前に 60
本製品の持ちかた 60
静止画／動画を撮影する 61
カメラの機能を利用する 62
データを利用する **63**
データフォルダを利用する 63
画像を編集する 64

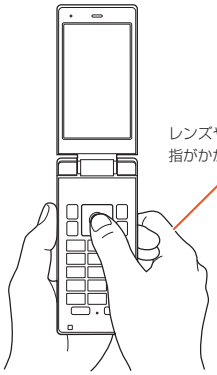
カメラを利用する

カメラをご利用になる前に

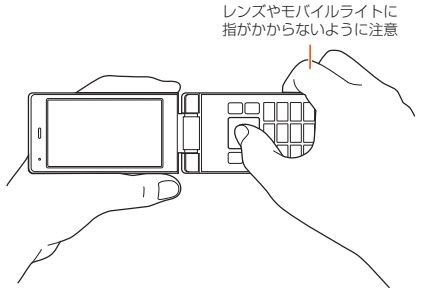
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部やモバイルライトに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- モバイルライトを点灯して撮影したときに、レンズ周辺に指やカバーなどがあるとモバイルライトの光が反射して、撮影した静止画／動画が白っぽくなる場合があります。
- 動画を撮影する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、撮影時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- レンズ部に直射日光等の強い光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して静止画／動画が変色することがあります。
- 本製品を暖かい場所に長時間置いた後に静止画／動画を撮影したり、保存したりすると、静止画／動画が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- 被写体がメインディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、静止画がぶれる原因となります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすいしま模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 本製品のカメラで撮影した静止画／動画は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - ・強い逆光のもとにある被写体
  - ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - ・暗い場所にある被写体
  - ・動きが速い被写体
- モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、静止画／動画が暗くなったり、静止画／動画が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。
- 撮影モードの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 電池残量が（残量約10%）以下の場合は、カメラを起動できません。
- 次の場合は、カメラを使用できないことがあります。
  - ・長時間の使用により本体の温度が上昇した場合
  - ・冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合
  - ・他のアプリケーションを起動している場合

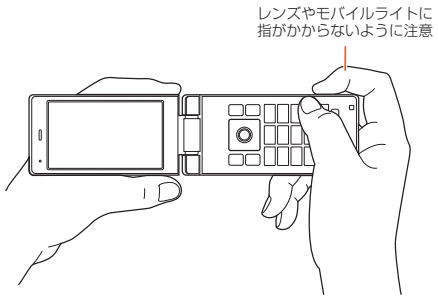
本製品の持ちかた

〈縦向き〉
両手で本体をしっかりと持ち、●（撮影）を押して撮影します。



〈横向き〉
両手で本体をしっかりと持ち、●（撮影）／シャッター/マナーを押して撮影します。





静止画／動画を撮影する

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。
カメラを起動するとタッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.26)をご参照ください。

■ 静止画を撮影する

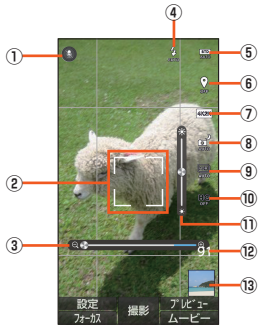
1 待受画面で[カメラ]

静止画撮影画面が表示されます。
↔:ズームイン／ズームアウト
↕:明るさの調整
[メニュー](設定):カメラの設定メニューを表示
[カメラ](プレビュー):撮影した静止画を表示
フォーカス:フォーカスをロック
ムービー:動画撮影に切替
[×]:画面アイコンの表示／非表示切替

2 ●(撮影)／[シャッター/マナー]

撮影し、静止画を保存します。

■ 静止画撮影画面の見かた



《静止画撮影画面》

① 音声認識
② フォーカスマーク
「顔優先AF」を設定している場合は、人の顔を検出してフォーカス動作を行います。ポインタで被写体の位置をタップすると、フォーカス位置を指定できます。
③ ズーム
④ モバイルライト
⑤ 撮影モード
⑥ 自動位置情報付加
⑦ 撮影サイズ
⑧ NightCatch
⑨ HDR
⑩ HQモード
⑪ 明るさ調整
⑫ 撮影可能枚数
残り撮影枚数が99枚以下になると表示されます。
⑬ ミニプレビュー
直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。

◎ タッチクルーザーEXのポインタで各アイコンやミニプレビューを選択すると、各アイコンに対応した機能を起動したり撮影した静止画を再生します。

■ 動画を撮影する

1 待受画面で[カメラ](長押し)

動画撮影画面が表示されます。
↕:明るさの調整
↔:ズームイン／ズームアウト
[メニュー](設定):カメラの設定メニューを表示
[カメラ](プレビュー):撮影した動画を再生
[カメラ](フォト):静止画撮影に切替
[×]:画面アイコンの表示／非表示切替

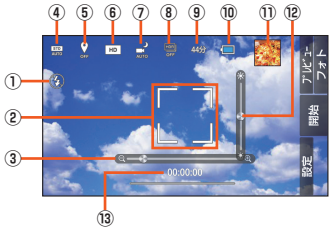
2 ●(開始)／[シャッター/マナー]

動画の撮影を開始します。
・動画撮影中に[カメラ](撮影)を押すと静止画を撮影できます。

3 ●(停止)／[シャッター/マナー]

動画撮影を終了し、動画を保存します。

■ 動画撮影画面の見かた



《動画撮影画面》

① モバイルライト
② フォーカスマーク
③ ズーム
④ 撮影モード
⑤ 自動位置情報付加
⑥ 撮影サイズ
⑦ NightCatch
⑧ HDR
⑨ 撮影残時間
⑩ 電池残量
⑪ ミニプレビュー
直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。
⑫ 明るさ調整
⑬ 撮影時間

◎ タッチクルーザーEXのポインタで各アイコンやミニプレビューを選択すると、各アイコンに対応した機能を起動したり撮影した動画を再生します。

カメラの機能を利用する

カメラを設定する

1 待受画面で◎／◎(長押し)→▭(設定)

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ビデオへ切替	動画撮影に切り替えます。
カメラへ切替	静止画撮影に切り替えます。
モバイルライト	モバイルライトのON／OFFを設定します。 • 静止画／動画撮影画面で[#]を押しても設定できます。
モード切替	撮影環境や被写体に合わせて撮影モードを切り替えることができます。 • 静止画／動画撮影画面で[2]を押しても設定できます。 **カメラ** 連写撮影、魚眼レンズ、ミニチュア効果、パノラマモードのとき通常のカメラに切り替えます。 **おまかせオート** 被写体に合わせて自動的に調整するモードです。 **標準** 標準的なモードです。 **人物** 人物撮影に適したモードです。 **夜景＋人物** 夜景での人物撮影に適したモードです。 **風景(自然)** 風景撮影に適したモードです。 **夜景** 夜景撮影に適したモードです。 **料理** 料理を撮影するのに適したモードです。 **テキスト** 文字を撮影するのに適したモードです。 **セピア** セピア効果で撮影するモードです。 **モノクロ** モノクロ撮影するモードです。 **銀残し** 暗部を暗く、コントラストを強調して撮影するモードです。 **連写撮影** 1回の撮影で、12～50枚の写真を撮影するモードです。 **魚眼レンズ** 魚眼レンズを利用したような歪んだ写真を撮影するモードです。 **ミニチュア効果** ミニチュアで再現したような風景写真を撮影するモードです。 **パノラマ** パノラマサイズで撮影するモードです。 **翻訳ファインダー** 翻訳ファインダーを起動します。(▶P.63) **バーコードリーダー** バーコードリーダーを起動します。(▶P.62)
自動位置情報付加	位置情報を自動的に付加するかどうかを設定します。 • 静止画／動画撮影画面で[4]を押しても設定できます。
撮影サイズ	撮影サイズを設定します。 • 静止画／動画撮影画面で[1]を押しても設定できます。
NightCatch	暗いシーンを明るく撮影するかどうかを設定します。 • 静止画／動画撮影画面で[9]を押しても設定できます。
HDR	逆光などコントラストが強いシーンで、白とびを軽減して撮影するかどうかを設定します。 • 静止画／動画撮影画面で[6]を押しても設定できます。
HQモード	ぶれを抑えて、ノイズを低減した高品位な静止画で撮影するかどうかを設定します。
フレーミングアドバイザー	撮影時のシーンに応じて、構図の分割線やガイドの種類を切り替えます。 • 静止画撮影画面で[8]を押しても設定できます。
特殊効果パターン	「モード切替」で「ミニチュア効果」に設定しているとき、効果のパターンを選択できます。
音声操作設定	音声認識での操作を使用するかどうかを設定できます。 • 静止画撮影画面で[5]を押しても設定できます。
詳細設定	▶P.62「カメラの詳細設定をする」
ヘルプ	カメラのヘルプを表示します。 • 静止画／動画撮影画面で[0]を押しても表示できます。

カメラの詳細設定をする

1 待受画面で◎／◎(長押し)→▭(設定)→[詳細設定]

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ISO感度	撮影場所の明るさに合わせて、光を取り込む感度を設定します。
ホワイトバランス	撮影場所の光源に合わせた色調補正を設定できます。
マイク	動画撮影時にマイクを利用するかどうかを設定します。
シャッターモード	被写体が笑ったときや、振り向いたときに自動で撮影するかどうかを設定します。
セルフタイマー	タイマーをセットし自動で撮影するかどうかを設定します。 • 静止画／動画撮影画面で[3]を押しても設定できます。
フォーカス設定	被写体に合わせてフォーカスを設定します。
手ぶれ軽減	手ぶれ軽減を利用するかどうかを設定します。 • 静止画撮影画面で[7]を押しても設定できます。
ちらつき防止	蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面にしま模様が出にくくなるように設定できます。
保存先設定	保存先を本体またはmicroSDメモリカードに設定します。
微速度撮影間隔	動画撮影時の撮影間隔について設定します。

◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。

ISO感度について

◎「ISO感度」を高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画像は粗くなります。

ホワイトバランスについて

◎ 室内で撮影すると画面が黄色くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスを「蛍光灯」や「電球」に設定して撮影すると改善されます。

◎ 白熱電球下などで撮影すると画面が赤くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスを「電球」に設定して撮影すると改善されます。

バーコードリーダーを利用する

バーコードにカメラをかざして情報を読み取ることができます。読み取った内容は、電話帳への登録やEメールの作成などに利用できます。

1 待受画面で◎→▭(設定)→[モード切替]→[バーコードリーダー]

2 読み取りたいバーコードにカメラをかざしてメインディスプレイに表示

バーコードを自動的に読み取ります。

- 読み取りに成功したら、データの種類に応じて発信・登録などをしてください。
- ◎(読取中断)を押すと、読み取りを一時的に中断します。●(再認識)を押すと読取を再開します。

バーコードリーダーのサブメニューを利用する

バーコードがうまく読み取れないときに、明るさを調整したり、モバイルライトを点灯したりできます。また、登録したデータの確認もできます。

1 バーコード読み取り画面で▭(サブメニュー)

2 各項目を設定

◎ バーコードが汚れている、かすれている、薄いなどの場合は、読み取れないことがあります。

◎ メインディスプレイ内に複数のバーコードが表示されている場合は、読み取れないことがあります。

◎ カメラのレンズ部に指紋や油脂などが付着していると、バーコードがぼやけて読み取れなかったり、髪の毛やほこりなどのゴミがついて間違って読み取ったりすることがあります。読み取る前に柔らかい布などで拭いてください。

翻訳ファインダーを利用する

カメラをかざすだけで英語を日本語へリアルタイムに翻訳できます。
• 翻訳ファインダーは縦画面でのみ利用できます。

1 待受画面で◎→回(設定)→[モード切替]→[翻訳ファインダー]

2 翻訳したい英語にカメラをかざしてメインディスプレイに表示
画面に翻訳する英語の全体が表示されるようにしてください。
ディスプレイ上に翻訳された日本語が表示されます。

3 ●
シャッター音が鳴り、そのままの静止画と翻訳された静止画が自動的に保存されます。

4 撮影した静止画を利用する
• 翻訳結果の表示／非表示を切り換えるには◎(表示切換)を押します。
• 画面を拡大／縮小するには◎(拡大)／◎(縮小)を押します。
• テキストをコピーするには翻訳結果画面で回(サブメニュー)→[テキストをコピー]と操作します。
• テキストを送信するには翻訳結果画面で回(サブメニュー)→[テキストを送信]と操作します。

■ 翻訳ファインダーの設定をする

1 翻訳ファインダー画面で回(設定)

2 各項目を設定

◎ 英語から日本語へのみ翻訳できます。
◎ 英語のフォント、背景、文字色、文字サイズ、レイアウトなどによって、読み取れない場合や正しく翻訳されない場合があります。
◎ 日本語に翻訳されていないテキストは、コピーおよび送信できません。
◎ 文字列が水平になるように画面の傾きを調整すると、正しく翻訳できる場合があります。

データを利用する

データフォルダを利用する

データを表示／再生する

データフォルダは、本体メモリまたはmicroSDメモリカード内のデータを分類して一覧表示し、再生／表示、確認、管理を行うことができます。

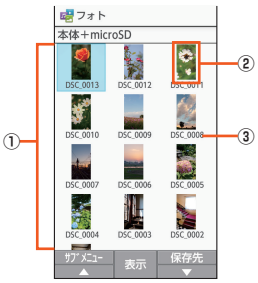
1 待受画面で●→[データフォルダ]
• データフォルダを起動するとタッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.26)をご参照ください。

2 カテゴリを選択→●
フォト:カメラで撮影した静止画を表示します。
ピクチャー:翻訳ファインダーで撮影した静止画やダウンロードした画像コンテンツなどを表示します。
音楽:音楽や効果音(サウンド)を表示します。
動画:動画を表示します。
書類:Officeのデータおよびテキストデータを表示します。
その他:その他のデータを表示します。
コンテンツ表示画面が表示されます。

3 データを選択→●(表示／再生／開く)
データの種別に応じたアプリケーションが起動し、データを再生／表示します。

◎ データを再生／表示するアプリケーションが本製品に複数存在する場合、アプリケーションを選択する画面が表示されることがあります。
◎ データフォルダで表示されるデータの中には、表示や再生ができないものもあります。

■ コンテンツ表示画面の見かた



《コンテンツ表示画面(グリッド表示)》

① **コンテンツ表示エリア**
データの一覧を表示します。
② **サムネイル**
③ **ファイル名**

■ データを個別に操作する

1 コンテンツ表示画面でデータを選択→●(表示／再生／開く)

2 回(サブメニュー)

3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

送信	選択したデータをBluetooth®や赤外線、メール添付、PASSNOWなどで送信したりできます。 • PASSNOWでペア設定済みの場合は、表示中の画像を[✕]を押してペア設定した端末に送信できます。
削除	選択したデータを削除します
スライドショー	スライドショーを表示します。
画像編集	画像を編集します。 • 詳しくは「画像を編集する」(▶P.64)をご参照ください。
画像を登録	壁紙や電話帳に画像を登録します。
設定	スライドショーやシャープネスの表示設定をします。
詳細情報	選択したデータの詳細情報を表示します。

画像を登録について
◎ 著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

データを移動／コピーする

本体メモリ、またはmicroSDメモリカードに保存したデータの保存場所を移動したり、コピーしたりできます。

1 **待受画面で●→[データフォルダ]**

2 **カテゴリを選択→●**

3 **メ(サブメニュー)→[移動・コピー]**

4 **[microSDへ移動]／[microSDへコピー]／[本体へ移動]／[本体へコピー]→●**

5 **移動／コピーするファイルを選択→●**
選択されたファイルに☑がつきます。
・すべてのデータを選択する場合は◎(全選択)を押します。⊠(全解除)を押すと選択しているデータをすべて解除します。

6 **◎(移動／コピー)**

データ保存先の表示を変更する

1 **待受画面で●→[データフォルダ]**

2 **カテゴリを選択→●**

3 **◎(保存先)→[本体+microSD]／[本体]／[microSD]**

コンテンツ表示画面のサブメニューを利用する

1 **待受画面で●→[データフォルダ]**

2 **カテゴリを選択→●**

3 **メ(サブメニュー)**

4 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

表示切替	リスト／グリッド／プレビュー表示を切り替えます。
画像編集	画像を編集します。 ・詳しくは「画像を編集する」(▶P.64)をご参照ください。
送信	選択したデータをBluetooth®や赤外線、メール添付、PASSNOWなどで送信したりできます。 ・PASSNOWでペア設定済みの場合は、[✕]を押してペア設定した端末に選択中の画面を送信できます。
移動・コピー	選択したデータを移動／コピーします。
1件削除	選択した1件のデータを削除します。
選択削除	選択したデータを削除します。
ソート	保存されているデータの並び順を変更します。
画像を登録	壁紙や電話帳に画像を登録します。
登録	音楽ファイルを着信音などに登録します。
メモリ使用状況	microSDメモリカードと本体メモリの容量を表示します。
詳細情報	選択したデータの詳細情報を表示します。

登録について
◎ 著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

画像を編集する

■ 画像編集で編集する

1 **待受画面で●→[データフォルダ]**

2 **「フォト」／「ピクチャー」→●**

3 **データを選択→●(表示)**

4 **メ(サブメニュー)→[画像編集]**

5 **メ(サブメニュー)**

6

トリミング	画像を切り取ります。
リサイズ	画像のサイズを変更します。
回転	画像を回転させます。
鏡	画像を鏡に映したように上下左右に反転させます。
エフェクト	画面にモノクロや魚眼、ミニチュアなどの効果を与えます。
補正効果	画面のコントラストやシャープネスなどを補正します。
日付スタンプ	画面に日付スタンプを追加します。
顔かくし	顔と認識された画像に処理を施してかくします。

7 **●(保存)**

ワンセグ

ワンセグについて 66
テレビの初期設定をする 66
テレビ番組を見る 66
番組表を利用する 67
チャンネルリストを切り替える 67
テレビの設定をする 67
TVリンクを利用する 67

ワンセグについて

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信できます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
一般社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

■ ワンセグ利用時のご注意

- ワンセグの利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- ワンセグ画面表示中は、本製品が温かくなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- ワンセグは日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。
- 海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はワンセグを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。

■ 電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

■ テレビアンテナについて

本製品にはテレビアンテナが内蔵されています。

■ 電池残量による動作

電池残量が(残量約10%)未満になるとテレビを起動できません。

テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、視聴するチャンネルリストを設定します。設定が完了すると、テレビ番組を見ることができます。

1 待受画面で●→[ツール]→[TV(ワンセグ)]
使用許諾画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

2 [地域を選んで作成]
地域が特定できない場合は、「チャンネルを探して作成」を選択して画面の指示に従って操作してください。

3 地方を選択→●

4 都道府県を選択→●

5 地域を選択→●
放送局の検索が開始されます。

6 チャンネルリストを確認→(完了)

テレビ番組を見る

テレビ番組を視聴する

1 待受画面で●→[ツール]→[TV(ワンセグ)]
(データ操作/テレビ操作):データ操作モード/テレビ視聴モードの切り替え
(画面回転):画面表示を縦画面/横画面に切り替え

■ テレビ視聴モードでのキー操作について

テレビ視聴モードではチャンネルの切り替えや音量の調整ができます。
※1※2/※2/※2:音量調節(15段階の音量または消音)
※1:チャンネルの切り替え、長押しでチャンネルサーチ
0~9、*、#:チャンネルの切り替え
:終了
※1 画面の表示方法によって操作が異なります。
※2 Bluetooth®接続中はBluetooth®リモコンから音量の調節が可能となります。ただし、Bluetooth®機器によっては音量の調節ができない場合があります。

■ データ操作モードでのキー操作について

データ操作モードでは情報表示エリアの情報(データ放送)を利用できます。
:カーソル移動、スクロール
0~9、*、#:コンテンツで割り当てられた項目を選択
●:項目を選択
クリア:データ放送の1つ前のページに戻る

◎ テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
◎ 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
◎ テレビ起動中はカメラを使用できません。
◎ データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、データ放送で取得した情報からの関連サイトへのアクセスや追加情報の取得には、パケット通信料がかかります。

■ テレビ画面の見かた

《テレビ視聴画面》

① **番組情報**
番組タイトルや放送局名などを表示します。
② **映像**
③ **字幕**
字幕表示を有効にすると、字幕欄に字幕が表示されます。
④ **情報表示エリア**
⑤ **音量**

テレビ視聴画面のサブメニューを利用する

1 待受画面で●→[ツール]→[TV(ワンセグ)]

2 (サブメニュー)

3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

テレビ終了	テレビを終了します。
画面回転	画面の縦横を切り替えます。
チャンネル一覧	チャンネル一覧を表示します。
番組表	▶P.67「番組表を利用する」
音声／字幕設定	**音声切替** 音声の出力種別を設定します。 **音声多重切替** 主音声と副音声の設定をします。 **字幕切替** 字幕の表示方法を設定します。
チャンネル設定	**チャンネルサーチ** チャンネルを検索します。 **サービス選局** 受信中のチャンネルが複数サービス中の場合、視聴するサービスを選択できます。 **チャンネルリスト切替** ▶P.67「チャンネルリストを切り替える」 **チャンネルリスト編集** ▶P.67「チャンネルリストを切り替える」 **チャンネル個別登録** 視聴中のチャンネルを選択したリモコン番号に登録できます。
データ放送再読み込み	データ放送を再読み込みします。
設定	▶P.67「テレビの設定をする」
TVリンク	▶P.67「TVリンクを利用する」
操作ガイド	視聴画面での操作方法を表示します。

番組表を利用する

1 待受画面で●→[ツール]→[TV(ワンセグ)]→(サブメニュー)→[番組表]
番組表画面が表示されます。

2 番組を選択→●
番組詳細画面が表示されます。

チャンネルリストを切り替える

お使いの地域によって受信チャンネルは異なります。チャンネルリストを登録し、お使いの地域に合わせて切り替えることができます。チャンネルリストは3件まで登録できます。

1 待受画面で●→[ツール]→[TV(ワンセグ)]→(サブメニュー)→[チャンネル設定]

■登録済みのチャンネルリストに切り替える場合

2 [チャンネルリスト切替]→登録済みのチャンネルリストを選択→●
チャンネルリストが切り替わります。

■チャンネルリストを登録する場合

2 [チャンネルリスト編集]
チャンネルリスト編集画面が表示されます。

3 (サブメニュー)→[作成]

4 [地域を選んで作成]
地域が特定できない場合は、「チャンネルを探して作成」を選択して画面に従って操作してください。

5 地方を選択→●

6 都道府県を選択→●

7 地域を選択→●
放送局の検索が開始されます。

8 (完了)

■チャンネルリスト編集画面のサブメニューを利用する

1 チャンネルリスト編集画面で(サブメニュー)

2

作成	▶P.67「チャンネルリストを登録する場合」
削除	選択したチャンネルリストの削除を行います。
再スキャン	選択中のチャンネルリストの再設定をします。
チャンネルリスト名変更	選択中のチャンネルリストの名前を変更します。

テレビの設定をする

1 待受画面で●→[ツール]→[TV(ワンセグ)]→(サブメニュー)→[設定]

2

データ放送設定	**通信接続時の確認** 通信開始時に確認画面を表示するかどうかを設定します。 **位置情報設定** 位置情報の利用について設定します。 **製造番号の利用** 製造番号を利用するかどうかを設定します。 **放送局メモリ初期化** 放送局メモリを初期化します。
オフタイマー設定	ワンセグを自動で終了するまでの時間を設定します。
クローズ動作設定	ワンセグ視聴時に、本製品を閉じたときの動作を設定します。
製品情報	ロゴ、著作権、およびバージョンなどの情報を表示します。

TVリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報(TVリンク)が表示される場合があります。TVリンクを登録すると、後で関連サイトに接続できます。
・TVリンクの登録方法は、番組によって異なります。

1 待受画面で●→[ツール]→[TV(ワンセグ)]→(サブメニュー)→[TVリンク]
TVリンクリスト画面が表示されます。

2 TVリンクを選択→●
TVリンク詳細画面が表示されます。
リンクコンテンツまたはHTMLコンテンツを選択した場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ 削除したいTVリンクを選択し(サブメニュー)→[削除]と操作してTVリンクを削除できます。

アプリケーション

au災害対策アプリを利用する……70
メーカーサービスを利用する……70
auナビウォークを利用する……71
au Wi-Fi接続ツールを利用する……71
セルフチェックを利用する……71
安心アクセスを利用する……71
auスマートパスを利用する……72

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービスおよび、災害情報を利用できるアプリです。

1 待受画面で●→[サービス]→[au災害対策]
au災害対策メニューが表示されます。
利用規約画面や初期設定画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

■ 災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能になるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他通信事業者の携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 au災害対策メニュー→[災害用伝言板]
画面に従って、登録／確認を行ってください。

◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（@ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、Eメールアドレスを設定しておいてください。Eメールアドレスの設定について、詳しくは「Eメールアドレスを変更する」（▶P.52）をご参照ください。
◎ 無線LAN（Wi-Fi®）接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。
◎ 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了解のうえご利用ください。

■ 緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

- お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害・避難情報）の受信設定は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。
緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。
津波警報を受信した時は、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー→[緊急速報メール]
受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

削除	受信したメールを削除します。
設定	**緊急地震速報** ・受信設定 緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 ・音量 受信音の音量を設定します。 ・マナー時の鳴動 マナーモード設定中に受信したとき、鳴動するかどうかを設定します。 ・バイブ 受信時にバイブレータを振動させるかどうかを設定します。 **災害・避難情報** ・受信設定 災害・避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。 ・音量 受信音の音量を設定します。 ・マナー時の鳴動 マナーモード設定中に受信したとき、鳴動するかどうかを設定します。 ・バイブ 受信時にバイブレータを振動させるかどうかを設定します。

◎ 日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。
◎ 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
◎ 電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。
◎ Eメール／SMS送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
◎ 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
◎ 緊急速報メール受信時は、専用の警報音とバイブレータの振動で通知します。警報音は変更できません。
※緊急地震速報の場合は、警報音と音声（「地震です」）、バイブレータの振動で通知します。
◎ お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。
◎ 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎ 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/

緊急地震速報について
◎ 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。
◎ 地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
◎ 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎ テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。

津波警報について
◎ 津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報・津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。

災害・避難情報について
◎ 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。

■ 災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時に携帯電話で音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニュー→[災害用音声お届けサービス]
画面に従って操作してください。

■ 音声を送る（送信）
「声をお届け」を選択し、「あて先入力」※→「声を録音」の順で操作してください。
※お届け先は、電話帳からも選択可能です。

■ 音声を受け取る（受信）
音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信（ダウンロード）し、再生することで、聞くことができます。

- 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応したau災害対策アプリを立ち上げていない携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

◎ Wi-Fi®でのご利用には4G（LTE）／3Gネットワークにて初期設定が必要になります。
◎ 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
◎ au電話間、および他社携帯電話・PHSと相互にやりとり可能です。
◎ メディアの音量を小さくしている場合、音声を聞き取れない場合があります。
◎ 本体メモリに空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
◎ 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

■ 災害情報を利用する

自治体が配信した災害・避難情報の履歴や、災害ポータルなどを確認できます。

1 au災害対策メニュー→[災害情報]
確認したい項目を選択してください。

メーカーサービスを利用する

コンテンツのダウンロードや閲覧などのさまざまなサービスを利用できます。

1 待受画面で●→[サービス]→[メーカーサービス（SHSHOW）]
初回起動時には利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 サービスを選択→●

auナビウォークを利用する

鉄道やバス、飛行機、フェリー、車などさまざまな交通手段と徒歩を組み合わせて最適なルートをご案内します。
徒歩ルートのときは音声とバイブでわかりやすくナビゲートするので、初めて訪れる場所でも安心です。

1 待受画面で●→[サービス]→[auナビウォーク]

2 画面に従って操作

au Wi-Fi接続ツールを利用する

ご自宅にてHOME SPOT CUBEなどの無線LAN(Wi-Fi®)親機と簡単に接続できます。外出先ではau Wi-Fiのご利用可能なスポットですぐにWi-Fi®が使えるようになります。

- 利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面で▭(サブメニュー)→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 待受画面で●→[ツール]→[au Wi-Fi接続ツール]
au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。
初回起動時には許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 画面に従って操作

セルフチェックを利用する

本製品の設定や状態を診断し、問題が見つかった場合は状況や解決方法を確認できます。

1 待受画面で●→[設定]→[その他]→[セルフチェック]
トップメニュー画面が表示されます。

2 ▭(診断開始)→診断対象を選択→▭(次へ)→●(次へ)→●(診断)
診断対象ごとに説明画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

安心アクセスを利用する

お子様に携帯電話を安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリケーションです。
お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」の3段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、保護者が特定のウェブページやアプリケーションを個別に制限／許可してカスタマイズすることも可能です。

- ご利用にはau IDが必要です。au IDの設定方法については、『設定ガイド』をご参照ください。

1 待受画面で●→[サービス]→[安心アクセス]
初めて起動したときは、許可画面が表示されます。利用規約の内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

- 安心アクセスを起動するとタッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.26)をご参照ください。

2 [au IDでログイン]→[ログイン]→画面に従って操作

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力
仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト／アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト／アプリは利用可能です。
高校生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト／アプリは利用可能です。

※一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

5 [サービスを利用開始する]→[OK]
利用規約を必ずご確認ください。デバイス管理者を有効にする画面が表示されます。

6 [有効にする]
ウェブページが表示されます。

■管理者情報を登録する

1 待受画面で●→[サービス]→[安心アクセス]

2 ▭(サブメニュー)→[管理者登録]
管理者登録の設定画面が表示されます。

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→●(完了)→管理者ID(確認)を入力→●(完了)→[管理者ID確認へ進む]
管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]
管理者IDとして登録したメールアドレスに、
「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→●(完了)→[管理者登録を行う]→[OK]

◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

■ 管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

- 本製品から接続することはできません。管理者ページのURLの共有のみ行えます。

1 待受画面で◉→[サービス]→[安心アクセス]

2 ▭(サブメニュー)→[設定]→[管理者ページについて]

3 [URLを共有]

メールや赤外線送信などで管理者ページのURLを共有できます。

◎ 詳しくはauホームページをご参照ください。
http://www.au.kddi.com/mobile/service/4glte-featurephone/safety/anshin-access/

auスマートパスを利用する

auスマートパスは、月額372円(税抜)で、アプリ取り放題、会員特典としてのお得なクーポンやプレゼントなど、携帯電話を安心・快適にご利用いただけるサービスです。

- ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引へのご加入をおすすめします。
- 一部アプリは、別途有料となる場合があります。
- ご利用にはau IDが必要です。au IDの設定方法については、『設定ガイド』をご参照ください。

1 待受画面で◉→[auスマートパス]

auスマートパスTOPページが表示されます。

- 天気・占いの設定は「設定」から行ってください。
- 対応するサービスの一覧はメニューリストからご覧いただけます。
- auスマートパスを起動するとタッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.26)をご参照ください。

2

アプリ	人気のゲームや役立つアプリがダウンロード可能！
会員特典	いろんなお店で使える会員限定のクーポンなど特典がいっぱい！
あんしん	あなたの携帯電話をしっかり守ります！

◎ サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
◎ アプリケーションなどにより、お客様が操作していない場合でも、自動的にパケット通信が行われる場合があります。
◎ ご利用になれるコンテンツは、機種によって異なる場合があります。
◎ 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

ツール

モバイルライトを利用する……74
スクリーンショットを撮影する……74
電池の消耗を抑える……74
メモ帳を利用する……75
カレンダーを利用する……75
アラームを利用する……76
世界時計を利用する……76
ストップウォッチを利用する……76
タイマーを利用する……76
電卓で計算する……76
PASSNOWを利用する……77
LINEを利用する……78
LISMOを利用する……78

モバイルライトを利用する

1 本製品を閉じているときに[*](長押し)

モバイルライトが点灯します。
再度[*]を長押ししたり、本製品を開くと消灯します。

◎ モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。また、モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にモバイルライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。

スクリーンショットを撮影する

1 [電源]と[音量(下)]を同時に長押し

表示している画面のスクリーンショットを撮影します。
- 撮影したスクリーンショットはデータフォルダの「ピクチャー」から確認できます。

◎ アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合があります。
◎ カメラを起動しているときにスクリーンショットを撮影すると、撮影時に効果音が鳴ります。

電池の消耗を抑える

省エネモード設定を利用する

省エネモードをONに設定することで電池の消耗を抑えることができます。

1 待受画面で●→[設定]→[省エネ・電池]→[省エネモード設定]

2

省エネモード	省エネモードのON／OFFを切り替えます。
電池残量で切替	▶P.74「指定した電池残量で省エネモードのON／OFFを切り替える」
時刻で切替	▶P.74「指定した時刻に省エネモードのON／OFFを切り替える」

◎ アプリケーションによっては、省エネモードをONに設定することで正しく動作しない場合があります。
◎ 定期的に通信をするアプリケーションの中には、省エネモードをONからOFFに設定しても通信を開始しないものがあります。この場合は本製品を再起動してください。

■ 指定した電池残量で省エネモードのON／OFFを切り替える

指定した電池残量になると自動的に省エネモードのON／OFFを切り替えることができます。

1 省エネモード画面→[電池残量で切替]

2 電池残量を選択→●(決定)

■ 指定した時刻に省エネモードのON／OFFを切り替える

指定した時刻に自動的に省エネモードのON／OFFを切り替えることができます。

1 省エネモード画面→[時刻で切替]

2 切替時刻を選択→[*](詳細設定)

3

切替時刻	省エネモードのON／OFFを切り替える時刻を設定します。
省エネモード切替	「切替時刻」で指定した時刻になったときに、省エネモードをONにするかどうかを設定します。

4 [クリア]

5 ●(チェック／解除)を押して有効(☑)／無効(☐)を切り替える

◎ 切替時刻に電源が入っていない場合、モードは切り替わりません。
◎ 「電池残量で切替」の設定に従って省エネモードがONに設定された場合、指定した電池残量に回復するまでの間は、切替時刻になっても省エネモードのON／OFFは切り替わりません。

省エネモードの詳細設定をする

1 待受画面で●→[設定]→[省エネ・電池]→[省エネモード設定]→[*](詳細設定)

2 各項目を設定

■ 設定項目と初期設定一覧

- ON:省エネモードがONに切り替わったときに機能を有効にします。
- OFF:省エネモードがONに切り替わったときに機能を無効にします。

項目	概要	初期設定
画面の明るさ	画面の明るさについて設定します。	4段階目／5段階中
サブディスプレイ	サブディスプレイを設定します。	OFF
アニメーション	画面が切り替わるときのアニメーション表示を設定します。	なし
バックライト点灯	バックライトの点灯時間を設定します。	15秒
キーバックライト	キーバックライトを点灯させるかどうか設定します。	OFF
光を点滅させて通知	新着通知受信時、画面消灯中に充電／着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。	OFF
効果音	電話番号やプッシュ信号入力時、メニューやアイコン選択時、画面のロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。	OFF
GPS	位置情報を自動的に取得させるかどうかを設定します。	OFF
省エネ液晶ドライブ	画面表示のなめらかさを設定します。	OFF
音声認識	音声入力によるアプリケーション操作をします。	OFF

メモ帳を利用する

メモ帳を登録する

1 待受画面で●→[ツール]→[メモ帳]
2 ▣(新規作成)→内容を入力→●(完了)

メモ帳を確認する

1 待受画面で●→[ツール]→[メモ帳]
2 メモを選択→●→内容を確認

■メモを編集する

1 メモ帳表示画面で▣(編集)
2 内容を編集→●(完了)

■メモを削除する

1 メモ帳一覧画面／メモ帳表示画面で▣(サブメニュー)→[1件削除]→[はい]

■メモを選んで削除する

1 メモ帳一覧画面で▣(サブメニュー)→[選択削除]
2 メモを選択→▣(削除)→[はい]

■メモを送信する

1 メモ帳一覧画面／メモ帳表示画面で▣(サブメニュー)→[1件送信]
2 送信方法を選択→●→[はい]
対応したアプリケーションが起動します。

■メモを選んで送信する

1 メモ帳一覧画面で▣(サブメニュー)→[選択送信]
2 送信方法を選択→●→メモを選択→▣(送信)→[はい]
対応したアプリケーションが起動します。

■メモを検索する

1 メモ帳一覧画面で▣(サブメニュー)→[メモ検索]
2 ●(編集)→キーワードを入力→●(完了)→▣(検索)→メモを選択→●

■メモを利用する

1 メモ帳表示画面で▣(サブメニュー)→[メール本文へ挿入]／[.txtに変換]
・変換したテキストファイルは、データフォルダの「書類」から確認できます。

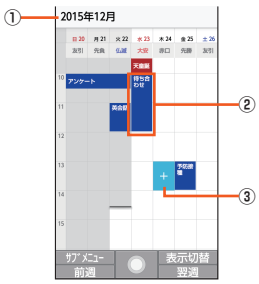
カレンダーを利用する

カレンダーを表示する

カレンダーを1週間／1ヶ月単位で表示できます。

1 待受画面で●→[ツール]→[カレンダー]
カレンダー画面が表示されます。
画面の最下行に表示された内容に対応するキーを押すと、カレンダーの表示を切り替えることができます。
例:月表示の場合
▣(表示切替):週表示／月表示を切り替え
✉(前月):前月を表示
@(翌月):翌月を表示
2 予定のある日付／時刻を選択→●
当日の予定リストが表示されます。
3 予定を選択→●
予定の詳細が表示されます。

■カレンダー画面の見かた



《カレンダー画面(週表示)》

① 月日表示
② 予定
予定がある場合に表示されます。
登録した予定の期間などによって表示は異なります。
③ 選択されている日時

◎ 月表示の場合、今日の日付が黄色で表示されます。

予定を新規登録する

1 待受画面で●→[ツール]→[カレンダー]
2 ▣(サブメニュー)→[予定を作成]
予定の無い日を選択して●を押しても予定を作成できます。
3 必要な項目を設定
4 ▣(登録)

◎ 予定作成画面で▣(サブメニュー)を選択すると、予定のカラーを設定したり、通知の追加／削除ができます。

カレンダー画面のサブメニューを利用する

1 待受画面で●→[ツール]→[カレンダー]→▣(サブメニュー)
2

予定を作成	▶P.75「予定を新規登録する」
当日予定リスト	選択している日付の当日予定リストを表示します。
今日へ移動	今日の日付のカレンダーを表示します。
設定	カレンダーの設定を行います。
検索	予定を検索します。
休日設定	指定した日付や特定の曜日を休日に設定できます。

アラームを利用する

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 待受画面で●→[ツール]→[アラーム]
アラーム一覧画面が表示されます。

2 登録先を選択→(編集)
・登録先を追加するときは＋を選択して●を押してください。

3 時刻を設定→(確定)

4 各項目を設定する

名称	名称を変更します。
繰り返し	繰り返しアラームが鳴動するように設定します。
アラーム音	アラーム音を変更します。
バイブレータ設定	バイブレータを利用するかどうかを設定します。
スヌーズ設定	スヌーズを利用するかどうかを設定します。
スヌーズ／詳細設定	スヌーズの間隔や回数、鳴動時間を設定します。

◎ アラームを解除するときは、アラーム一覧画面で解除したい登録先を選択して●を押します(「ON」→「OFF」に表示が切り替わります)。
◎ アラーム設定時刻に電源が入っていないときは、アラームは動作しません。
◎ 通話中は、アラーム設定時刻になってもアラームが動作しません。通話を終了すると、アラームが動作します。

アラームを設定した時刻になると

◎ アラーム音やバイブレータでお知らせします。
・アラームを解除するには何かキーを押します。
◎ スヌーズが設定されているときは●(停止)を押すとスヌーズを停止します。
それ以外のキーを押すとアラームは停止しますが、スヌーズは解除されません。

■ マナーモード中の鳴動を設定する

1 アラーム一覧画面で(サブメニュー)→[設定]→[マナーモード時設定]

2 設定を選択→●

■ アラーム音量を設定する

1 アラーム一覧画面で(サブメニュー)→[設定]→[アラーム音量]

2 音量を調節→●

■ 登録先を削除する

1 アラーム一覧画面で削除したいアラームを選択→(サブメニュー)

2 [1件削除]→[はい]

■ 登録内容を初期化する

1 アラーム一覧画面で初期化したいアラームを選択→(サブメニュー)

2 [リセット]→[はい]

世界時計を利用する

世界各地の時刻を10都市まで表示できます。

1 待受画面で●→[ツール]→[世界時計]

2 [+]

3 都市を選択→●

■ サマータイムを設定する

1 世界時計画面でサマータイムの設定をしたい都市を選択→(サブメニュー)→[サマータイム切り替え]
サマータイムを設定した都市は☼が表示されます。

■ 都市を選んで削除する

1 世界時計画面→(サブメニュー)→[選択削除]

2 都市を選択→(削除)→[はい]

■ 都市の表示順を並べ替える

1 世界時計画面→(サブメニュー)→[並べ替え]

2 並べ替える都市を選択→●→↕で変更する位置まで移動→●→(決定)

ストップウォッチを利用する

ストップウォッチを利用して、経過時間(ラップタイム)／合計経過時間(スプリットタイム)を計測できます。

1 待受画面で●→[ツール]→[ストップウォッチ]

2 ●(スタート)
(ラップ)を押すとラップタイム／スプリットタイムを計測します。

3 ●(ストップ)
計測終了後に(リセット)を押すと、計測結果をリセットできます。

◎ ラップタイム、スプリットタイムの履歴を99件まで記憶できます。99件を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。

タイマーを利用する

設定した時間が経過したときに、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 待受画面で●→[ツール]→[タイマー]

2 時間を入力→●(スタート)
カウントダウンを開始します。
・●(ストップ):カウントダウンを一時停止します。
・(リセット):カウントダウンをリセットします。
・タイマーを設定した時間になるとアラーム音やバイブレータが鳴動します。
停止するには画面に従って操作してください。

■ アラーム音を変更する

1 タイマー画面で(設定)→[アラーム音]

2 アラーム音を選択

■ バイブレータを設定する

1 タイマー画面で(設定)→[バイブレータ設定]
「バイブレータ設定」を選択して●を押すごとにON／OFFが切り替わります。

■ タイマーの名称を変更する

1 タイマー画面で(設定)→[名称]

2 名称を入力→●(完了)

電卓で計算する

1 待受画面で●→[ツール]→[電卓]

2 割り当てられたキーを押して計算する
計算結果画面が表示されます。

■ 計算結果をコピーする

1 計算結果画面で(サブメニュー)→[コピー]

◎ 電卓がバックグランドで動作しているとき、計算結果や履歴情報が削除されることがあります。

PASSNOWを利用する

PASSNOWについて

タブレットとペア設定することで、本製品で撮影した写真や動画をタブレットの大画面で見たり、タブレットに取り込むことができます。また、本製品に届いた通知や着信をタブレットにお知らせすることができます。
また、タブレットからの操作で本製品のWi-Fi®テザリング機能を有効にして、タブレットをインターネットに接続できます。
本機能では、Bluetooth®、Wi-Fi®、Wi-Fi Direct®を利用してタブレットと連携します。

◎ PASSNOW以外でBluetooth®接続を行っている場合は、PASSNOWの連携機能を利用できないことがあります。
◎ 対応機種についてはauホームページをご参照ください。
◎ PASSNOWの連携機能がうまく動作しない場合は、お互いの端末のWi-Fi®機能とBluetooth®機能を一度無効にして、その後Bluetooth®機能を有効にしてください。

ペアを設定する

ペア設定したいタブレット端末に、あらかじめPASSNOWをインストールしてください。また、本製品と相手側の端末のいずれもBluetooth®機能を有効にしておいてください。

1 待受画面で●→[ツール]→[PASSNOW]→📷(次へ)
カメラが起動します。

2 相手側の端末でPASSNOWを起動
ディスプレイにQRコードが表示されます。

3 相手側の端末に表示されたQRコードに本製品のカメラをかざす
メインディスプレイに表示された枠にQRコードを合わせると、自動的に情報を読み取ります。

4 画面に従って両方の端末を操作し、お互いの端末をペアに設定
リクエスト画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

◎ ペア設定後、待受画面で●→[ツール]→[PASSNOW]と操作すると、ペア設定している端末名が表示されます。[ペア解除]→[はい]と操作すると、ペア設定を解除できます。

データフォルダから静止画データを送信する

1 待受画面で●→[データフォルダ]

2 [フォト]／[ピクチャー]

3 静止画を選択→📷(サブメニュー)→[送信]→[PASSNOW]

◎ 静止画一覧画面でデータを選択して送信することもできます。
◎ 静止画表示／選択中に[✕]を押して送信することもできます。

ペア設定した端末から受信した電話番号に発信する

ペア設定している相手側の端末が音声電話に対応していない場合のみ、電話番号を本製品に送信できます。例えば、タブレットでレストランのサイトを閲覧しているときに、そのお店に電話で予約をしたい場合、タブレットに表示された電話番号にタップすることで、本製品で番号入力をすることなく電話をかけることができます。
• 電話番号を送受信するには、あらかじめBluetooth®機能を有効にする必要があります。

1 ペア設定した端末から電話番号を送信

2 本製品のメインディスプレイに電話番号が表示されたら[↗]
ペア設定した端末から受信した電話番号に発信します。

◎ ご利用になるタブレット端末／ブラウザアプリ／サイトによっては、電話番号のリンクが設定されていないことがあります。

ペア設定した端末で着信・通知を表示する

本製品に着信やメール受信の通知などがあったときに、ペア設定している相手側の端末でも着信・通知を表示できます。

1 待受画面で●→[ツール]→[PASSNOW]

2 [通知連携]→[OK]→[通知連携(PASSNOW)]

3 [通知連携(PASSNOW)]→[はい]
通知連携がONに切り替わります。
本製品に着信やメール受信の通知があると、自動的にペア設定した端末に通知されるようになります。
通知の連携を解除するには、再度「通知連携」→[OK]→[通知連携(PASSNOW)]→●→[はい]と操作します。

ペア設定した端末から本製品のWi-Fi®テザリング機能を有効にする

1 ペア設定した端末でPASSNOWを起動

2 テザリングのスイッチを「ON」にする
本製品のテザリングが有効になります。スイッチを「OFF」にすると、無効になります。

◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

ペア設定した端末から本製品の写真／動画を取り込む

1 ペア設定した端末でPASSNOWを起動→[コンテンツ選択]
本製品で撮影した写真／動画が一覧表示されます。写真／動画を選択後、[保存]を選択するとペア設定した端末にデータが保存されます。

◎ この機能は、本製品またはペア設定した端末がWi-Fiテザリング中の場合には利用できません。
◎ ご利用のタブレットのデバイス名もしくはWi-Fi Direct®のデバイス名に、長い日本語が設定されている場合は、この機能を利用できないことがあります。日本語を短くするか、半角英数字に変更してご利用ください。

LINEを利用する

LINEはいつでも、どこでも、通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。

- LINEを利用するには事前にアカウントの登録が必要となります。利用方法などの詳細については、LINEのサイトや、LINEの画面→[その他]→[設定]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 待受画面で◉→[LINE]

LINEのトップページが表示されます。
初回起動時には利用規約やログイン画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
LINEを起動すると、タッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.26)をご参照ください。

◎ ゲームなど一部の機能は本製品では利用できません。

LISMOを利用する

音楽を再生したり、最新の音楽情報を調べたりできます。また、楽曲の試聴・購入も可能なアプリです。

- 利用方法などの詳細については、LISMOの画面で[ライブラリ]→[設定]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 待受画面で◉→[サービス]→[LISMO]

LISMOのトップページが表示されます。
初回起動時には利用規約の画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 [ライブラリ]→[全曲一覧]／[アーティスト一覧]／[アルバム一覧]／[プレイリスト一覧]→楽曲を選択→◉

◎ 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

端末設定

設定メニューを表示する……80
壁紙・ディスプレイの設定をする……80
サウンド・ランプの設定をする……80
au IDの設定をする……80
ロック・セキュリティの設定をする……81
通信・ネットワークの設定をする……81
データ引継とリセットの設定をする……82
その他の設定をする……82

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。

1 待受画面で●→[設定]

項目	概要	参照先
壁紙・ディスプレイ	壁紙や画面の明るさの設定、文字フォントの切替などを行います。	P.80
サウンド・ランプ	マナーモードの設定や着信時の音量や音などを変更できます。	P.80
au ID 設定	au IDを設定します。	P.80
ロック・セキュリティ	端末のロックやセキュリティ、シークレットモードについて設定します。	P.81
省エネ・電池	省エネモード設定や電池利用状況の確認ができます。 ・省エネモード設定について詳しくは、「省エネモード設定を利用する」(▶P.74)をご参照ください。	−
Wi-Fi	Wi-Fi®について設定します。	P.90
Bluetooth	Bluetooth®について設定します。	P.93
通信・ネットワーク	機内モード、テザリング、およびVPNなどネットワークについて設定します。	P.81
データ引継・リセット	データの引継や初期化を行います。	P.82
その他	日付と時刻、言語選択、およびスクリーンセーバーなどを設定します。	P.82

壁紙・ディスプレイの設定をする

1 待受画面で●→[設定]→[壁紙・ディスプレイ]

2

待受画面・壁紙	待受画面の壁紙などを変更します。
画面の明るさ	バーを動かして、明るさを手動で調整します。
バックライト点灯時間	本製品を操作しないときに画面が自動消灯するまでの時間を設定します。
文字フォント設定	**文字サイズ** 文字サイズを設定します。 **文字フォント切替** 画面に表示される文字フォントを設定します。
のぞき見防止	**のぞき見防止** のぞき見ブロックを利用して周囲から画面をのぞかれにくくするかどうかを設定します。 **表示パターン** のぞき見ブロックのパターンを設定します。 **見栄え補正** のぞき見ブロックの正面からの見栄えを設定します。
サブディスプレイ	**表示時間設定** サブディスプレイの表示時間を設定します。 **着信相手表示** 着信相手を表示するかどうかを設定します。 **クローズ時点灯設定** 本製品を閉じるときにサブディスプレイを点灯させるかどうかを設定します。

のぞき見防止について

◎ 音量(長押し)の操作でのぞき見防止機能のON／OFFを切り替えることもできます。

サウンド・ランプの設定をする

1 待受画面で●→[設定]→[サウンド・ランプ]

2

マナーモード設定	▶P.80「マナーモードを設定する」
音量	着信音やアラーム音、音楽、動画再生時などの音量を設定します。
着信音・お知らせ音	**電話着信** 着信音、バイブパターン、または点滅カラーなどを設定します。 **メール** EメールやSMSの着信音、バイブパターン、または着信ランプの点滅カラーなどを設定します。 **お知らせ** お知らせ音または鳴動時間などを設定します。 **アラーム** アラーム音量やマナーモード時にアラームを鳴らすかどうかなどを設定します。 **タイマー** アラーム音またはバイブレータのON／OFFを設定します。 **LISMO Store** LISMO Storeを起動します。 **待ちうた** ブラウザを起動して待ちうたのサイトを表示します。
キー操作音	メニューやアイコン選択時の操作音を有効にするかどうかを設定します。
キーバックライト	キーバックライトを点灯するかどうかを設定します。
画面ロックの音	画面のロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
充電開始音	充電開始音を有効にするかどうか設定します。

マナーモードを設定する

公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定します。

- マナーモードを設定すると、着信音／受信音／操作音は鳴動しません。また、「ドライブマナー」「サイレントマナー」に設定すると、着信／受信時のバイブレータも振動しません。
- 「ドライブマナー」に設定すると、伝言メモの応答メッセージが「ドライブ」、応答時間が「3秒」、伝言メモが「ON」に固定されます。

1 待受画面で●→[設定]→[サウンド・ランプ]→[マナーモード設定]

2 モードを選択→●

◎ 運転中はマナーモードを「ドライブマナー」に設定してください。

◎ 次の操作でもマナーモードを設定／解除できます。

- 端末を折りたたんでいるときに[シャッター/マナー](長押し)
- 待受画面で[シャッター/マナー]→設定するマナーモードを選択→●
- 待受画面で[シャッター/マナー](長押し)
- 待受画面で[カメラ](長押し)→「🚗」(ドライブマナー)／「🔇」(サイレントマナー)／「🔔」(通常マナー)／「🔊」(マナーモードOFF)を選択→●

◎ マナーモード中でもカメラのシャッター音や撮影開始／終了音は鳴動します。

au IDの設定をする

1 待受画面で●→[設定]→[au ID 設定]

以降の操作は画面の指示に従って操作してください。

- 「au ID 設定」の詳しい手順については『設定ガイド』をご参照ください。

ロック・セキュリティの設定をする

1 待受画面で◉→[設定]→[ロック・セキュリティ]

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

画面のロック	ロック画面の解除方法を設定します。
セキュリティキー設定	セキュリティキー(暗証番号やパスワード)の変更ができます。
アプリケーションロック	**音声発信制限** 電話の発信を制限するかどうかを設定します。 ・音声発信制限中でも、緊急通報番号や157(お客さまセンター)への発信は可能です。緊急通報番号へはローミング中でも発信が可能です。
電話帳アクセスモニター	アプリが電話帳データにアクセスするときに許可／禁止を確認する通知を表示するように設定します。
シークレット設定	▶P.81「シークレット設定をする」
UIMカードロック設定	**UIMカードをロック** 起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 **UIM PINの変更** PINコードを変更します。 ・UIM PINを変更する場合は、「UIMカードをロック」を有効に設定してください。 ・画面に従って設定されているPINコードを解除し、新しいPINコードを登録します。
遠隔操作	**有効番号リスト** 本製品の遠隔操作を有効とする電話番号を設定します。 **指定時間** 遠隔操作が有効となる時間を設定します。 **着信回数** 遠隔操作を有効にするときの着信回数を設定します。 **遠隔操作の設定** 遠隔操作時の本製品の動作を設定します。
提供元不明のアプリ	提供元が不明のアプリのインストールを許可するかどうかを設定します。

画面のロックについて

◎ ロックを解除していない状態でも「緊急通報」を選択して110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)への電話はかけられます。

セキュリティキー設定、アプリケーションロック、シークレット設定、遠隔操作について

◎「セキュリティキー設定」、「アプリケーションロック」、「シークレット設定」、「遠隔操作」を利用するにはセキュリティキーを入力する必要があります(お買い上げ時はセキュリティキー(暗証番号)「1234」)。

◎「音声発信制限」で各機能の利用制限中は、セキュリティキーを入力することで、一時的に操作を行うことができます。

シークレット設定をする

1 待受画面で◉→[設定]→[ロック・セキュリティ]→[シークレット設定]→ロックを解除

シークレットモードが一時解除されます。
シークレットモードについての注意画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2

連絡先シークレット設定	連絡先シークレットについて設定します。
メールシークレット設定	フォルダシークレットと送受信履歴表示について説明と設定をします。
一時解除の設定	**セキュリティキー変更** シークレットモードを一時解除するときに用いるセキュリティキーを変更します。
使い方ガイド	**一時解除の仕方** シークレットモードを一時解除する方法を表示します。 **連絡先シークレット機能** シークレット設定をした連絡先データや、バックアップなどの動作について表示します。 **メールのシークレット機能** フォルダシークレットと送受信履歴表示の説明について表示します。

◎ シークレット一時解除後に画面を消灯すると、シークレットモードに戻ります。

通信・ネットワークの設定をする

1 待受画面で◉→[設定]→[通信・ネットワーク]

2

機内モード	▶P.81「機内モードを設定する」
データ通信設定	**データ使用量** データ通信の使用量を確認したり、警告を表示したりできます。 **データ通信制限** データ通信を使用するアプリを制限できます。
ネットワーク設定	**テザリング** USBテザリング、Wi-Fi®テザリング、Bluetooth®テザリングについて設定します。 ・テザリングについて詳しくは、「テザリング機能」(▶P.91)をご参照ください。 **VPN設定** VPNの設定や管理を行います。 ・VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。 ・VPNを利用するには、「画面のロック」を設定する必要があります。画面の指示に従って操作してください。 ・VPNを追加する場合は、回(サブメニュー)→[VPNプロフィールの追加]→必要な項目を設定／入力→回(保存)と操作します。 ・VPNに接続する場合は、VPNを選択→◉→ユーザー名とパスワードを入力→回(接続)と操作します。 ・VPNを編集／削除する場合は、VPNを選択→回(サブメニュー)→[プロフィールを編集]／[プロフィールを削除]と操作します。 **モバイルネットワーク** データ通信やローミング、ネットワークモードなどの設定をします。 ・データ通信を無効にすると、一部の機能が利用できなくなります。 **デフォルトのSMS** SMSの送受信に使うアプリを設定します。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、パケット通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能など)がOFFになります。

1 待受画面で◉→[設定]→[通信・ネットワーク]→[機内モード]

◎ 航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

◎ 電(2秒以上長押し)→[機内モード]と操作しても機内モードを設定できます。

◎「機内モード」を有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157(お客さまセンター)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。

◎「機内モード」を有効に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN(Wi-Fi®)、Bluetooth®機能による通信なども利用できなくなります。
「機内モード」を有効に設定している場合に無線LAN(Wi-Fi®)、Bluetooth®を利用するときは、それぞれの設定をもう一度「ON」にする必要があります。

データ引継とリセットの設定をする

データのバックアップをする

電話帳／メール／辞書などのデータをmicroSDカードにバックアップできます。

1 待受画面で◉→[設定]→[データ引継・リセット]→[データ引継]

・詳しくは、「データを引き継ぐ」(▶P.24)をご参照ください。

本製品を初期化する

本体メモリをお買い上げ時の状態に戻します(リセット)。この操作を行うと、ご購入後に本体メモリにお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。

1 待受画面で◉→[設定]→[データ引継・リセット]→[オールリセット]

2 [携帯端末をリセット]

「microSD内データも消去する」を選択して◉と操作するとmicroSDメモリカード内のデータも消去できます。

3 ロックを解除→[すべて消去]

◎ オールリセットを実行する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
◎ 著作権保護されたデータによってはオールリセットを実行すると、利用できなくなる場合があります。
◎ 「UIMカードロック設定」は、オールリセットを実行してもリセットされません。
◎ オールリセットを実行すると一部のコンテンツが削除されます。コンテンツのダウンロードについては、次のサポートページをご参照ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/support/a/shf31/
◎ 電池残量が少ないときはオールリセットできません。

その他の設定をする

1 待受画面で◉→[設定]→[その他]

2

かんたん発信(音声認識)	**かんたん発信(音声認識)** かんたん発信のON／OFFを設定します。 **認識対象の登録(スピードダイヤル)** スピードダイヤルに登録されている連絡先がかんたん発信での音声認識の対象となります。スピードダイヤルの一覧を表示し、登録、削除などの操作ができます。 **使い方** かんたん発信の使い方を表示します。
アプリケーション	アプリケーションのアンインストールなどができます。 ・au Marketなどからインストールしたアプリケーションを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリケーションは削除されます。 ・アプリケーションによっては削除できないものもあります。
日付と時刻	▶P.82「日付と時刻の設定をする」
セルフチェック	▶P.71「セルフチェックを利用する」
ストレージ	microSDメモリカードや本体メモリの容量を確認したり、microSDメモリカード内のデータ消去などを行います。
言語(Language)を選択	▶P.82「使用する言語や文字入力の設定をする」
文字入力	文字入力に関する設定ができます。 ・通常は変更せずご使用ください。
端末情報	▶P.83「端末情報の設定をする」
端末の暗号化	端末のデータを暗号化します。 端末の暗号化を行うと、電源を入れるたびに「画面のロック」で設定した解除方法で解除します。 ・表示される説明をよくお読みになりご利用ください。
デバイス管理機能	デバイス管理機能の有効／無効を切り替えます。
認証情報ストレージ	ストレージの方式を表示したり、CA証明書を認証情報ストレージにインストールしたり、認証情報ストレージの内容を削除したりします。
位置情報	▶P.83「位置情報の設定をする」
スクリーンセーバー	充電中に自動で画面が消灯したとき、スクリーンセーバーを起動するかどうかを設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助に関する設定を行います。通常ご使用いただく場合は変更の必要はありません。
アカウント	利用するアカウントを追加します。設定しているアカウントの種類が「アカウントの追加」の上に表示されます。

日付と時刻の設定をする

1 待受画面で◉→[設定]→[その他]→[日付と時刻]

2

日時の自動設定	ネットワークから提供される日付・時刻情報をもとに自動で補正するかどうかを設定します。
タイムゾーンの自動設定	ネットワークから提供されるタイムゾーンを使用するかどうかを設定します。
日付設定	日付を設定します。
時刻設定	時刻を設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを設定します。
24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。
日付形式の選択	日付の表示形式を設定します。

使用する言語や文字入力の設定をする

■使用する言語を設定する

1 待受画面で◉→[設定]→[その他]→[言語(Language)を選択]

2 [日本語]または[English]

端末情報を確認する

1 待受画面で◉→[設定]→[その他]→[端末情報]

2 ※下記以外にビルド番号やモデル番号、ソフトウェアのバージョンなどが確認できます。

端末の状態	電池パックの状態や電池残量、電話番号などを確認できます。
センサー感度補正	モーションセンサー、地磁気センサーの補正をします。
ソフトウェア更新	▶P.110「ソフトウェアを更新する」
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。

位置情報の設定をする

■ アプリケーションの位置情報リクエストを許可する

1 待受画面で◉→[設定]→[その他]→[位置情報]

2 [位置情報]

データ収集についての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

・「位置情報」を選択して◉を押すごとにON／OFFが切り替わります。

◎ 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。「同意する」／「同意しない」の設定によって、設定されるモードが異なります。

■ 位置情報取得の精度を切り替える

1 待受画面で◉→[設定]→[その他]→[位置情報]

2 [モード]→[高精度]／[バッテリー節約]／[端末のみ]

GPS機能について

◎ 電池の消耗を抑える場合は、「モード」を「バッテリー節約」に設定してください。GPS機能が無効になります。

◎ 電波が良好な場所でご利用ください。

ファイル管理

本製品の保存領域について 86
ストレージに関する設定をする 86
パソコンと接続する 86

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモリカードにデータを保存できます。

本体メモリ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータなどのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。

◎ アプリケーションによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。
◎ 本体メモリやmicroSDメモリカード内のデータは、データフォルダを利用したり、「MTPモード」でパソコンと接続すると、確認や移動などを行うことができます。ただし、アプリケーションなど、一部のデータは確認や移動することはできません。

ストレージに関する設定をする

ストレージの設定をする

1 待受画面で◉→[設定]→[その他]→[ストレージ]

2 ※下記以外に本体メモリやmicroSDメモリカードの容量などが確認できます。

microSDのマウント解除／microSDをマウント	microSDメモリカードを本製品に認識させるかどうかを設定します。
microSD内データを消去	▶P.86「microSDメモリカードをフォーマットする」
情報更新	本体メモリやmicroSDメモリカードの容量などの情報を最新の状態に更新します。
USB接続	▶P.86「USB接続モードを設定する」

メモリ容量について
◎ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

microSDのマウント解除について
◎ データが壊れる（消去される）ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。

microSDメモリカードをフォーマットする

microSDメモリカードをフォーマットすると、microSDメモリカードに保存されているデータがすべて消去されます。

1 待受画面で◉→[設定]→[その他]→[ストレージ]→[microSD内データを消去]→[SDカード内データを消去]→ロックを解除→[すべて消去]

◎ フォーマットは、充電しながら行うか、電池残量が十分ある状態で行ってください。

パソコンと接続する

USB接続モードを設定する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続して、本製品をメモリカードリーダー／ライターとして使用したり、本製品とパソコン間の高速データ転送が利用できます。また、WMAデータなどの音楽／動画データの転送も可能です。
• パソコンとの接続方法について詳しくは、「パソコンを使って充電する」（▶P.23）をご参照ください。

1 待受画面で◉→[設定]→[その他]→[ストレージ]→[USB接続]

2

MTPモード	MTPに対応したパソコンのデータを本体メモリやmicroSDメモリカードに保存する場合に設定します。 • 詳しくは、「MTPモードでパソコンと接続する」（▶P.87）をご参照ください。
PTPモード	MTPに対応していないパソコンと接続する場合に設定します。 • 本体メモリに保存されている画像などを転送できます。
カードリーダーモード	本製品をカードリーダー／ライターとして使用する場合に設定します。 • 詳しくは、「メモリカードリーダー／ライターとして使う」（▶P.86）をご参照ください。

◎ Windows Vista／Windows 7／Windows 8以外のOSでの動作は、保証していません。
◎ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
◎ パソコンとデータの読み書きをしている間にmicroUSBケーブル01（別売）を取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。

メモリカードリーダー／ライターとして使う

本製品をメモリカードリーダー／ライターとして利用できます。
あらかじめパソコンと本製品を接続し、「USB接続」を「カードリーダーモード」に設定してください。

1 待受画面でステータスバーを選択→◉

2 [USB接続]→[USBストレージをONにする]
本製品に取り付けたmicroSDメモリカードが「リムーバブルディスク」として認識され、パソコンを操作することで、メモリカードリーダー／ライターとして利用できるようになります。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

3 パソコンを操作してデータを転送

4 転送終了後、パソコンを操作して本製品を停止

5 [USBストレージをOFFにする]

6 microUSBケーブル01（別売）を本製品から取り外す
microUSBケーブル01（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

◎ USBストレージをONにしている間は、アプリケーションからmicroSDメモリカードは使用できません。

MTPモードでパソコンと接続する

■ Windows Media Playerでデータを転送する

パソコンの音楽データ、動画データを本体メモリやmicroSDメモリカードに保存します。
あらかじめパソコンと本製品を接続し、「USB接続」を「MTPモード」に設定してください。

1 パソコンのWindows Media Playerを起動し、同期リストを表示

Windows Media Player 11／12をご使用ください。
Windows Media Playerで転送先を設定してください。本体メモリに転送する場合は、「内部ストレージ」に設定してください。

2 Windows Media Playerの同期リストに保存するデータを登録→[同期の開始]

登録したデータが転送されます。
転送が終了すると、Windows Media Player 11／12に本製品を切断できる旨が表示されます。

3 microUSBケーブル01（別売）を本製品から取り外す

microUSBケーブル01（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

◎ 著作権保護されたデータは、転送時に使用した端末以外では再生できない場合があります。
◎ データによっては著作権保護されているため再生できないものがあります。
◎ 著作権保護されていないデータでも、本製品以外で保存したデータは再生できない場合があります。
◎ 本製品以外でファイルを保存したmicroSDメモリカードを使用すると、MTPモードに設定してもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、microSDメモリカードを本製品でフォーマットすることをおすすめします。なお、microSDメモリカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されますのでご注意ください。

転送ファイルについて

◎ 拡張子を含め64文字目まで同じファイル名のデータを転送したときは、データが上書きされる場合があります。
◎ 著作権保護されたデータのライセンス情報は、microSDメモリカードに保存されます。ライセンス情報データの削除、オールリセットなどを行うと、転送したデータが再生できなくなる場合があります。

■ 本体メモリやmicroSDメモリカード内のデータをパソコンで操作する

あらかじめパソコンと本製品を接続し、「USB接続」を「MTPモード」に設定してください。

1 パソコンから「SHF31」を開く

本体メモリを操作する場合は、「内部ストレージ」を開いてください。

2 パソコンを操作してデータを転送

3 転送終了後、microUSBケーブル01（別売）を本製品から取り外す

microUSBケーブル01（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

データ通信

無線LAN(Wi-Fi®)機能 90
無線LAN(Wi-Fi®)機能について 90
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する 90
アクセスポイントを登録する 91
Wi-Fi Direct®を利用する 91
テザリング機能 91
テザリングについて 91
USBテザリング機能を利用する 91
Wi-Fi®テザリング機能を利用する 91
Bluetooth®テザリング機能を利用する 91
赤外線通信 92
赤外線の利用について 92
赤外線でデータを送受信する 92
Bluetooth®機能 93
Bluetooth®機能の利用について 93
Bluetooth®を利用する 93
Bluetooth®でデータを送受信する 94
おサイフケータイ®(FeliCa) 94
おサイフケータイ®(FeliCa)について 94
おサイフケータイ®(FeliCa)を利用する 95

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。
Wi-Fi®を利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。

◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント(無線LAN(Wi-Fi®)親機)をご用意ください。
◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする

1 待受画面で◉→[設定]→[Wi-Fi]
Wi-Fi®設定画面が表示されます。

2 [Wi-Fiの設定]
Wi-Fi®がONに切り替わります。

◎ 待受画面で6(長押し)の操作でWi-Fi®のON/OFFを切り替えることもできます。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 待受画面で◉→[設定]→[Wi-Fi]
Wi-Fi®が起動している場合、Wi-Fi®設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

2 アクセスポイントを選択→◉

3 パスワードを入力→[接続]
「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

◎ アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
◎ お使いの環境によっては、通信速度が低下する場合やご利用になれない場合があります。

アクセスポイントとの接続を切る

1 待受画面で◉→[設定]→[Wi-Fi]

2 接続中のアクセスポイントを選択→◉→[切断]

◎ アクセスポイントとの接続を切ると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®設定画面のサブメニューを利用する

1 待受画面で◉→[設定]→[Wi-Fi]

2 ▭(サブメニュー)

3

ネットワークを追加	手動でネットワークを追加します。
簡単設定	簡単設定でアクセスポイントに接続します。
スキャン	目的のアクセスポイントが表示されないときなどに、再検索できます。
Wi-Fi Direct	▶P.91「Wi-Fi Direct®を利用する」
詳細設定	※下記以外にMACアドレスやIPアドレスが確認できます。 **ネットワークの通知** Wi-Fi®のネットワークを検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。 **Wi-Fiのスリープ設定** 接続を一時停止するタイミングを設定します。 **スキャンを常に実行** Wi-Fi®機能がOFFの場合でも、Googleの位置情報サービスや他のアプリケーションからネットワークのスキャンを行うかどうかを設定します。 **Wi-Fi安定制御機能** 安定したインターネット接続が可能なときのみWi-Fi®を使用するかどうかを設定します。 **証明書のインストール** Wi-Fi®の認証時に必要な証明書をインストールします。

Wi-Fi安定制御機能について
◎ Wi-Fi安定制御機能が有効に設定されている場合、Wi-Fi®通信が不安定になったときは、Wi-Fi®通信のみに通信を制限する一部のアプリで一時的に4G(LTE)/3Gデータ通信を行うことがあります。

アクセスポイントを登録する

アクセスポイントを手動で登録する

1 待受画面で●→[設定]→[Wi-Fi]→▭(サブメニュー)→[ネットワークを追加]

2 ネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択→●

■ セキュリティを「なし」に設定した場合

3 [保存]

■ セキュリティを「WEP」「WPA／WPA2 PSK」に設定した場合

3 パスワードを入力→[保存]

「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

■ セキュリティを「802.1x EAP」に設定した場合

3 必要な項目を設定／入力→[保存]

◎「詳細オプションを表示」を有効にすると、「プロキシ」「IP設定」を手動で設定できます。
◎ 手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめアクセスポイント機器(無線LAN(Wi-Fi®)親機)のネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

アクセスポイントを自動で登録する

1 待受画面で●→[設定]→[Wi-Fi]→▭(サブメニュー)→[簡単設定]

2

WPSプッシュボタン	WPSプッシュボタン方式で設定します。 • アクセスポイントのWPSボタンを押してください。自動的にアクセスポイントを検出し登録が開始されます。
WPS PIN入力	WPS PIN方式で設定します。 • 画面に表示されるPINをアクセスポイントに入力してください。

◎ アクセスポイントを登録する場合は、アクセスポイント機器(無線LAN(Wi-Fi®)親機)側の取扱説明書や設定をご確認ください。

Wi-Fi Direct®を利用する

Wi-Fi Direct®を利用すると、アクセスポイントやインターネットを経由せずに、他のWi-Fi Direct®規格対応機器と、簡単にWi-Fi®接続できます。

1 待受画面で●→[設定]→[Wi-Fi]→▭(サブメニュー)→[Wi-Fi Direct]

検出したWi-Fi Direct®規格対応機器が表示されます。目的の機器が表示されないときは、▭(サブメニュー)→[デバイスの検索]で再検索をしてください。
また、▭(サブメニュー)→[デバイス名を変更]→●(編集)→デバイス名を入力→●(完了)→▣(確定)と操作すると、他のWi-Fi Direct®規格対応機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。

2 接続するWi-Fi Direct®規格対応機器を選択→●

3 画面に従って操作

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは、一般に携帯電話などのモバイル機器をモデムとして使い、4G(LTE)および3G回線などのパケット通信、無線LAN(Wi-Fi®)通信、Bluetooth®通信を通じて無線LAN(Wi-Fi®)対応機器、USB対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させることをいいます。

◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

USBテザリング機能を利用する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続し、本製品を介してパソコンをインターネットに接続できます。
• あらかじめパソコンと本製品を接続しておいてください。パソコンとの接続方法について詳しくは、「パソコンを使って充電する」(▶P.23)をご参照ください。

1 [((•))]→[USBテザリング]

テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ Windows Vista／Windows 7／Windows 8以外のOSでの動作は、保証していません。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

本製品をモバイルWi-Fi®ルーターとして利用できるよう設定します。

1 [((•))]→[Wi-Fiテザリング]

テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ Wi-Fi®テザリング機能利用中は、Wi-Fi®接続でインターネットに接続できません。
◎ Wi-Fi®テザリング機能利用中は、電池の消耗が激しくなります。充電しながらご利用になることをおすすめします。
◎ 待受画面で[((•))](長押し)と操作して、Wi-Fi®テザリングのON／OFFを切り替えることもできます。

■ Wi-Fi®テザリング機能の設定をする

無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

1 [((•))]→[Wi-Fiテザリングを設定]

2

ネットワークSSID	他の無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器から検索された場合に表示される名前(ネットワークSSID)を編集できます。
セキュリティ	セキュリティを設定します。
パスワード	セキュリティのパスワードを設定します。
接続待ち時間	接続待ち時間を設定します。

3 [保存]

◎ セキュリティを「なし」に設定した場合、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。
◎「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

Bluetooth®テザリング機能を利用する

本製品とパソコンなどをBluetooth®機能で接続し、本製品を介してインターネットに接続できます。

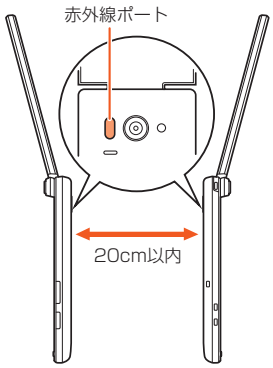
1 [((•))]→[Bluetoothテザリング]

テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

赤外線通信

赤外線の利用について

本製品と赤外線通信機能を持つ相手側の機器との間でデータを送受信できます。
本製品と相手側の機器を近づけ、双方の赤外線ポートが約20cm以内にまっすぐ向き合うようにしてください。



■ 赤外線通信のバージョンについて

赤外線通信機能は、IrMC™ 1.1規格に準拠しています。
ただし、相手側の機器がIrMC™ 1.1規格に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。

お知らせ

◎ 相手側の機器やデータによっては、利用できなかったり、正しく転送されなかったりすることがあります。
◎ 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷付かないように柔らかい布で拭き取ってください。
◎ 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
◎ データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
◎ 赤外線通信中に、ほかのアプリケーションが起動すると通信が終了します。

赤外線ポートには目を向けない

◎ 赤外線通信を行うときは、赤外線ポートに目を向けないでください。目に影響を与えることがあります。
◎ データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
◎ 著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
◎ データ送信時は、電話帳とプロフィールはvCard形式、メモ帳はvNote形式、ブックマークはvBookmark形式に変換されて送信されます。
◎ データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が86文字以上のデータは正しく保存できない場合があります。
◎ 電話帳登録時にアカウントを選択する画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
◎ 電話帳を全件受信して「削除して登録」を選択した場合、受信データの1件目がプロフィールに上書き登録されます(自局電話番号は除く)。
◎ 受信したデータの登録先は、次の通りです。
- vCard:プロフィール、電話帳
- vNote:メモ帳
- vBookmark:ブックマーク
- その他のデータ:データフォルダ

赤外線でデータを送受信する

データを1件受信する

1 **待受画面で●→[ツール]→[赤外線]**
2 **[1件受信]→[OK]**
3 **相手機器でデータ送信の操作を実行**
4 **本製品と相手機器の赤外線ポートを合わせる→[はい]／[OK]**
受信完了後は画面に従って操作してください。

データを一括して受信する

1 **待受画面で●→[ツール]→[赤外線]→[全件受信]**
2 **認証コードの入力→[確定]**
認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
3 **相手機器でデータ送信の操作を実行**
4 **本製品と相手機器の赤外線ポートを合わせる→[OK]**
5 **ロックを解除**
6 **[追加登録]／[削除して登録]→[はい]**
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

データを1件ずつ送信する

1 **待受画面で●→[ツール]→[赤外線]→[1件送信]**
2 **送信するデータを選択**
送信するデータによっては操作が異なります。
画面に従って操作してください。
3 **相手機器でデータ受信の操作を実行**
4 **本製品と相手機器の赤外線ポートを合わせる→[OK]→[はい]**

データを選んで送信する

例:メモ帳の場合

1 **待受画面で●→[ツール]→[メモ帳]**
2 **送信するメモを選択→●**
3 **[サブメニュー]→[1件送信]→[赤外線送信]→[はい]→[OK]**
4 **相手機器でデータ受信の操作を実行**
5 **[はい]→本製品と相手機器の赤外線ポートを合わせる**
6 **相手機器でデータ受信の操作を実行**

◎ 待受画面で9(長押し)の操作で赤外線受信アプリを起動することもできます。

データを一括して送信する

例:電話帳の場合

1 **待受画面で→[サブメニュー]→[送信]→[赤外線送信]→[全件送信]**
2 **[送信する(画像なし)]／[送信する(画像付き)]**
送信するデータに顔写真が登録されていない場合は「はい」を選択してください。
3 **ロックを解除→アカウントを選択**
4 **相手機器でデータ受信の操作を実行**
5 **本製品と相手機器の赤外線ポートを合わせる→[OK]→[はい]**
6 **認証コードの入力→[確定]**
認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能の利用について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。

◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
◎ microUSBケーブル01（別売）などが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

■ Bluetooth®機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

1. 本製品と他のBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■ 無線LAN（Wi-Fi®）との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）機能（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本製品のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

1. 本製品と無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器の電源を切ってください。

Bluetooth®を利用する

Bluetooth®を起動する

1 待受画面で●→[設定]→[Bluetooth]
Bluetooth®画面が表示されます。

2 [Bluetooth]
Bluetooth®がONに切り替わります。

◎ 待受画面で4（長押し）の操作でBluetooth®のON／OFFを切り替えることもできます。
◎ 本製品のBluetooth®機能を有効にすると、がステータスバーに表示されます。この表示を消したい場合は、ステータスパネルから項目を選択して「通知を表示」欄のチェックマークを外してください。

■ Bluetooth®画面のサブメニューを利用する

1 Bluetooth®画面で□（サブメニュー）

2

デバイスの検索	使用可能なデバイスを検索します。
端末の名前を変更	他のBluetooth®機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。
表示のタイムアウト	他のBluetooth®機器からの検索を受け付ける時間を設定します。 ・「タイムアウトしない」に設定すると有効の状態のままになります。
常にハンズフリー通話	常にハンズフリー機器で通話するかどうかを設定します。
受信済みファイルを表示	受信履歴画面を表示します。

Bluetooth®機器と接続する

本製品からBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®機器とペア設定を行います。Bluetooth®機器との接続を解除しても、ペア設定は解除されません。

1 待受画面で●→[設定]→[Bluetooth]→□（サブメニュー）→[デバイスの検索]
検出したBluetooth®機器一覧画面が表示されます。
Bluetooth®機器の種類に応じて、アイコンが表示されます。

2 接続するBluetooth®機器を選択→●

3 画面に従って操作し、Bluetooth®機器を認証
同じパスキーが表示されていることを確認する旨のメッセージが表示された場合、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることをご確認ください。
パスキー入力画面が表示された場合、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー（1～16桁の数字）を入力します。ペア設定が完了するとBluetooth®機器に接続されます。

◎ オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、通話中はオーディオ出力の音が自動的に流れなくなります。
◎ ペア設定をしたBluetooth®機器がHSP、HFP、A2DP、HID、HOGPのいずれのプロファイルにも対応していない場合、接続が行われません。
◎ Bluetooth®機器が検索拒否する設定になっている場合は検出されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。
◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
◎ 他のBluetooth®機器からの機器検索への応答を受け付けたい場合は、「端末の名前を変更」で設定した名前を選択してください。「表示のタイムアウト」で設定した時間が経過すると、自動的に応答を受け付けなくなります。

■ ペア設定したBluetooth®機器のメニューを利用する

1 Bluetooth®機器一覧画面→ペアリングされたデバイスを選択→○（詳細設定）

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

名前を変更	検出したBluetooth®機器の表示名を編集できます。
ペアを解除	Bluetooth®機器とペア設定を解除します。
電話の音声	通話をするときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
メディアの音声	音楽や動画を視聴するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
入力デバイス	HID機器を接続して入力するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
インターネットアクセス	ネットワーク機器と接続するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを受信する

本製品でデータを受信するには、Bluetooth®を起動後、相手側（送信側）のデータ送信を待ちます。Bluetooth®の起動方法について詳しくは、「Bluetooth®を起動する」（▶P.93）をご参照ください。

1. **送信側のBluetooth®機器からデータ送信**
2. **受信通知後、待受画面で↕→ステータスバーにカーソルを合わせる→●**
3. **ファイル着信の通知を選択→●**
4. **［承諾］**
5. **受信完了後、ステータスバーにカーソルを合わせる→●**
6. **受信したファイルの通知を選択→●**
7. **受信したデータを選択→●**
   再生／表示／登録するアプリケーションが複数存在する場合は、データを選択するとアプリケーションの選択画面が表示されます。画面に従って操作してください。

◎ 他のアプリがBluetooth®通信を行っていると、データ受信ができない場合があります。

Bluetooth®でデータを送信する

■ データを選んで送信する

例：電話帳（顔写真なし）を1件送信する場合

1. **待受画面で[メール]→連絡先を選択→●→[メール]（サブメニュー）→［送信］→［Bluetooth送信］**
2. **［はい］**
3. **送信先の機器を選択→●**

■ データを一括して送信する

例：電話帳（顔写真なし）を複数送信する場合

1. **待受画面で[メール]→[メール]（サブメニュー）→［送信］→［Bluetooth送信］**

■ 連絡先を選択して送信する場合

2. **［選択送信］→連絡先を選択→[カメラ]（送信）→［はい］**
3. **送信先の機器を選択→●**

■ 連絡先をすべて送信する場合

2. **［全件送信］→［はい］**
3. **ロックを解除→アカウントを選択**
4. **送信先の機器を選択→●**

おサイフケータイ®（FeliCa）

おサイフケータイ®（FeliCa）について

おサイフケータイ®（FeliCa）とは

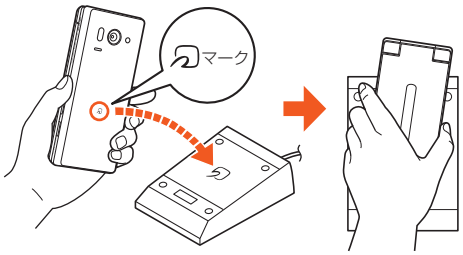
おサイフケータイ®とは、FeliCaと呼ばれる非接触ICカード技術を搭載した携帯電話でご利用いただけるサービスです。本製品をリーダー／ライター（店舗のレジなどにあるFeliCaチップ内のデータをやりとりする装置）にかざすだけで、電子マネー※でのショッピングなどにご利用いただけます。
おサイフケータイ®をご利用になるには、サービスによってはおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。
おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップへ、サービスのご利用に必要となるデータを書き込む場合があります。
なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ®対応サービス ご利用の注意」（▶P.113）を合わせてご参照ください。
※一部のおサイフケータイ対応サービスのみご利用いただけます。対応状況は各サービス提供事業者様にお問い合わせください。

おサイフケータイ®（FeliCa）ご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします。紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ®をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからFeliCaチップへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされていない場合があります。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 次の場合は、おサイフケータイ®の一部機能を利用できません。
  - 機内モード中
  - 充電中、またはmicroUSBケーブル01（別売）接続中、シャープmicroUSB-3.5φ変換ケーブル01（SHX11QVA）（別売）などのケーブル類を接続中で、一度も電波を受けていない場合

リーダー／ライターとデータをやりとりする

マークをリーダー／ライターにかざすだけで、FeliCaチップ内のデータのやりとりができます。

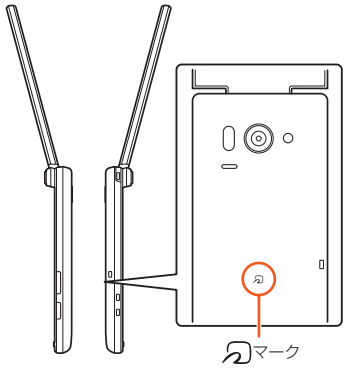


- マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- マークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- マークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

◎ おサイフケータイ®対応のアプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
◎ 本製品の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし、おサイフケータイ®をロックしている場合は、ご利用いただけません。

他の携帯電話とデータをやりとりする

IC通信機能を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。



- 2台の携帯電話を平行にしてマークを重ね合わせ、送受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 送受信の操作や送受信されるデータについては、対応するアプリケーションの動作に依存します。画面に従って操作してください。
- マークを重ね合わせても、送受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、送受信の操作を再度行ってください。
- マークをゆっくりと重ね合わせると送受信を失敗することがあります。

おサイフケータイ®(FeliCa)を利用する

おサイフケータイ®対応サービスを利用する

1 待受画面で●→[ツール]→[おサイフケータイ]→[サービスサイト一覧]
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 サービスサイト一覧からサービスを選択→●
表示されたショートカット、またはサービス紹介サイトから、ご利用になりたいサービスを選択してください。
- サービスによっては初期登録が必要です。画面に従って操作してください。

おサイフケータイ®をロックする

おサイフケータイ®をロックすると、おサイフケータイ®対応サービス、FeliCaデータ通信の利用を制限できます。

1 待受画面で●→[ツール]→[おサイフケータイ]

2 [おサイフケータイ ロック]→●(次へ)→ロックを解除→●(OK)
おサイフケータイ®がロックされ、サービス一覧が非表示になります。

◎ 待受画面で7(長押し)の操作でロック／解除を切り替えることもできます。
◎「おサイフケータイ ロック」ご利用中に電源が切れると、ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後にロックを解除してください。
◎ おサイフケータイ®をロックするとステータスバーにが表示されます。

IC通信でデータを送受信する

IC通信機能を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。
- おサイフケータイ®をロックしている場合は、IC通信をご利用できません。
- すべてのIC通信機能を搭載した携帯電話との通信を保証するものではありません。
- 送受信時に認証コードの入力が必要になる場合があります。認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

データを送信する

各機能のメニューから、データをIC送信することができます。

例:電話帳(顔写真なし)を1件送信する場合

1 待受画面で→(サブメニュー)→[送信]→[IC送信]

2 [選択送信]

3 連絡先を選択→(送信)→[はい]

4 本製品と相手機器のを合わせる→[OK]

例:電話帳(顔写真なし)を複数送信する場合

1 待受画面で→(サブメニュー)→[送信]→[IC送信]

■連絡先を選択して送信する場合

2 [選択送信]→連絡先を選択→(送信)→[はい]

3 本製品と相手機器のを合わせる→[OK]

■連絡先をすべて送信する場合

2 [全件送信]→[はい]

3 ロックを解除→アカウントを選択

4 認証コードを入力→[OK]
認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

5 本製品と相手機器のを合わせる→[OK]

データを受信する

1 送信側の端末とマークを向かい合わせる

2 認証コードを入力→[OK]
送信側で認証コードが設定されていない場合は、認証コードの入力は不要です。

3 受信完了後、待受画面で→ステータスバーにカーソルを合わせる→●

4 受信したデータを選択→●
再生／表示／登録するアプリケーションが複数存在する場合は、データを選択するとアプリケーションの選択画面が表示されます。画面に従って操作してください。

auのネットワークサービス・海外利用

auのネットワークサービスを利用する 98
auのネットワークサービスについて 98
着信お知らせサービスを利用する（標準サービス） 98
着信転送サービスを利用する（標準サービス） 98
割込通話サービスを利用する（標準サービス） 99
発信番号表示サービスを利用する（標準サービス） 100
番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス） 100
呼び出し時間を変更する（標準サービス） 100
お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス） 101
三者通話サービスを利用する（オプションサービス） 103
迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス） 103
通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス） 103
グローバルパスポート 104
GLOBAL PASSPORT（グローバルパスポート）について 104
海外でご利用になるときは 104
海外で安心してご利用いただくために 104
海外利用に関する設定を行う 104
渡航先で電話をかける 104
渡航先で電話を受ける 105
お問い合わせ方法 105
サービスエリアと海外での通話料 105
パケットサービス・メッセージサービスの通信料 106
国際アクセス番号＆国番号一覧 106
グローバルパスポートに関するご利用上のご注意 106

auのネットワークサービスを利用する

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

標準サービス	SMS（▶P.48） 着信お知らせサービス（▶P.98） 着信転送サービス（▶P.98） 割込通話サービス（▶P.99） 発信番号表示サービス（▶P.100） 番号通知リクエストサービス（▶P.100） 呼び出し時間設定機能（▶P.100）
有料オプションサービス※	お留守番サービスEX（▶P.101） 三者通話サービス（▶P.103） 迷惑電話撃退サービス（▶P.103） 通話明細分計サービス（▶P.103）

※有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する（標準サービス）

■ 着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、au電話の電源を切っていた場合や機内モード中の場合、または電波の届かない場所にいた場合、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎ 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内で着信お知らせ（着信通知）を停止できます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

着信転送サービスについて

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送の4つから選択できます。

◎ 緊急通報番号（110、119、118）、時報（117）、天気予報（177）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎ 着信転送サービスとお留守番サービスは同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
◎ 着信転送をした際に転送先が登録されていない場合、お留守番サービスを設定しているときはお留守番サービスに転送されます。お留守番サービスを停止しているときは転送されません。
◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎ 無応答転送、話中転送、選択転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
①話中転送　②選択転送　③無応答転送
◎ 無応答転送、話中転送、選択転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1425」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ・電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ・お客様のご負担となります。 ・海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 待受画面で1 4 2 2+転送先電話番号を入力→☎
待受画面で●→[電話 メール]→[通話設定]→[転送電話]→[無応答転送]→[はい]でも同様に操作できます。

2 ☎

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、1 4 2 1 2 ☎で設定できます。
◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。このとき「伝言メモ設定」（▶P.39）または「オートアンサー」（▶P.39）が同時に設定されている場合は、応答時間の短い方が優先されます。
◎ GSM／UMTSローミング中は、電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときのみ転送されます。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 待受画面で1 4 2 3+転送先電話番号を入力→☎
待受画面で●→[電話 メール]→[通話設定]→[転送電話]→[話中転送]→[はい]でも同様に操作できます。

2 ☎

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、1 4 2 1 3 ☎で設定できます。
◎ 話中転送と割込通話サービスを同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
◎ GSM／UMTSローミング中は、話中転送はご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 待受画面で1 4 2 4+転送先電話番号を入力→☎
待受画面で●→[電話 メール]→[通話設定]→[転送電話]→[フル転送]→[はい]でも同様に操作できます。

2 ☎

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、1 4 2 1 4 ☎で設定できます。
◎ フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

1 待受画面で1 4 2 5+転送先電話番号を入力→

待受画面で●→[電話 メール]→[通話設定]→[転送電話]→[選択転送]→[はい]でも同様に操作できます。

2

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、1 4 2 1 5 で設定できます。
◎ 着信中に(サブメニュー)→[着信転送]と操作すると、転送先電話番号に転送します。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

海外の電話へ転送する

au国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例:アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 待受画面でXXXXを入力→

XXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送	1422
話中転送	1423
フル転送	1424
選択転送	1425

2 国際アクセスコード「001010」を入力

3 アメリカの国番号「1」を入力

4 市外局番「212」を入力

5 転送先電話番号「123XXXX」を入力

6

◎ au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する(転送停止)

着信転送サービスを停止します。

1 待受画面で1 4 2 0

2

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

本製品以外のau電話、他通信事業者の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始(無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送)、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

XXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
選択転送開始	1425
転送停止	1420

2 本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.12)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する(標準サービス)

割込通話サービスについて

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau Nano IC Card (LTE)を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 待受画面で1 4 5 1

2

◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 待受画面で1 4 5 0

2

◎ LTEパケット通信中や、3Gパケット通信中は、割込通話サービスを「停止」に設定しても着信します。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例:Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
を押すたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。
を押すと、通話中/保留中の両方の通話が終了します。

◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 待受画面で1 4 5 2+相手先電話番号を入力→

◎ 発信者番号を通知する/しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
◎ 割込禁止の通話中に別の相手の方から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客様の携帯電話に表示したりするサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

◎ 発信者番号(お客様の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がメインディスプレイに表示されます。
また、相手の方を電話帳に登録していない場合は、本体を閉じた状態時のサブディスプレイにも電話番号が表示されます。ただし、「着信相手表示」(▶P.80)を「着信相手を表示しない」に設定すると、サブディスプレイには電話番号が表示されません。

表示	説明
「非通知設定」(ID Unsent)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」(Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

番号通知リクエストサービスについて

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎ お留守番サービス、着信転送サービス、割込通話サービス、三者通話サービスのそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 **待受画面で**[1][4][8][1][↗]
2 [☎]

◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 番号通知リクエストサービスを開始したまま海外(国際ローミングエリア)へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
・公衆電話、国際電話
・SMS
・その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 **待受画面で**[1][4][8][0][↗]
2 [☎]

呼び出し時間を変更する(標準サービス)

■ 呼び出し時間設定機能について

au携帯電話に着信してからお留守番サービスなどの各種ガイダンスにつながるまでの時間や、着信転送サービスにて無応答転送を設定している場合の転送までの時間を、5秒～55秒の間で設定できます。

◎ 初期設定は24秒となっています。

■ 呼び出し時間を変更する

1 **待受画面で「1418XX」を入力→**[↗]
XXには、設定する秒数(05～55)を入力してください。
2 [☎]

◎ お留守番サービスまたは無応答転送のご利用を停止したときや、無応答転送以外の着信転送サービスを設定したときは、呼び出し時間に設定した秒数が解除されます。再度お留守番サービスまたは無応答転送のご利用を開始していただくと、設定した秒数が有効になります。

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、「機内モード」を設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービスは同時に開始できません。お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメールの合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ・お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

1 待受画面で[1][4][1][↗]

2 ガイダンスに従って操作

お留守番サービスを開始する

■ 通話中にかかってきた電話もお留守番サービスに転送する(留守番開始1)

1 待受画面で[1][4][1][1][↗]

待受画面で◉→[電話 メール]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始1]→[はい]でも同様に操作できます。

2 [☎]

■ 通話中にかかってきた電話はお留守番サービスに転送しない(留守番開始2)

1 待受画面で[1][4][1][3][↗]

待受画面で◉→[電話 メール]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始2]→[はい]でも同様に操作できます。

2 [☎]

◎ 国際ローミング中は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。

■ お留守番サービスEXでの留守応答について

電話がかかってきたとき、本製品の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合(無応答転送)
- 通話中にかかってきた場合(「留守番開始1」で開始した場合のみ)(話中転送)
- 着信中に◉→[着信転送]と操作した場合(選択転送)

◎ お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。このとき、お留守番サービス以外に本製品の「伝言メモ設定」(▶P.39)または「オートアンサー」が同時に設定されているときは、応答時間の短いものが優先されます。

お留守番サービスを停止する

1 待受画面で[1][4][1][0][↗]

待受画面で◉→[電話 メール]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番停止]→[はい]でも同様に操作できます。

2 [☎]

◎ お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
◎ お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音/確認/変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここでご説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、応答メッセージで応答します。
電話をかけてきた相手の方は[#]を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、[#]を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 [#]を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次の操作ができます。
[1]:録音した伝言を再生して、内容を確認する
[2]:録音した伝言を「至急扱い」にする
[9]:録音した伝言を消去して、取り消す
[✕]:録音した伝言を消去して、録音し直す

4 [☎]

◎ 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 待受画面で[1][6][1][2]+相手の方のau電話番号を入力→[発信]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。
伝言お知らせは、SMSで確認できます。

◎ 同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 待受画面で[1][4][1][7][発信]
待受画面で[発信]→[メニュー](サブメニュー)→[設定]→[留守番電話]→[留守伝言再生]→[はい]でも同様に操作できます。
待受画面で[発信]→[1](長押し)でも同様に操作できます。

2 ガイダンスに従ってキー操作
[1]:同じ伝言をもう一度聞く
[4]:5秒間巻き戻して聞き直す
[5]:伝言を一時停止(20秒間)※
[6]:5秒間早送りして聞く
[7]:再生済みのメッセージを全て消去する
[9]:伝言を消去
[0]:伝言再生中の操作方法を聞く
[#]:次の伝言を聞く
[*]:前の伝言を聞く
※[0]～[9]、[#]、[*]のいずれかのキーを押すと、伝言の再生を再開します。

3 ガイダンスを確認後[終了]

◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメールも同じものとして扱われます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止できます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。

1 待受画面で[1][6][1][0][発信]

2 ガイダンスを確認後[終了]

◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

蓄積停止を解除する

1 待受画面で[1][6][1][1][発信]

2 ガイダンスを確認後[終了]

◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容を確認／変更したり、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 待受画面で[1][4][1][4][発信]
待受画面で[●]→[電話 メール]→[通話設定]→[留守番電話]→[応答内容変更]→[はい]でも同様に操作できます。

■すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)

2 [1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[終了]

■名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)

2 [2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[終了]

■設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 [3]→応答メッセージを確認→[終了]

■蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)

2 [7]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[終了]

◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って[4]を入力すると標準メッセージに戻すことができます。
◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って[8]を入力すると標準メッセージに戻すことができます。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

本製品以外のau電話、他通信事業者の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける
XXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内(伝言再生など)	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

4 ガイダンスに従って操作

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

日本語／英語ガイダンスを切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージの言語を変更できます。
ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

■英語ガイダンスへ切り替える

1 待受画面で[1][4][1][9][1][発信]
英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 [終了]

◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

■日本語ガイダンスへ切り替える

1 待受画面で[1][4][1][9][0][発信]
日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 [終了]

◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例:Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中にBさんの電話番号を入力
[メニュー](サブメニュー)→[通話を追加]と操作しても電話番号を追加できます。
また、電話帳や発着信履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [発信]
通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話
Bさんが電話に出ないときは、[発信]を2回押すとAさんとの通話に戻ります。

4 [発信]
3人で通話できます。
[発信]を押すと、Bさんとの電話が切れ、Aさんとの二者通話に戻ります。
[電源]を押すと、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎ 三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎ 三者通話中は、SMSを送ることはできません。
◎ 三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話撃退サービスについて

迷惑電話やいたずら電話がかかってきた後などに「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

◎ お留守番サービス、着信転送サービス、割込通話サービス、三者通話サービス、番号通知リクエストサービスのそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 待受画面で[1][4][4][2][発信]

2 [電源]

◎ 登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
◎ 電話番号の通知のない着信についても、登録できます。
◎ 国際ローミング中や、次の条件からの着信時は登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- SMS

◎ 通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
◎ 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎ 国際ローミング中は、受信拒否リストに登録することができません。日本で登録した相手の方でも国際ローミング中は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となる場合があります。
◎ 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- SMS
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を削除する

1 待受画面で[1][4][4][8][発信]

2 [電源]

◎ 受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。
◎ 国際ローミング中は、受信拒否リストから削除できません。

登録した電話番号を全件削除する

1 待受画面で[1][4][4][9][発信]

2 [電源]

通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 待受画面で[1][3][1]**+相手先電話番号を入力→**[発信]

◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎ 発信者番号を通知する/しないを設定する場合は、「186」/「184」を最初にダイヤルしてください。
◎ フリーダイヤル、緊急通報番号(110、119、118)などの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料

グローバルパスポート

GLOBAL PASSPORT(グローバルパスポート)について

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM／UMTS／LTEネットワークのいずれでもご利用いただけます。

- いつもの電話番号のまま、海外で話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

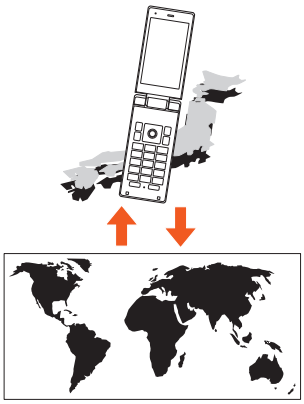
◎ 国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または電話番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいてご利用いただけるサービスです。

■ ご利用イメージ

1 日本国内では、auのネットワークでご利用になれます

2 海外で電源を入れると、海外の事業者のネットワークで電話とSMSがご利用いただけます

3 パケット通信を行う場合は「データローミング」を有効に設定します



◎ お買い上げ時は、海外で通話およびSMSのみご利用可能な設定になっています。海外でパケット通信もご利用になる場合は「データローミングを設定する」(▶P.104)に従い設定を行ってください。

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートをご利用になるときは、海外利用に関する各種設定を行ってください。
新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外利用に関する設定	PRL(ローミングエリア情報)の取得(▶P.104) ネットワークモードの設定(▶P.104) データローミングの設定(▶P.104)

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/information/notice_mobile/global/

■ 本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、auショップもしくはお客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。

■ 海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料は、日本国内の各種割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、発信した時点から通話料がかかる場合があります。

海外利用に関する設定を行う

PRL(ローミングエリア情報)を取得する

PRL(ローミングエリア情報)とは、KDDI(au)と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。
海外渡航時には、最新のPRLを渡航前に取得してからお使いください。

1 待受画面で◉→[設定]→[通信・ネットワーク]

2 [ネットワーク設定]→[モバイルネットワーク]→[PRL更新]
接続後に流れる音声ガイダンスを確認してから電話をお切りください。
電話をお切りになった後、更新が開始されます。更新には10分程度時間がかかることがあります。

◎ PRLの更新にかかる通話料・通信料は無料です。
◎ エリアによっては更新できない場合があります。
◎ 古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

ネットワークモードを設定する

本製品を使用するネットワークモードを設定します。

1 待受画面で◉→[設定]→[通信・ネットワーク]

2 [ネットワーク設定]→[モバイルネットワーク]→[ネットワークモード]

3

国内(CDMA)	日本国内のみでご利用になる場合に設定します。
海外(GSM／UMTS)	海外でGSM／UMTSネットワークをご利用になる場合に設定します。
自動(国内／海外)	日本国内／海外で利用できるネットワークを自動設定します(LTEネットワークをご利用になる場合は、こちらに設定してください)。

◎「ネットワークモード」を「海外(GSM／UMTS)」「自動(国内／海外)」に設定すると、滞在国選択画面が表示される場合があります。滞在国を選択してください。
◎「自動(国内／海外)」で「機内モード」を無効、または本製品の電源を入れた状態で日本から渡航した場合は、海外のネットワークに接続できません。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

データローミングを設定する

1 待受画面で◉→[設定]→[通信・ネットワーク]

2 [ネットワーク設定]→[モバイルネットワーク]→[データローミング]→[はい]

◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、ローミング中にパケット通信を利用できません。
◎ データ通信をご利用になる場合は、「モバイルネットワーク」の「データ通信」を有効に設定してご利用ください。
◎ LTEネットワークをご利用になる場合は、「ネットワークモード」で「自動(国内／海外)」に設定してください。

渡航先で電話をかける

渡航先から国外(日本含む)に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

例:渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合

1 待受画面で[ ]

2 [0](長押し)
「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 日本の国番号「81」を入力

4 地域番号(市外局番)「3」を入力
地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア・モスクワの固定電話など一部例外もあります)。

5 相手の方の電話番号「1234XXXX」を入力→[ ]

◎ 電話をかける相手の方が日本の携帯電話をご利用の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。
◎「+」のダイヤルでつながらない場合は、「+」の替わりに渡航先の国際アクセス番号を入力してください。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話をかけることができます。

1 待受画面で[ ]

2 地域番号(市外局番)＋相手の方の電話番号を入力

3 [ ]

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。
◎ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
◎ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

受付時間 24時間

1 待受画面で

2 0 **(長押し)**
「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 「81366706944」を入力→

■ 一般電話からのお問い合わせ方法1(渡航先別電話番号)

受付時間 24時間

国・地域名	お問い合わせ番号
北米・中南米	アメリカ/カナダ:1-877-532-6223 メキシコ:01-800-123-3426
アジア	インド:000800-810-1134 インドネシア:001-803-81-0235 韓国:002-800-00777113 シンガポール/タイ/香港:001-800-00777113 台湾/中国/フィリピン/マカオ/マレーシア: 00-800-00777113 ベトナム:120-81-003
ヨーロッパ	イギリス/イタリア/オランダ/スイス/スペイン/ ドイツ:00-800-00777113 フランス:0800-90-0209 ロシア:810-800-20201081
オセアニア	オーストラリア:0011-800-00777113 グアム:1-888-891-3297 ニュージーランド:00-800-00777113 ハワイ:1-877-532-6223
中東	アラブ首長国連邦:800-081-0-0102

◎ ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
◎ 地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
◎ 携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金がかかる場合がありますのでご了承ください。
◎ 記載のない国・地域、および最新情報については次のホームページをご参照ください。
http://www.001.kddi.com/accessnumber/index.html

■ 一般電話からのお問い合わせ方法2(通話料有料)

「一般電話からのお問い合わせ方法1」でかけられない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。
受付時間 24時間

1 渡航先の国際アクセス番号を入力→「81366706944」を入力→

日本国内からのお問い合わせ

au電話から(局番なしの)**157**番(通話料無料)
一般電話から 0077-7-111(通話料無料)
受付時間 9:00~20:00(年中無休)

サービスエリアと海外での通話料

以下に記載の国・地域や通話料は、主な例となります。渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

■ アジア

国・地域	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
中国	○	○	70	175	265	145
韓国	○	○	50	125	265	70
台湾	○	○	70	175	265	145
タイ	○	○	70	175	265	155
フィリピン	○	○	75	175	265	155
インドネシア	○	○	70	260	280	155
ベトナム	○	○	70	195	280	80
香港	○	○	70	175	265	145
シンガポール	○	○	75	175	265	155
インド	○	○	70	180	280	180
マレーシア	○	○	75	175	265	80
マカオ	○	○	70	175	265	145

※通話料は免税。単位は円/分。

■ オセアニア

国・地域	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
ハワイ	○	○	120	140	210	165
グアム	○	○	80	140	210	130
サイパン	○	○	80	140	210	130
オーストラリア	○	○	80	180	280	80
ニュージーランド	○	○	80	180	280	80

※通話料は免税。単位は円/分。

■ 北米・中南米

国・地域	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
アメリカ	○	○	120	140	210	165
カナダ	○	○	120	140	210	165
メキシコ	○	○	70	230	280	180
ブラジル	○	○	80	280	280	140

※通話料は免税。単位は円/分。

■ ヨーロッパ・中東

国・地域	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
フランス	○	○	80	180	280	110
ドイツ	○	○	80	180	280	110
イギリス	○	○	80	180	280	110
イタリア	○	○	80	280	280	110
スペイン	○	○	80	180	280	110
スイス	○	○	80	180	280	110
ロシア	○	○	80	380	380	110
オランダ	○	○	80	180	280	110
アラブ首長国連邦	○	○	80	180	280	140

※通話料は免税。単位は円/分。

◎ 日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額/割引サービスの対象となりません。
◎ 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
◎ 渡航先でコレクトコール・トールフリーナンバーなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。
◎ アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国・地域内通話料金(120円/分または80円/分、免税)となります。
◎ 中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「他の国への国際通話料」(265円/分、免税)となります。
◎ 国・地域によっては、発信した時点から通話料がかかる場合があります。したがって、相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
◎ 2014年12月現在の情報です。
◎ 最新情報についてはauホームページをご参照ください。

パケットサービス・メッセージサービスの通信料

■ パケットサービス・メッセージサービスの通信料（免税）

パケット通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円／KB	100円／通	無料

■ 海外ダブル定額（免税）

対象の国・地域にてご利用いただいた場合、1日あたり約24.4MB（割引前通信料が40,000円分）まで最大1,980円、どれだけご利用いただいても1日あたり最大2,980円のご利用料金となります。
海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。

◎ 海外でご利用になった場合の料金です。海外で送受信したパケット量に応じて課金されます。
◎ 渡航先でのパケット通信料は、日本国内各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎ 1日あたりの上限額は渡航先の現地時間ではなく日本時間の1日（0:00～23:59）の通信に対する金額です。月額の定額制ではありません。

国際アクセス番号＆国番号一覧

■ 国際アクセス番号

国・地域名	番号
アメリカ／ハワイ／カナダ／グアム／サイパン	011
ニュージーランド／中国／ベトナム／メキシコ／インド／フィリピン／マレーシア／イギリス／ドイツ／フランス／イタリア／スペイン／スイス	00
韓国	001、002、00700
香港／タイ／インドネシア	001
台湾	002
ブラジル	0014、0015、0021、0023
オーストラリア	0011

■ 国番号（カントリーコード）

国・地域名	番号
アメリカ合衆国（USA）	1
アラブ首長国連邦（ARE）	971
イギリス（GBR）	44
イタリア（ITA）	39
インド（IND）	91
インドネシア（IDN）	62
オーストラリア（AUS）	61
オランダ（NLD）	31
カナダ（CAN）	1
韓国（KOR）	82
シンガポール（SGP）	65
スイス（CHE）	41
スペイン（ESP）	34
タイ（THA）	66
台湾（TWN）	886
中国（CHN）	86
ドイツ（DEU）	49
日本（JPN）	81
ニュージーランド（NZL）	64
フィリピン（PHL）	63
ブラジル（BRA）	55
フランス（FRA）	33
ベトナム（VIE）	84
香港（HKG）	852
マカオ（MAC）	853
マレーシア（MYS）	60
メキシコ（MEX）	52
ロシア（RUS）	7

※ハワイ、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国（USA）「1」になります。

グローバルパスポートに関するご利用上のご注意

■ 渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、トールフリーナンバー、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国・地域によっては、発信した時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、日本国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■ 通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■ 渡航先でのパケット通信料に関するご注意

- 渡航先でのご利用料金は、日本国内でのご利用分に合算して翌月に（渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります）請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 日本国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■ 渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、ローミング中アイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話（およびご利用の地域によってはSMS）のみご利用になれます。
- SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■ その他ご利用上のご注意

- 渡航先での通話料・パケット通信料は、日本国内各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなる場合があります。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の日本国内での通話は発信規制となります。また日本国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をON／OFF（再起動）することでご利用可能となる場合があります。

付録・索引

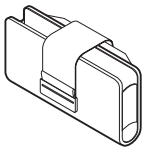
付録 108
周辺機器のご紹介 108
スイッチ付イヤホンマイク／イヤホンマイク／イヤホンを使用する 108
故障とお考えになる前に 109
ソフトウェアを更新する 110
アフターサービスについて 110
利用できるデータの種類 111
主な仕様 111
携帯電話機の比吸収率(SAR)について 112
CE Declaration of Conformity 112
FCC Notice 113
輸出管理規制 113
おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意 113
『au Wi-Fi SPOT』利用規約 114
知的財産権について 114
索引 116

付録

周辺機器のご紹介

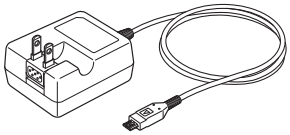
■電池パック(SHF31UAA)(別売)

■auキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)
auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)
auキャリングケースHブラック(0107FCA)(別売)



auキャリングケースFブラック

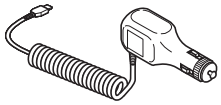
■共通ACアダプタ03(0301PQA)(別売)
共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)
共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA)(別売)
共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA)(別売)
共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA)(別売)
共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ホワイト)(L02P001W)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(レッド)(L02P001R)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ブルー)(L02P001L)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ピンク)(L02P001P)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(シャンパンゴールド)(L02P001N)(別売)



共通ACアダプタ05

・お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

■共通DCアダプタ03(0301PEA)(別売)



■ポータブル充電器02(0301PFA)(別売)

■卓上ホルダ(SHF31PUA)(別売)

■microUSBケーブル01(0301HVA)(別売)
microUSBケーブル01 ネイビー(0301HBA)(別売)
microUSBケーブル01 グリーン(0301HGA)(別売)
microUSBケーブル01 ピンク(0301HPA)(別売)
microUSBケーブル01 ブルー(0301HLA)(別売)

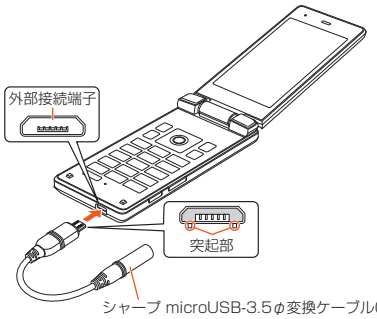
■シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(SHX11QVA)(別売)

◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ(http://www.au.kddi.com/)にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
◎ 本製品は、ASYNC/FAX通信は非対応です。
◎ 上記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。在庫状況によってはご購入いただけない場合があります。
http://auonlineshop.kddi.com/

スイッチ付イヤホンマイク/イヤホンマイク/イヤホンを使用する

本製品に「シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(別売)」を接続してイヤホンを使用できます。

1 本製品の外部接続端子にシャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(別売)のmicroUSBプラグを、向きを確認して矢印の方向に差し込む



シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(別売)

2 シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(別売)のイヤホン端子にスイッチ付イヤホンマイク/イヤホンマイク/イヤホンを差し込む

■スイッチ付イヤホンマイクで電話を受ける

1 着信中にスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す
通話を終了するには、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを再度押します。

◎ スイッチ付イヤホンマイクやイヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。
◎ 動作確認済みの3.5φプラグのスイッチ付イヤホンマイク(市販品)については、次のサポートページをご参照ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/support/a/shf31/

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください
電池を利用できる時間が短い	• (圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？（▶P.27） • 電池パックが寿命となっていませんか？電池の状態を確認してください。(▶P.22) • 十分に充電されていますか？（▶P.22） • 使用していない機能を停止してください。（▶P.27） • 使用していないアプリケーションを終了してください。(▶P.30)
電話がかけられない	• au Nano IC Card (LTE)が挿入されていますか？（▶P.20） • 電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）(▶P.36) • 「機内モード」が設定されていませんか？（▶P.81） • 「ネットワークモード」が間違っていませんか？（▶P.104） • 電源は入っていますか？（▶P.23） • 電話番号入力後、[↵]を押していますか？（▶P.36） • 「音声発信制限」で発信が制限されていませんか？（▶P.81）
電話がかかってこない	• 電波は十分に届いていますか？（▶P.27） • サービスエリア外にいませんか？（▶P.27） • 「機内モード」が設定されていませんか？（▶P.81） • 「ネットワークモード」が間違っていませんか？（▶P.104） • 着信転送サービスが設定されていませんか？（▶P.98） • 電源は入っていますか？（▶P.23） • au Nano IC Card (LTE)が挿入されていますか？（▶P.20） • 「着信拒否」が設定されていませんか？（▶P.39）
Wi-Fi®がつながらない	• Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？（▶P.27） • Wi-Fi®の設定をしましたか？（▶P.90）
ディスプレイの照明が暗い	• 「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？（▶P.80） • 「のぞき見防止」が設定されていませんか？（▶P.80）
相手の方の声が聞こえない	• 通話音量が最小に設定されていませんか？（▶P.36） • 受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。
ワンセグが映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	• 地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？（▶P.27） • テレビアンテナ付近を手でおおっていませんか？（▶P.18） • 視聴している場所が選択しているチャンネルリストと合っていますか？（▶P.67）
カメラが動作しない	• 電池残量が少なくなっていませんか？（▶P.22） • カメラの利用についてご確認ください。(▶P.60)
microSDメモリカードを認識しない／目的のデータが見つからない	• microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？（▶P.21） • microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？（▶P.86） • 本体メモリにデータを保存していませんか？microSDメモリカード以外に本体メモリにもデータを保存できます。
キーの操作ができない	• 「画面のロック」が設定されていませんか？（▶P.81） • 電源を切り、電源を入れ直してみてください。 • 電源は入っていますか？（▶P.23）
充電ができない	• 指定の充電用機器(別売)や卓上ホルダ(別売)の電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットに確実に差し込まれていますか？（▶P.22）
電源が入らない	• 電池パックは充電されていますか？（▶P.22） • [⏻]を長押ししていますか？（▶P.23）
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	• [⏻]を8秒以上長押しし、バイブレータが振動した後、手を離すと強制的に電源を切ることができます。しばらくしてから電源を入れ直してください。（▶P.23）
au ICカード(UIM)エラーや挿入されていない旨のメッセージが表示される	• au Nano IC Card (LTE)が挿入されていますか？（▶P.20）
おサイフケータイ®が使えない	• 電池が切れていませんか？（▶P.22） • おサイフケータイ®をロックしていませんか？（▶P.95） • 本製品のマークがある位置をリーダー／ライターにかざしていますか？（▶P.95）
電源が勝手に切れる	• 電池が切れていませんか？（▶P.22）
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	• 電池が切れていませんか？（▶P.22）

こんなときは	ご確認ください
(圏外)が表示される	• 電波は十分に届いていますか？（▶P.27） • サービスエリア外にいませんか？（▶P.27） • 内蔵アンテナ付近を手でおおっていませんか？（▶P.18） • au Nano IC Card (LTE)が挿入されていますか？（▶P.20） • 「ネットワークモード」が間違っていませんか？（▶P.104）
ディスプレイ、充電／着信ランプは点灯、点滅するが着信音が鳴らない	• 着信音量が最小に設定されていませんか？（▶P.80） • マナーモードに設定されていませんか？（▶P.80）
「充電してください」などと表示された	• 電池残量がほとんどありません。(▶P.22)
電話が勝手に応答する	• 伝言メモが設定されていませんか？（▶P.39） • マナーモードが設定されていませんか？（▶P.80） • オートアンサーが設定されていませんか？（▶P.39）
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	• 電波は十分に届いていますか？（▶P.27） • サービスエリア外にいませんか？（▶P.27） • 回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。
メインディスプレイの照明がすぐに消える	• 「バックライト点灯時間」が短く設定されていませんか？（▶P.80）
電話帳の個別の設定が動作しない	• 相手の方から電話番号の通知はありますか？通知がない場合は、電話帳の設定は有効になりません。 • 同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？（▶P.42） • 「連絡先シークレット設定」が設定されていませんか？（▶P.81）
パソコンから本体メモリのデータを認識できない	• 本体メモリを使用する場合はMTPモードで接続してください。(▶P.87)

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポートでご案内しております。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

ソフトウェアを更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。

1 待受画面で●→[設定]→[その他]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]

初回起動時には重要なお知らせの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「OK」を選択→●と操作してください。

2

ソフトウェア更新	ソフトウェア更新が必要かどうかを確認します。 ●(実行)を押すと確認を開始します。ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードできます。 • すぐに更新する場合は、●(実行)を押し、画面に従って操作してください。 • 後で更新する場合は、「後で更新」を選択するとアプリケーションが終了し、ステータスバーに が表示されます。 ソフトウェア更新を行う場合は、ステータスバーから「ソフトウェア更新」を選択後、画面に従って操作してください。 • ソフトウェア更新が可能な場合は、「新しいソフトウェアのダウンロードが可能です。」と表示されます。
自動問い合わせ設定	ソフトウェア更新用データの有無を定期的に確認するかどうかを設定します。 • 「自動問い合わせする」に設定すると、ソフトウェア更新が必要なときは、ステータスバーに が表示されます。ステータスバーから「ソフトウェア更新」を選択後、画面に従って操作してください。

■ ご利用上の注意

- パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157／通話料無料)までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新を実行すると、更新前と更新後に本製品を再起動します。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ(電話帳、メール、静止画、音楽データなど)や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェアが更新された後で、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります(連続更新)。
- 国際ローミング中は、Wi-Fi®接続時にのみ、ソフトウェア更新の機能を利用できます。Wi-Fi®に接続していない状態では、ソフトウェア更新の機能を利用することはできませんので、ソフトウェア更新を行う場合はWi-Fi®に接続してご利用ください。

ソフトウェア更新実行中は、次のことは行わないでください

- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ソフトウェア更新実行中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるとき

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている≪無償修理規定≫に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社はこのSHF31本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Nano IC Card (LTE)について

au Nano IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて)

一般電話からは 0077-7-113(通話料無料)
au電話からは 局番なしの113(通話料無料)
受付時間 24時間(年中無休)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

一般電話／au電話からは
0120-925-919(通話料無料)
受付時間 9:00～21:00(年中無休)

オンライン修理受付(24時間受付)

※本製品、パソコン、スマートフォンからのみ受付可能
https://cs.kddi.com/support/n_login.html

- インターネット受付でのお申し込みは、「破損」「水濡れ」「盗難」「紛失」の場合が対象となります。自然故障(破損、水濡れなどの原因ではないが電源が入らない、画面が動かないなど)の場合は、問診が必要なためお電話での受付となります。
- インターネットでのお申し込みには、メールアドレスが必要です。

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容	安心ケータイ サポートプラス LTE会員	安心ケータイ サポートプラス LTE非会員
交換用携帯電話機お届けサービス（自然故障：1年目）	無料	補償なし
交換用携帯電話機お届けサービス（自然故障：2年目以降）	お客様負担額 1回目：5,000円 2回目：8,000円	補償なし
交換用携帯電話機お届けサービス（部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失）	お客様負担額 1回目：5,000円 2回目：8,000円	補償なし
預かり修理（自然故障：1年目）	無料	無料
預かり修理（自然故障：2年目以降）	無料（3年保証）	実費負担
預かり修理（部分破損）	お客様負担額 上限5,000円	実費負担
預かり修理（水濡れ、全損）	お客様負担額 10,000円	実費負担
預かり修理（盗難、紛失）	補償なし	補償なし（機種変更対応）

※金額はすべて税抜

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種・同一色、新品の電池パックを含む）をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎ お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

利用できるデータの種類

本製品で利用できる画像・動画・音の種類は次の通りです。

データの種類	拡張子
画像	.jpg、.jpeg、.gif、.png、.bmp、.wbmp、.webp
動画	.3gpp、.3gp、.3g2、.3gpp2、.mp4、.m4v、.webm、.mkv
音	.amr、.awb、.3gp、.3g2、.m4a、.mp4、.mp3、.aac、.mid、.midi、.xmf、.mxmf、.rtttl、.rtx、.ota、.ogg、.oga、.imy、.wav、.smf

主な仕様

メインディスプレイ	約3.4インチ、約1,677万色、TFT、960×540（QHD）
サブディスプレイ	約0.9インチ、1色、有機ELディスプレイ
質量	約128g（電池パック含む）
サイズ（幅×高さ×厚さ）	約51mm×113mm×16.9mm（最厚部約17.4mm）
メモリ（内蔵）	ROM：約8GB RAM：約1GB
連続通話時間（国内）	約620分
連続通話時間（海外（GSM））	約390分
連続待受時間（国内）	約470時間（4G（LTE）を利用しているとき）約610時間（3Gを利用しているとき）
連続待受時間（海外（GSM））	約610時間
連続テザリング時間	約280分（WAN側4G（LTE））約380分（WAN側3G）
Wi-Fi®テザリング最大接続数	10台
充電時間	共通ACアダプタ05（別売）使用時：約110分 共通DCアダプタ03（別売）使用時：約180分
連続ワンセグ視聴時間※1	約6時間20分
撮影素子	CMOSイメージセンサー
有効画素数	約1,310万画素
Bluetooth®機能	通信方式：Bluetooth®標準規格Ver.4.0 出力：Bluetooth®標準規格Power Class1 通信距離※2：見通しの良い状態で10m以内 対応Bluetooth®プロファイル※3：HSP、HFP、A2DP、AVRCP、OPP、SPP、PBAP※4、HID、PAN、PAN NAP、PAN U、SCMS-T、HOGP※5、DUN※6 使用周波数帯：2.4GHz帯
ネットワーク環境	無線LAN（Wi-Fi®）機能：IEEE802.11b/g/n（2.4GHz）準拠
インターフェース	microUSB端子

※1 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。
※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※3 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※4 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。
※5 Bluetooth®標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。
※6 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【SHF31】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.484W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.562W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html
○ シャープのホームページ:
http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html
○ auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 この値は同時送信の値です。

CE Declaration of Conformity

CE0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SHF31 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

Mobile Light

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.
Be especially careful not to shoot small children from a very close distance. Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

AC Adapter

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

Battery - CAUTION

Use specified Charger only.
Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

Do not dispose of the product with ordinary refuse. Take the product to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

Volume Level Caution

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 125 mV.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.370 W/kg※ and when worn on the body is 0.514 W/kg※.
For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 1.5 cm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	SHF31
FCC ID	APYHRO00215
At the Ear	0.56 W/kg
On the Body	1.30 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1.おサイフケータイ®対応サービスについて

1. おサイフケータイ®対応サービスとは、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを利用したサービスです。
2. おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者(以下、SPといいます)が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
3. おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

2.FeliCaチップ内のデータの取り扱い等について

1. お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ®のFeliCaチップへのデータの書き込み及び書き換え、並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. FeliCaチップ内のデータの使用及びその管理については、お客様自身の責任で行ってください。
3. おサイフケータイ®の故障等により、FeliCaチップ内データの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をauショップもしくはPiPitにお渡しいただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内のデータのバックアップ、移し替え等の措置(以下、SPバックアップ等といいます)については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内のバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内のデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップへの移し替え等を行うことはできません。
7. その他NFC機能に対応したSPのサービス利用において生じた損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

3.FeliCaチップの固有の番号等の通知について

1. おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを特定するために、当該FeliCaチップ固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ固有の番号と、FeliCaチップ内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。
3. auショップもしくはPiPitは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客さまの電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCaチップ内のデータについて当該SPに問い合わせる場合があります。

4.不正利用について

1. お客さまのおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一のおサイフケータイ®の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。ただし、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
3. おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

5.その他

1. おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客さまご自身でのFeliCaチップ内データの削除ができなくなることがあります。なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCaチップ内のデータを削除する場合は、あらかじめauショップもしくはPiPitにより当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®対応サービスがご利用いただけない場合があります。
4. 機内モード設定中は、おサイフケータイ®対応サービスがご利用いただけない場合があります。

『au Wi-Fi SPOT』利用規約

『au Wi-Fi SPOT』のご利用にあたっては、以下の利用規約の内容を承諾の上、ご利用ください。

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス（以下「当社」といいます。）は、この利用規約（以下「本規約」といいます。）に従って、KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社又はKDDI・沖縄セルラーの通信設備などを使用して通信サービスを提供する通信事業者（以下「KDDI等」といいます。）の通信サービスの契約者（以下の3.項に定める条件を満たす契約者に限ります。以下「提供対象者」といいます。）に対して、『au Wi-Fi SPOT』（以下「本サービス」といいます）を提供します。お客さまは、ご利用開始後、本規約を遵守する義務を負うものとします。

1. 当社は、本サービスの提供にあたり、本規約のほか、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の適用を受けます。本規約の規定と「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の規定が抵触する場合は、本規約の規定が優先して適用されます。
   また、KDDI等が本サービスに関して制定するご利用条件等は本規約の一部を構成し、本サービスを利用するもの（以下「お客さま」といいます。）はこれを遵守する義務を負います。当社及びKDDI等は、当該規定及びご利用条件等を本サービス用のWeb等への掲載、又はその他の合理的な方法により告知します。
2. 当社は、本サービス及び本規約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。
3. 本サービスの提供対象者と利用可能エリアは、KDDI等の本サービス用のWeb等で掲載します。
4. 本サービスの提供は3.項で指定する条件が満たされなくなった場合、自動的に終了するものとします。また、お客さまが本規約に違反した場合、お客さまに対する本サービスの提供を停止し又は終了することができるものとします。
5. 本サービスは、KDDI等が本サービス用に提供するアプリケーションを搭載したWi-Fi®搭載機器で利用できます。
   お客さまは、自己の責任と負担において、本サービスを利用するために必要なWi-Fi®搭載機器を保持管理するものとします。
6. 国際ローミングサービスの取扱いは次によります。
   - お客さまは、国際ローミングサービスの利用にあたり、関連する法令、提携事業者が定める約款等を遵守するものとします。なお、日本国外における国際ローミングサービスの利用に関しては、当社約款および本規約の定めにかかわらず、関係国の法令または提携事業者その他の電気通信事業者等が定める約款等により、その利用が制限等されることがあります。
   - お客さまは、自己の責任に基づき国際ローミングサービスを利用するものとし、国際ローミングサービスの利用結果等について、全責任を負うものとします。
   - 当社は、国際ローミングサービスについて、その正確性、完全性、有用性等に関し、何らの保証責任および瑕疵担保責任を負わないものとします。
   - お客さまは、国際ローミングサービスの利用に伴って、第三者から問合せ、クレームもしくは損害賠償その他の権利の侵害等（知的財産権その他の権利の侵害等をいう。）の紛争等の請求を受け、または第三者に対して問合せ、クレームもしくは損害賠償等の請求を行う場合は、自己の責任と費用をもって処理解決するものとし、当社は、一切の責任を負わないものとします。
   - お客さまは、本規約への違反その他自らの責に帰すべき事由により、当社または第三者に対して損害を与えた場合、その損害を賠償するものとします。
7. 国際ローミングサービスの利用可能エリアと通信料金等は、次によります。なお、ご契約のプランによっては国際ローミングサービスがご利用になれませんので、Web等でご確認ください。
   - 利用可能エリア（国、地域等）はWeb等に掲載します。
   - 通信料金は、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」にて規定した料金が適用されます。なお、国際ローミングサービスの通信料金は渡航先の通信事業者及び当社の機器によりログイン時刻とログアウト時刻までを測定し、そのデータに基づき算定します。利用終了時にはWi-Fi®接続中にアプリよりログアウト操作をしてください。ログアウト操作しない場合は渡航先の通信事業者が一定時間経過後にログアウト処理を行うまで課金される可能性があります。
8. 本サービスの利用により生じた債権は当社がKDDI等に譲渡し、その債権額をKDDI等から請求します。
9. 本サービスに関する著作権等を含む一切の権利は、当社又は第三者に帰属します。お客さまは本サービスに関する当社及び第三者の権利を侵害したり又はそのおそれがあるような行為を一切行ってはならないものとします。
10. お客さまは、本規約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。
11. 本サービスの利用にあたり、当社がKDDI等からお客さまの氏名・契約電話番号及び契約の料金プランの情報等の開示を受けることを承諾していただきます。
12. 当社が提供するサービスを通じて取得した個人情報は、次の目的の為に利用させていただきます。
    - サービスの紹介、提案、および申込受付のため
    - サービスの申込に基づくご本人さまの確認等のため
    - サービスや契約の期日管理等、継続的なお取引における管理のため
    - サービスの提供に関する妥当性の判断のため
    - 他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため
    - お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
    - 市場調査やデータ分析等によるサービスの向上や開発のため
    - ダイレクトメールの発送等、サービスに関する各種ご提案やご案内のため
    - サービスの終了後の管理のため
    - その他お客さまとのお取引を適切かつ円滑に履行するため
13. 本サービス又は本規約に関してお客さまとの間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

附則　本改訂規約は、2013年10月31日から実施します。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、シャープ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

- Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi Protected Setupロゴ、Wi-Fi Direct®、Miracast®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

- Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- Google™、Google ロゴ、Android™、Android ロゴ、Google™ 検索および Google 検索 ロゴは、Google Inc.の商標です。
- 「LINE」は、LINE株式会社の登録商標です。
- 内蔵音声認識エンジンは、株式会社アドバンスト・メディアの **AmiVoice®** を使用しています。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

- 「NightCatch／ナイトキャッチ」「翻訳ファインダー」「AQUOS／アクオス」「AQUOS」ロゴ「AQUOS K」「AQUOS K」ロゴ「SHSHOW」ロゴ「フレーミングアドバイザー／FramingAdviser」「PASSNOW」「タッチクルーザーEX」「LCフォント／LCFONT」およびLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標または商標です。

- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2015 All Rights Reserved.
  iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2015 All Rights Reserved.
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Mを搭載しています。
  「モリサワ」「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標または商標です。
- Portions Copyright ©2004 Intel Corporation
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。

■ オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、待受画面で◉→［設定］→［その他］→［端末情報］→［法的情報］→［オープンソースライセンス］をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License（MPL）に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

■ OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2009 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA. See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC. See http://www.mpegla.com for additional details.

索引

数字／アルファベット

1件あたりの録音時間……101
1件削除
　コンテンツ表示画面のサブメニュー……64
　電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニュー……42
　発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー……37
1つ戻す……47
24時間表示……82
au ID 設定……80
au Nano IC Card (LTE)……20
au Nano IC Card (LTE)トレイ／スロット……18
au Wi-Fi接続ツール……71
auお客さまサポート……58
au お客様センター……36
au災害対策……70
auスマートパス……72
auナビウォーク……71
auネットワークサービス……98
Bccへ変更……46
Bluetooth……93
Bluetooth OFF……36
Bluetooth ON……36
Bluetooth®機能
　Bluetooth®機能……93
　ご使用のお願い……14
Bluetooth送信……94
Bluetoothテザリング……91
Ccへ変更……46
D絵文字……47
Eメール
　Eメール詳細画面の見かた……50
　一覧画面の見かた……49
　確認する……49
　受信する……47
　送信する……46
Eメールアドレスの変更へ……52
Eメール設定……52
Eメールに変換……48
FCC Notice……113
FeliCa……94
GLOBAL PASSPORT……104
HDR……62
HQモード……62
IC送信……95
ISO感度……62
LINE……78
LISMO……78
microSD……64
microSDカードスロット……18
microSD内データを消去……86
microSDのマウント解除……86
microSDへ移動……64
microSDへコピー……64
microSDメモリカード
　microSDメモリカード……21
　保存領域について……86
microSDをマウント……86
MTPモード……86
NightCatch……62
PASSNOW……77
PINコード……12
PRL更新……104
PTPモード……86
P付加……36
SMS
　SMS詳細表示画面の見かた……50
　一覧画面の見かた……49
　確認する……49
　受信する……48
　送信する……48
SMS安心ブロック機能……55
SMS作成
　差出人／宛先／電話番号／メールアドレスの情報を利用……51
　ダイヤル画面のサブメニュー……36
　発信メニュー……36
　発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー……37
　本文中の電話番号を利用……48
　メールメニュー画面項目……50
SMS設定……53
SMSに変換……47
Toへ変更……46
TVリンク……67
UIMカードロック設定……81
URL入力・Web検索……58
URL入力／Web検索……58
USBストレージをONにする……86
USB接続
　USB接続モード設定……86
　ストレージ設定……86
USBテザリング……91
Wi-Fi
　接続する……90
　切断する……90
　設定する……90
Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ……18
Wi-Fi Direct
　Wi-Fi Direct®設定……91
　Wi-Fi®設定画面のサブメニュー……90
Wi-Fi®機能
　Wi-Fi®機能……90
　ご使用のお願い……14
Wi-Fiテザリング……91
Wi-Fiテザリングを設定……91
WPS PIN入力……91
WPSプッシュボタン……91

あ

アイコン
　サブディスプレイ……28
　メインディスプレイ……27
相手先から本製品までの通話料……98
アカウント
　その他の設定メニュー……82
　通話設定……39
アクセスポイント登録……91
新しいタブ……58
アドレスコピー……51
アドレス詳細表示……50
アフターサービス……110
アプリ……72
アプリケーション……82
アプリケーションについて……15
アプリケーションロック……81
アプリ使用履歴キー……18
アラーム……76
アラーム音……76
暗証番号……12
あんしん……72
安心アクセス……71
位置情報
　位置情報の設定……83
　その他の設定メニュー……82
一件削除……34
移動
　メール(Eメール／SMS)一覧画面のサブメニュー……50
　メール(Eメール／SMS)詳細画面のサブメニュー……51
移動・コピー……64
インターネット……58
インターネットアクセス……93
インターネット通話使用……39
引用返信
　送信／作成に関する設定……52
　メール(Eメール／SMS)詳細画面のサブメニュー……51
引用・連携……34
英語ガイダンス……102
エニーキーアンサー……39
エフェクト……64
エラー詳細……51
遠隔操作
　ご利用料金……101
　ロック・セキュリティの設定……81
遠隔操作サービス
　お留守番サービス……102
　着信転送サービス……99
お預かりできる件数……101
お預かり(保存)する時間……101
応答保留……38
応答メッセージ録音／確認／変更……102
オートアンサー……39
オープン通話……39
オールリセット……82
おサイフケータイ
　おサイフケータイ®(FeliCa)について……94
　マーク……18
お知らせ……27
オススメ一括設定……54
オススメの設定はこちら……54
オフタイマー設定……67
主な仕様……111
お留守番サービスEX……101
お留守番サービス総合案内……101
音声／字幕設定……67
音声操作設定……62
音声・伝言メモ……39
音声発信
　差出人／宛先／電話番号／メールアドレスの情報を利用……51

電話番号／Eメールアドレス／URLを利用 48
音声発信制限設定 36
音声メモ 36
音量UP／DOWNキー 18
音量設定 80

か

カーソルキー 18
カードリーダーモード 86
会員特典 72
海外(GSM／UMTS) 104
海外の電話へ転送 99
海外利用に関する設定 104
開始 24
開封済みにする 50
開封／未開封 50
外部接続端子 18
各種リセット 34
拡大縮小 58
各部の名称と機能 18
画像編集
コンテンツ表示画面のサブメニュー 63
データ表示画面のサブメニュー 64
画像保存モード 58
画像を登録
コンテンツ表示画面のサブメニュー 63
データ表示画面のサブメニュー 64
壁紙 80
壁紙・ディスプレイ 80
カメラキー 18
カメラの構えかた 60
カメラへ切替 62
カメラレンズ 18
画面回転 67
画面の明るさ 80
画面のロック 81
画面ロックの音 80
カレンダー
カレンダー画面について 75
カレンダーを表示する 75
予定を新規登録する 75
簡単設定 90
かんたん発信(音声認識) 82
管理者登録 71
管理者ページ 72
キー操作音 80
キーバックライト 80
起動中アプリ一覧画面 30
機内モード 81
休日設定 75
強制的に電源を切る 23
共通設定 51
共通の操作
キー操作 30
共通の操作 30
チェックボックス 30
今日へ移動 75
拒否リストへ登録 51
切替時刻 74
緊急速報メール 70
クイックサイレント 39
クイック返信
着信中のサブメニュー 38
通話設定 39
クリアキー 18
繰り返し 76
グループ削除 42
グループ追加・編集
グループ設定 42
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニュー 42
グループ編集 42
クローズ動作設定 67
グローバルパスポート 104
結果画面閲覧 24
月額使用料
お留守番サービスEX 101
三者通話サービス 103
着信転送サービス 98
通話明細分計サービス 103
迷惑電話撃退サービス 103
割込通話サービス 99
言語(Language)を選択
使用する言語を設定 82
その他の設定メニュー 82
検索
カレンダー画面のサブメニュー 75
フォルダー一覧画面のサブメニュー 50
メール(Eメール／SMS)一覧画面のサブメニュー 50
検索設定 42
圏内時に送信 46
件名 51
効果 47
高校生向け 71
公衆電話 39
国際発信設定 39
国内(CDMA) 104
故障とお考えになる前に 109
個人データ 47
このリンク 58
コピー 51
コピー履歴 34

さ

サービス 70
サービス開始「1422」～「1425」 98
サービス停止「1420」 98
災害情報 70
災害用音声お届けサービス 70
災害用伝言板 70
再起動 23
最後の登録を削除「1448」 103
再スキャン 67
再送信
メール(Eメール／SMS)一覧画面のサブメニュー 50
メール(Eメール／SMS)詳細画面のサブメニュー 51
再振り分け 50
再読み込み／停止 58
サウンド・ランプ 80
削除
Eメール送信 46
緊急速報メール 70
グループ設定 42
コンテンツ表示画面のサブメニュー 63
チャンネルリスト編集画面のサブメニュー 67
メール(Eメール／SMS)一覧画面のサブメニュー 50
メール(Eメール／SMS)詳細画面のサブメニュー 51
削除時暗証番号設定 42
作成 67
差出人/宛先 51
差出人名称 52
撮影 47
撮影サイズ 62
サブディスプレイ
各部の名称と機能 18
壁紙・ディスプレイ設定 80
サブディスプレイの見かた 28
三者通話サービス 103
シークレット設定 81
シークレットモード一時解除の設定 81
時刻設定 82
時刻で切替 74
辞書 34
指定番号 39
指定番号拒否 53
自動位置情報付加 62
自動(国内／海外) 104
自動転送先の設定へ 52
自動問い合わせ設定 110
シャッターキー 18
シャッターモード 62
充電 22
充電開始音 80
充電端子 18
充電ランプ 18
周辺機器 108
受信済みファイルを表示 93
受信／表示設定
Eメール設定 52
メール共通設定 51
受信フィルター 53
受信方法 52
受信ボックス
Eメール 47
SMS 48
受信ボックス／送信ボックスの確認 49
メールメニュー画面項目 50
受話口 18
省エネモード 74
省エネモード切替 74
省エネモード設定 74
小学生向け 71
詳細情報
コンテンツ表示画面のサブメニュー 63
データ表示画面のサブメニュー 64
詳細設定
Wi-Fi®設定画面のサブメニュー 90
カメラの設定 62
迷惑メールフィルター設定 54
情報更新 86
署名 52

署名挿入……47
新規作成……50
新規登録……34
新着受信……47
スキャン……90
スクリーンショット……74
スクリーンセーバー……82
進む……58
ステータスバー
　ステータスバーを利用する……27
　待受画面の見かた……26
ステータスパネル……27
ストップウォッチ……76
ストラップ取付部……18
ストレージ
　ストレージ設定……86
　その他の設定メニュー……82
スヌーズ／詳細設定……76
スヌーズ設定……76
スピーカー……18
スピードダイヤル……37
スピードダイヤル登録……42
すべての登録を削除「1449」……103
すべてのメール……49
スライド……26
スライドショー……63
静止画
　撮影する……61
　静止画撮影画面の見かた……61
製品情報……67
セーフモード……23
世界時計……76
赤外線通信……92
赤外線ポート……18
セキュリティ……91
セキュリティキー設定……81
接続……90
接続待ち時間……91
切断……90
設定
　Eメール設定……52
　SMS設定……53
　カレンダー画面のサブメニュー……75
　緊急速報メール……70
　コンテンツ表示画面のサブメニュー……63
　設定メニュー表示……80
　ダイヤル画面のサブメニュー……36
　テレビ視聴画面のサブメニュー……67
　テレビ設定……67
　発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー……37
　ブラウザ画面のサブメニュー……58
　ブラウザメニュー……58
　メール設定……51
　メールメニュー画面項目……50
設定確認／解除……54
設定・管理……42
設定更新……52
設定にあたって……54
設定メニュー表示……80
設定を解除する……55
設定を確認する……55
設定を有効にする……55
セルフタイマー……62
セルフチェック
　セルフチェック設定……71
　その他の設定メニュー……82
全件削除
　発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー……37
　ユーザー辞書単語一覧画面のサブメニュー……34
全受信対象登録……52
センターキー……18
選択削除
　データ表示画面のサブメニュー……64
　電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニュー……42
　発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー……37
選択転送……99
操作ガイド……67
送受信履歴引用
　Eメール送信……46
　SMS送信……48
装飾
　Eメール作成画面のサブメニュー……47
　その他の文字入力サブメニュー……34
装飾解除……47
送信
　コンテンツ表示画面のサブメニュー……63
　データ表示画面のサブメニュー……64
　電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニュー……42
送信画像サイズ……52
送信／作成設定
　Eメール設定……52
　メール共通設定……51
送信ボックス
　受信ボックス／送信ボックスの確認……49
　メールメニュー画面項目……50
送信予約
　Eメール作成画面のサブメニュー……47
　SMS作成画面のサブメニュー……48
　設定する……46、48
挿入……47
送話口……18
ソート……64
その他
　Eメールデータ添付……47
　その他設定……82
その他の設定……52
ソフトウェア更新
　ソフトウェア更新……110
　端末情報の設定……83

た

タイマー……76
タイムゾーンの自動設定……82
タイムゾーンの選択……82
ダイヤルキー……18
ダウンロード
　ブラウザ画面のサブメニュー……58
　ブラウザメニュー……58
タッチエリア……18
タッチクルーザーEX
　各部の名称と機能……18
　タッチクルーザーEXを利用する……26
タップ……26
タブ一覧……58
ダブルタップ……26
端末情報
　その他の設定メニュー……82
　端末情報の設定……83
端末の暗号化……82
端末の状態……83
端末の名前を変更……93
着信お知らせサービス……98
着信音・お知らせ音……80
着信拒否
　着信中のサブメニュー……38
　通話設定……39
着信拒否登録……37
着信転送……38
着信転送サービス……98
着信ランプ……18
着信履歴……37
着信履歴保存……39
チャンネル一覧……67
チャンネル設定……67
チャンネルリスト名変更……67
中学生向け……71
直接入力
　Eメール送信……46
　SMS送信……48
ちらつき防止……62
追加……42
通信・ネットワーク……81
通知1件消去……27
通知アイコン……26
通知全件消去……27
通知不可能……39
通話時間……39
通話中表示設定……39
通話明細分計サービス……103
通話料
　三者通話サービス……103
　割込通話サービス……99
通知を追加……36
使い方ガイド……81
続きを受信
　メール（Eメール／SMS）一覧画面のサブメニュー……50
　メール（Eメール／SMS）詳細画面のサブメニュー……51
常にハンズフリー通話……93
定型文……34
ディスプレイ
　サブディスプレイ……18
　ディスプレイの設定……80
　メインディスプレイ……18
データ通信設定……81
データ引継……24
データ引継・リセット……82
データフォルダ
　Eメールデータ添付……47
　コンテンツ表示画面の見かた……63
　データフォルダ……63
データ放送再読み込み……67

データ放送設定 67
データローミング 104
テキストコピー 58
テザリングキー 18
テザリング機能 91
デバイス管理機能 82
デバイスの検索 93
手ぶれ軽減 62
テレビ
テレビ画面の見かた 66
テレビの初期設定 66
見る 66
テレビアンテナ 18
テレビ終了 67
電源／終話キー 18
電源を入れる 23
電源を切る 23
伝言お知らせ 102
伝言・ボイスメールの録音 101
伝言メモ
再生する 39
着信中のサブメニュー 38
伝言メモリスト画面の見かた 39
転送
メール(Eメール／SMS)一覧画面のサブメニュー 50
メール(Eメール／SMS)詳細画面のサブメニュー 51
転送停止 99
転送電話 39
電卓 76
電池残量で切替 74
電池パック
同梱品一覧 ii
取り付け／取り外しかた 19
添付自動受信サイズ 52
テンプレート
Eメール作成の装飾サブメニュー項目 47
メールメニュー画面項目 50
テンプレート保存 47
テンプレート呼出 47
電話
電話をかける 36
履歴画面の見かた 37
電話帳
電話帳一覧画面の見かた 42
電話帳詳細画面の見かた 43
登録する 42
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー 37
電話帳アクセスモニター 81
電話帳引用
Eメール送信 46
SMS送信 48
電話帳画像保存 24
電話帳キー 18
電話帳登録以外 53
電話帳登録外 39
電話帳登録なし 51
電話帳に登録
差出人／宛先／電話番号／メールアドレスの情報を利用 51
ダイヤル画面のサブメニュー 36
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー 37
メール(Eメール／SMS)一覧画面のサブメニュー 50
メール(Eメール／SMS)詳細画面のサブメニュー 51
電話帳をauサーバに保存 42
電話の音声 93
電話番号コピー 51
動画
撮影する 61
動画撮影画面の見かた 61
同梱品一覧 ii
登録 64
特殊効果パターン 62
特番付加
ダイヤル画面のサブメニュー 36
発信メニュー 36
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー 37
特番へのダイヤル操作 101
ドメイン指定 51
取り扱い上のお願い 11
取り込み前の準備方法 24

な

内蔵アンテナ 18
名前を変更 93
並べ替え
グループ設定 42
メール(Eメール／SMS)一覧画面のサブメニュー 50
日時指定 46
日時の自動設定 82
日本語ガイダンス 102
入力設定 34
入力デバイス 93
入力補助・変換 34
認証情報ストレージ 82
ネットワークSSID 91
ネットワーク設定 81
ネットワークモード 104
ネットワークを追加 90
のぞき見防止 80

は

バーコードリーダー 62
背景色 47
配信確認
SMS作成画面のサブメニュー 48
SMS設定 53
バイブレータ設定 76
背面カバー 18
パケット通信料についてのご注意 15
パスワード 91
バックライト点灯時間 80
発信 36
発信キー 18
発信者番号通知 39
発信番号表示サービス 100
発信履歴 37
貼り付け 34
範囲選択(コピー他) 34
番組表 67
番号通知リクエストサービス 100
番号登録「1442」 103
番号付加設定 39
ピクチャー 64
微速度撮影間隔 62
非通知 39
日付形式の選択 82
日付スタンプ 64
日付設定 82
日付と時刻
その他の設定メニュー 82
日付と時刻の設定 82
ビデオへ切替 62
表記方法 6
表示切替
データ表示画面のサブメニュー 64
表示／再生 47
表示設定 51
表示のタイムアウト 93
表示方法切替 42
標準サービス 98
ピンチ 26
ファイル保存 51
フォーカス設定 62
フォト 64
フォルダ削除 50
フォルダシークレット解除 50
フォルダシークレット登録 50
フォルダ新規作成 50
フォルダ着信通知設定 50
フォルダ並べ替え 50
フォルダ名編集 50
不在通知 102
ブックマーク 58
ブックマーク一覧 58
ブックマークへ登録 58
ブラウザ 58
ブラウザキー 18
フリック 26
振り分け登録
差出人／宛先／電話番号／メールアドレスの情報を利用 51
フォルダー一覧画面のサブメニュー 50
振り分け条件登録 51
迷惑メールフォルダ設定 51
フル転送 98
フレーミングアドバイザー 62
プレビュー 47
プロフィール
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニュー 42
プロフィール確認 38
プロフィール引用
Eメール送信 46
SMS送信 48
ペアを解除 93
ページ検索 58
ページ情報 58
ヘルプ
Eメール作成画面のサブメニュー 47
SMS作成画面のサブメニュー 48
カメラの設定 62
ブラウザ画面のサブメニュー 58

編集
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニュー……42
プロフィール編集……38
メール(Eメール／SMS)一覧画面のサブメニュー……50
ユーザー辞書単語一覧画面のサブメニュー……34
編集して発信……37
返信……50
返信先アドレス
Eメール作成画面のサブメニュー……47
Eメール設定……52
ボイスメール……102
防水性能……13
法的情報……83
ホーム……58
ホームページ……58
保護/解除……50
保護／保護解除……51
保証期間外……110
保証期間中……110
補正効果……64
保存
Eメール作成画面のサブメニュー……47
SMS作成画面のサブメニュー……48
メール(Eメール／SMS)一覧画面のサブメニュー……50
保存先設定……62
保存ファイルの整理……24
ホワイトバランス……62
本製品から転送先までの通話料……98
本体……64
本体+microSD……64
本体へ移動……64
本体へコピー……64
本体メモリ……86
翻訳ファインダー……63

ま

マイク
各部の名称と機能……18
カメラ設定……62
待受画面……26
待受画面・壁紙……80
マナーキー……18
マナーモード設定……80
未送信ボックス……50
未登録番号追加……39
無応答転送……98
無線LAN機能
ご使用のお願い……14
無線LAN機能……90
名称……76
迷惑電話撃退サービス……103
迷惑メール設定……51
迷惑メールフィルターの設定／確認へ……54
メインディスプレイ……18
メインメニュー……28
メーカーサービス(SHSHOW)……70
メールキー……18
メールグループ引用……46
メールグループ設定……53
メール作成
差出人／宛先／電話番号／メールアドレスの情報を利用……51
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー……37
本文中のEメールアドレスを利用……48
メールシークレット設定……81
メール自動受信……52
メール受信方法……52
メール情報表示……51
メール全件削除……50
メール操作……51
メールの引越し
バックアップ……53
復元……53
メールプロパティ
メール(Eメール／SMS)一覧画面のサブメニュー……50
メール(Eメール／SMS)詳細画面のサブメニュー……51
メール保存……51
メディアの音声……93
メモ帳……75
メモリ使用状況……64
メモリ登録件数……42
免責事項……7
メンバー登録……42
モード切替……62
文字色……47
文字サイズ……47
文字サイズ設定
Eメール作成画面のサブメニュー……47
SMS作成画面のサブメニュー……48
メール共通設定……51
文字種変更……34
文字入力
その他の設定メニュー……82
文字入力……32
文字入力時の各キーの割り当て一覧……32
文字フォント設定……80
元メール参照
Eメール作成画面のサブメニュー……47
SMS作成画面のサブメニュー……48
モバイルライト
各部の名称と機能……18
カメラの設定……62
使い方……74

や

ユーザー辞書……34
ユーザー辞書登録(英)……34
ユーザー辞書登録(日)……34
ユーザー補助
その他の設定メニュー……82
有料オプションサービス……98
予定を作成……75

ら

利用できるデータの種類……111
履歴
ブラウザ画面のサブメニュー……58
ブラウザメニュー……58
履歴参照
ダイヤル画面のサブメニュー……36
通話中画面のサブメニュー……36
留守番開始1……101
留守番開始2……101
留守番停止……101
留守番電話……39
レシーバー……18
連絡先シークレット設定……81
ロック・セキュリティ……81
ロングタッチ……26

わ

話中転送……98
割込通話開始……99
割込通話サービス……99
割込通話設定……39
割込通話停止……99
ワンセグ……66

区点コード表

1~3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		[ﾊﾞ]	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	¨	＾	￣	＿	ヽ	
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					○					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	て	で	と
044	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ
045	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ
046	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ
047	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ
048	ゑ	を	ん							
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	テ	デ	ト
054	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ
055	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ
056	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ
057	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ
058	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ				
060		A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I
061	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T
062	Y	Φ	X	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┷	┿	┝	┰	┥
083	┸	╂								
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡		㎖		㏍	㏊
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	Σ	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	允	磯	一	壱	溢
168	稲	茨	芋	鰯	允	陰	印	咽	員	因
169	引	飲	淫	胤	蔭	韻	吋			
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	液	疫	益	駅	悦	謁
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	宴	越
176	閲	榎	厭	円	演	園	奄	堰	煙	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	鴛	燕		縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛		塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嚇	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	郭	覚	確	学	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	苅	萱	瓦	堪		
200		粥	刈	巻	喚	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	患	感	慣	憾	姦	換	敢	棺
202	幹	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監
203	看	観	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞
204	竿	諫	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓
205	館	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
206	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207					企	伎	危	喜	器	
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	享	京	虚	許	距	漁
219	禦		魚	亨	供	橋	狂	狭	矯	胸
220		峡	教	境	況	響	驚	仰	凝	尭
221	郷	叫	喬	橋	鏡	曲	極	玉	桐	粁
222	挟	教	郷	鏡	曲	極	玉	欽	琴	禁
223	襟	業	局	錦	斤	欣	謹	近	金	吟
224	業	局	錦	曲	斤	欣	琴	禁	禽	筋
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	吟	銀
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	蛍	畦	稽	系	経
235	繋	罫	茎	荊	蛍	詣	計	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	倦	決	潔	穴	結	血	訣	月
238	倹	倦	憲	懸	健	券	剣	喧	圏	堅
239	建				兼	拳	捲			
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243					乎	個	古	呼	固	
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	侯	倖	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	喉	坑	向				
250		后	喉	幸	攻	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	氏	獅	祉	私	紙	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	歯		誌
278	諮	資	賜	雌	飼	事		似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	叱	執	失	嫉	室
282	軸	宍	雫	疾	実	蔀	篠	偲	柴	芝
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	車	射	捨	赦	斜
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	守	若	釈	寂	珠	弱
287	惹	主	取	酒	守	首	儒	受	呪	寿
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	条	冗	剰	城	場	壌	嬢
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									筒	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製

1~3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	説	碩	切
326	接	摂	折	設	窃	節	宣	専	雪	絶
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	前	泉	浅	洗	染	潜
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
					そ					
332					噌	塑	岨	措	曾	
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	巣	惣
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
					た					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	対	耐	
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾		茸	凧	蛸	只				
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
					ち					
354					値	知	地	弛	恥	
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
					つ					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
					て					
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
					と					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	酔	噸	屯	惇	敦		沌	豚
386	頓	呑	曇	鈍						遁
					な					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
					に					
388			二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
					ぬ〜の					
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
					は					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍

1~3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
					ひ					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇		毘	琵	眉	美				
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓		頻
415	敏	瓶								
					ふ					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	無	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	紛	吻	噴	墳	憤	扮	焚
422	粉	糞								
					へ					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
					ほ					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧		放	方	朋				
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
					ま					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
					み					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
					む					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					め					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
					も					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
					や					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚		湧	涌	猶	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜

1~3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る〜れ					
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弋	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乗	亂	亅	豫	事	舒	弐	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	修	偈	做	俵	偬
489	傀	傚	傅	僵	僊	傳	僂	僞	僣	僭
490		僉	働	像	僥	僑	僭	僚	僕	僊
491	僮	價	僵	儉	儁	儀	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	兮	兀	兒	兌	兔
493	兢	競	兩	兪	兮	冀	冂	冏	冊	冉
494	冏	冑	冓	冤	冂	冰	冦	冢	冩	冪
495	冫	決	冱	冲	冴	況	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	函	刄	刋	刎
497	刎	刧	刪	刮	刳	剖	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劒
499	劒	劔	劈	劑	辨					
500		辮	勁	勍	勐	勞	勠	勳	勗	勩
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匣	匯	匱	匳	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	巻	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叭
506	叭	叺	吁	吋	吽	咏	呵	咎	呟	呱
507	吩	呇	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呪	呟	咐	咆	哇	咢	咸
509	哇	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咽	咤	咼	哢	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哨	哢	唄	唆	唖	唸	唹
512	售	啜	啅	啗	唸	唖	啣	唄	喙	喀
513	喀	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	喨	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嘛	嗹	噎	噐	営	
516	嘴	嘶	嚊	嚥	嚮	嚏	嚥	嚊	嚔	嚆
517	嚊	嚊	嚠	嚮	嚠	嚥	嚊	嚔	嚴	囂
518	嚊	嚊	囃	囀	囁	囂	囘	囗	囮	
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圏	國	圍	圓	團	圖	嘗	圜	圦
521	圻	圩	圦	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垉	埃	埒
523	埔	埒	埒	埜	垉	埴	埣	堋	堙	塲
524	堡	堝	堊	塹	毀	塒	堙	塹	墫	墩
525	墟	墫	墺	壊	墻	墫	墮	壅	壓	壑
526	墻	壙	壘	壜	壙	壗	壘	壯	壺	壹
527	壻	壺	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	奇	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奩	奥	奨	奩					
530		奸	妁	妝	佞	佞	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	妊	妣	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	娙	娩	婢	娶	婢	婪	媚	媼	婿
533	婿	嫂	嫣	嫣	嫂	嫣	嫩	嫖	嫺	嫺
534	嬌	嬋	嬰	嬲	嬲	嬪	嬶	嬾	孃	孃
535	孀	子	孕	孚	孛	孜	孩	孰	孳	孵
536	學	孑	孝	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓	屋				
540		屐	屏	孱	屬	屮	山	屶	屹	岌
541	岑	岱	岳	帖	岼	岷	岫	岻	岼	岫
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嵋	峪	崋	崕
543	嵒	嵓	崗	嵜	崟	崛	崔	嵫	嵯	嵝
544	嵳	嵷	嵎	嵋	嵬	嵎	嵐	嵎	嵜	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶮	嵳	嶼	嶺	嶼
546	嶺	嶼	嶽	巫	巳	巵	帝	帚	帙	帷
547	幄	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幷	幺	麼
548	幾	幢	幣	幇	幵	幷	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弼	弼	彁	彈
553	彎	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃
554	徂	徊	佛	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝

1~3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
556	憲	忿	怡	恠	恄	恠	怉	悃	怎	恕
557	怕	怫	怦	恍	恣	悇	患	恁	悇	悔
558	協	恆	悍	恍	悃	恤	恬	悔	恬	恫
559	悄	悁	悍	惧	悚	悇	悚	悋	悳	悉
560		悄	悗	悋	悖	悗	悋	悃	悧	悋
561	惠	悳	惓	悍	悚	惴	悃	惆	悵	惆
562	愆	惚	惶	意	愍	惴	惙	惶	愃	惚
563	愍	愎	愎	愍	愾	愾	愧	慷	愿	慙
564	愴	愴	愾	憑	憶	慷	慷	慘	慙	慈
565	憒	憒	憬	憶	憶	憬	憑	憫	憑	憖
566	憩	憬	憬	憶	憔	憔	憑	憫	憮	憚
567	應	懲	懷	懈	懣	憔	懆	憊	懋	罹
568	憑	戊	戊	戊	戉	戛	戛			
569										
570			戛	扣	戴	截	戮	戰	戲	戴
571	扞	扣	抖	拔	扑	抔	扼	勋	抻	找
572	抓	抖	抖	拔	扑	拜	捌	拊	拑	抻
573	拆	搶	搶	拈	拱	拜	捌	拂	拇	抪
574	挌	捍	搶	拈	拱	捏	挈	拯	捋	捐
575	挌	捍	搜	掟	捏	掎	掀	揜	捶	捶
576	揀	掉	掟	捵	揄	捫	掀	揂	揂	揀
577	揀	揀	插	揶	揶	搖	揂	揂	搖	揂
578	攝	揂	揂	揚	搏	撈	揂	摧	摶	摶
579	撓	撥	據	撩	擒	擾	擊	擊	擣	擣
580		擧	擣	擒	擾	擇	擣	擣	擣	擣
581	擧	擣	擠	擾	抬	擣	擣	擣	擣	擣
582	擺	攴	攀	攲	攲	攲	攲	攲	攲	攲
583	攵	攸	敝	攸	敖	敖	敖	敖	敖	敖
584	敘	斛	斛	斛	斛	斛	斛	斛	斛	斛
585	斷	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫
586	旡	旣	旣	旣	旣	旣	旣	旣	旣	旣
587	旣	旣	旣	旣	旣	旣	旣	旣	旣	旣
588	旣	旣	旣	旣	旣	旣	旣	旣	旣	旣
589	旣	旣	旣	旣	旣	旣	旣	旣	旣	旣
590		曰	曦	曩	曩	曠	曠	曠	曠	曠
591	曳	曷	朽	朽	朽	朽	朽	朽	朽	朽
592	朶	杁	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌	杌
593	杵	杰	杴	杴	杴	杴	杴	杴	杴	杴
594	枷	枻	柯	柮	柮	柮	柮	柮	柮	柮
595	柢	柒	柤	柤	柤	柤	柤	柤	柤	柤
596	柒	桍	桍	桍	桍	桍	桍	桍	桍	桍
597	棄	桍	桍	桍	桍	桍	桍	桍	桍	桍
598	梵	棘	棘	棘	棘	棘	棘	棘	棘	棘
599		棣	棣	棣	棣	棣	棣	棣	棣	棣
600		椶	椶	椶	椶	椶	椶	椶	椶	椶
601	椸	椸	椸	椸	椸	椸	椸	椸	椸	椸
602	椸	椸	椸	椸	椸	椸	椸	椸	椸	椸
603	楙	楙	楙	楙	楙	楙	楙	楙	楙	楙
604	楛	楛	楛	楛	楛	楛	楛	楛	楛	楛
605	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞	楞
606	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹
607	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹
608	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹
609	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹	楹
610		欟	欟	欟	欟	欟	欟	欟	欟	欟
611	欟	欟	欟	欟	欟	欟	欟	欟	欟	欟
612	欟	欟	欟	欟	欟	欟	欟	欟	欟	欟
613	歹	歿	殀	殀	殀	殀	殀	殀	殀	殀
614	殀	殀	殀	殀	殀	殀	殀	殀	殀	殀
615	毫	毓	毓	毓	毓	毓	毓	毓	毓	毓
616	氤	氯	氷	氾	氾	氾	氾	氾	氾	氾
617	沛	沖	沖	沖	沖	沖	沖	沖	沖	沖
618	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗
619		浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
620		浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
621	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
622	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
623	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
624	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
625	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
626	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
627	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
628	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
629	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
630		浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
631	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
632	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
633	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
634	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
635	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
636	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
637	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
638	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
639		浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
640		浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
641	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
642	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
643	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
644	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
645	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
646	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
647	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
648	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
649	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
650		浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯

1~3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
651	瓷	甄	甕	甲	畧	畾	甌	甑	甕	甕
652	甦	甬	甥	畧	畄	畫	畋	畉	畛	畚
653	畦	畤	畧	畳	畫	疥	畸	畑	當	疇
654	疫	疊	疉	疽	疸	疼	疱	痍	疣	痂
655	痃	痣	痞	痕	痘	痰	癇	癆	痺	痛
656	痲	痞	癇	痾	癆	癇	癉	癈	癈	癈
657	癪	癪	癨	癈	癈	癈	癈	癈	癈	癈
658	癪	癪	癪	癈	癈	癈	癈	癈	癈	癈
659	癪	癪	癪	癈	癈	癈	癈	癈	癈	癈
660		癪	癪	癪	癪	癪	癪	癪	癪	癪
661	皖	皆	皓	皙	皙	皙	皙	皙	皙	皙
662	盍	盍	盼	盒	盞	盡	盱	盧	盼	盼	盼
663	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇
664	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸
665	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎
666	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽
667	矽	矽	矽	矽	矽	矽	矽	矽	矽	矽
668	碡	碡	碡	碡	碡	碡	碡	碡	碡	碡
669	碡	碡	碡	碡	碡	碡	碡	碡	碡	碡
670		礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
671	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
672	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
673	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
674	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
675	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
676	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
677	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
678	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
679		礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
680		礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
681	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
682	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
683	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
684	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
685	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
686	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
687	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
688	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
689		礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
690		礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
691	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
692	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
693	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
694	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
695	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
696	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
697	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
698	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
699	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
700		礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
701	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
702	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
703	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
704	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
705	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
706	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
707	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
708	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
709	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
710		礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
711	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
712	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
713	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
714	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
715	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
716	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
717	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
718	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
719	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
720		礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
721	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
722	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
723	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
724	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
725	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
726	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
727	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
728	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
729		礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
730		礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
731	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
732	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
733	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
734	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
735	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
736	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
737	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
738	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
739	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
740		礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
741	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
742	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
743	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
744	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
745	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫

1~3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
746	袍	袤	袈	袟	袱	袴	袴	裄	裔	裟
747	装	裏	裏	裡	裼	裝	裡	裹	裲	裲
748	裸	裹	裡	裼	裲	裲	裲	裲	裹	裹
749	褸	褝	褝	褊	褊	褊	褊	褊	褊	褊
750		襦	襤	襤	襤	襤	襤	襤	襤	襤
751	覈	覊	覗	覗	覗	覗	覗	覗	覗	覗
752	覺	覽	覿	覿	覿	覿	覿	覿	覿	覿
753	訃	訖	訐	訌	訌	訌	訌	訌	訌	訌
754	詒	詆	詈	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆
755	詢	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆
756	詫	誄	誄	誄	誄	誄	誄	誄	誄	誄
757	諷	諛	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤
758	諳	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤
759	證	譖	譖	譖	譖	譖	譖	譖	譖	譖
760		譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟	譟
761	讓	讖	讖	讖	讖	讖	讖	讖	讖	讖
762	豐	豕	豢	貔	貔	貔	貔	貔	貔	貔
763	貍	貌	貔	貔	貔	貔	貔	貔	貔	貔
764	貳	貶	貽	貽	貽	貽	貽	貽	貽	貽
765	賻	贄	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅
766	賦	贔	贔	贔	贔	贔	贔	贔	贔	贔
767	趾	趺	趺	趺	趺	趺	趺	趺	趺	趺
768	跟	跣	跼	跼	跼	跼	跼	跼	跼	跼
769	蹂	踵	踵	踵	踵	踵	踵	踵	踵	踵
770		躔	躔	躔	躔	躔	躔	躔	躔	躔
771	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡
772	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡
773	躲	躾	躾	躾	躾	躾	躾	躾	躾	躾
774	軾	輊	輊	輊	輊	輊	輊	輊	輊	輊
775	輛	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦
776	輜	輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛	輛
777	辭	辯	辶	迪	迥	迢	迪	迯	迺	迴
778	逅	迹	逎	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逾	遖	遠	遣	遨	遯	遰	遨	遯	遘
780		遏	遐	遑	遒	遒	遢	遨	遯	遘
781	遞	遨	遨	遯	遘	遞	遞	遞	遞	遞
782	遽	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉	邉
783	邠	邨	邨	邨	邨	邨	邨	邨	邨	邨
784	酥	酩	酳	酲	酳	酳	酳	酳	酳	酳
785	醪	醭	醭	醭	醭	醭	醭	醭	醭	醭
786	釚	釜	釣	釦	釵	釶	釣	釣	釿	鈆
787	鈕	鈑	鈦	鈿	鉅	鉉	鈎	鈎	鉈	鈿
788	鉋	鉐	鉏	鉏	鉏	鉏	鉏	鉏	鉏	鉏
789	鉦	鉑	鋺	鋶	鋼					
790		鋼	鋺	錢	錚	鐫	鐫	銃	鍛	鍠
791	鍬	鍮	鍮	鍮	鍮	鍮	鍮	鍮	鍮	鍮
792	鑿	鎔	鎔	鎔	鏤	鏤	鏐	鏈	鏤	鏤
793	鐵	鏡	鐳	鐳	鐳	鐳	鐳	鐳	鐳	鐳
794	鑒	鐳	鐳	鐳	鐳	鐳	鐳	鐳	鐳	鐳
795	鐳	鐳	鐳	鐳	鐳	鐳	鐳	鐳	鐳	鐳
796	閔	閔	閘	閘	閘	閘	閘	閘	閘	閘
797	閘	閘	閘	閘	閘	閘	閘	閘	閘	閘
798	閘	閘	閘	閘	閘	阡	阨	阮	阯	陂
799	陏	陋	陋	陌	陝	陞				
800		陝	陟	陏	陋	陲	隘	隕	隕	隗
801	險	隧	隱	隱	隱	隱	隱	隱	隱	隱
802	雋	雉	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍	雍
803	霈	霓	霎	霑	霏	霍	霓	霏	霑	霑
804	靜	靨	靨	靨	靨	靨	靨	靨	靨	靨
805	靤	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦
806	靺	鞆	鞆	鞆	鞆	鞆	鞆	鞆	鞆	鞆
807	鞴	鞴	鞴	鞴	鞴	鞴	鞴	鞴	鞴	鞴
808	韶	韵	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌
809	顏	顎	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏
810		顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏
811	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯
812	餞	餞	餅	餬	餮	餽	餾	餾	餾	餾
813	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒
814	馮	馭	駆	駆	駝	駝	駕	駑	駭	駭
815	騁	騁	騖	騖	騖	騖	騖	騖	騖	騖
816	驅	驂	驍	驍	驍	驍	驍	驍	驍	驍
817	驢	驥	驤	驤	驤	驤	驤	驤	驤	驤
818	髏	髑	髓	髓	髓	髓	髓	髓	髓	髓
819	髯	髮	髮	髮	髮	髮	髮	髮	髮	髮
820		髻	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭	髭
821	鬨	鬩	鬪	鬪	鬪	鬪	鬪	鬪	鬪	鬪
822	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮	鬮
823	鮨	鮨	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
824	鯣	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
825	鰄	鰄	鰄	鰄	鰄	鰄	鰄	鰄	鰄	鰄
826	鰛	鰛	鰛	鰛	鰛	鰛	鰛	鰛	鰛	鰛
827	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭	鰭
828	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯
829	鵁	鵁	鵁	鵁	鵁	鵁	鵁	鵁	鵁	鵁
830		鵜	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞
831	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞
832	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞
833	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞
834	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞
835	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞	鵞

【お客様各位】

このたびは、SHF31をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
SHF31取扱説明書 詳細版の記載内容に誤りがございましたので、
お詫び申し上げますとともに、以下の内容を訂正させていただきます。
また、記載内容に変更がございましたので、あわせてお知らせさせていただきます。

- 「周辺機器のご紹介」（P.108）

変更前） **■microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）**

変更後） **■microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）**
microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）

- 「ソフトウェアを更新する」（P.110）

誤） 本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。
また、OSアップデートもソフトウェア更新の機能を利用して行うことが可能です。OSアップデートとは、本製品のOSのバージョンアップを含むソフトウェア更新です。

正） 本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。

● 「ソフトウェアを更新する」（P.110）の手順２

誤） ・ソフトウェア更新が可能な場合は、「新しいソフトウェアのダウンロードが可能です。」と表示されます。OSアップデートが可能な場合は、「OSアップデートが可能です。」と表示されます。

正） ・ソフトウェア更新が可能な場合は、「新しいソフトウェアのダウンロードが可能です。」と表示されます。

● 「ソフトウェアを更新する」（P.110）の「ご利用上の注意」

誤） ・パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。

正） ・パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。

誤） ・OSアップデートを行うと、以前のバージョンへ戻すことはできません。

正） 記載削除

● 「CE Declaration of Conformity」（P.112）

変更前） In some countries/regions, such as France, there are restrictions on the use of Wi-Fi®. If you intend to use Wi-Fi® on the handset abroad, check the local laws and regulations beforehand.

変更後） 記載削除

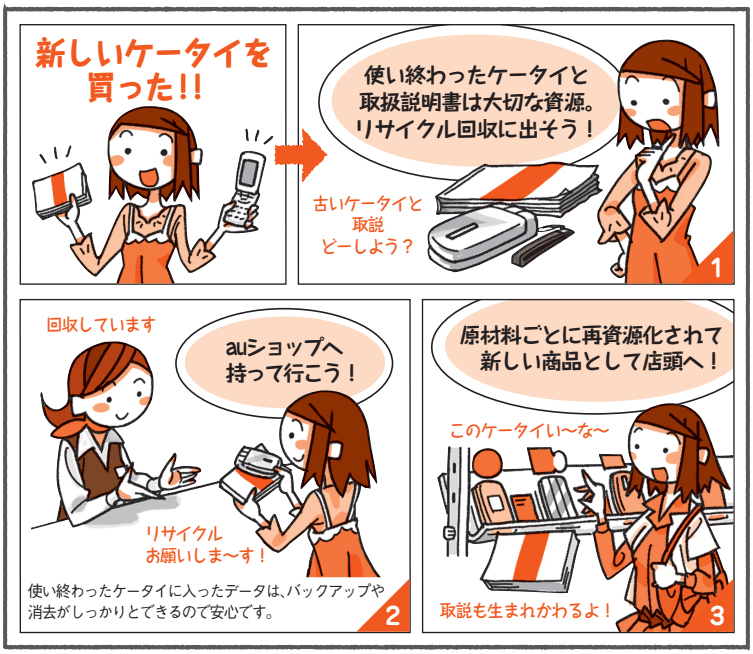
ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、
一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。



ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/mobile/recycle

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について（通話料無料）

受付時間　9:00～20:00（年中無休）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-111

au電話からは
局番なしの157番

Pressing “zero” will connect you to an operator,
after calling “157” on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて（通話料無料）

受付時間　24時間（年中無休）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-113

au電話からは
局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）

フリーコール 0120-977-033（沖縄を除く地域）
フリーコール 0120-977-699（沖縄）

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）

受付時間　9:00～21:00（年中無休）

一般電話／au電話から
フリーコール 0120-925-919

有害サイトから
子供を守る！

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した、紙資源を
製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。
本冊子は、その一環として製作されております。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2015年7月第1.2版

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：シャープ株式会社